

葛尾村 住民意向調査 報告書

平成29年3月

復興庁
福島県
葛尾村

葛尾村 住民意向調査

報告書

目次

I 調査の概要	1
1-1 調査目的	3
1-2 調査内容	3
1-3 調査設計	3
1-4 回収結果	3
1-5 報告書の見方	3
II 回答者の属性	5
2-1 回答者の属性	7
III 調査結果	11
3-1 現在の状況	13
3-1-1 現在の住まいの場所	13
3-1-2 世帯構成	17
3-1-3 職業	24
3-1-4 震災発生当時の住居以外に居住している場合の現在の住居形態	33
3-1-5 震災発生当時の住居	34
3-2 将来の意向	36
3-2-1 葛尾村への帰還意向	36
3-2-2 葛尾村内での現在の住居形態	41
3-2-3 葛尾村内での今後の生活において必要な支援	42
3-2-4 葛尾村への帰還時期	43
3-2-5 葛尾村へ戻る場合の家族	45
3-2-6 葛尾村へ帰還する場合の住居形態	47
3-2-7 葛尾村へ帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由	49
3-2-8 葛尾村へ帰還する場合に今後の生活において必要な支援	50
3-2-9 葛尾村への帰還を判断する上で必要と思う情報	52
3-2-10 葛尾村との“つながり”を保ちたいか	54

3-2-11	葛尾村を訪れたい頻度	56
3-2-12	葛尾村を定期的に訪れる理由	57
3-2-13	現時点で戻らないと決めている理由	59
3-2-14	帰還しない場合に居住したい自治体	62
3-2-15	帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態	64
3-3	情報提供	65
3-3-1	葛尾村からの情報の入手経路	65
3-3-2	行政機関等からほしい情報	67
3-4	意見・要望	69
IV	参考資料	73
4-1	使用調査票	75

I 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、葛尾村民の現在の状況や今後の意向を把握し、帰還後の生活環境の改善や、現在も避難している方の帰還に向けた諸施策を具体化することを目的とする。

1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

1-3 調査設計

(1) 調査地域	葛尾村
(2) 調査対象と標本数	避難指示が解除された地域に住民登録をしていた世帯の代表者 617 世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	平成 28 年 11 月 21 日（月）～平成 28 年 12 月 5 日（月）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、葛尾村
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

1-4 回収結果

有効回収数 343 世帯（有効回収率 55.6%）

1-5 報告書の見方

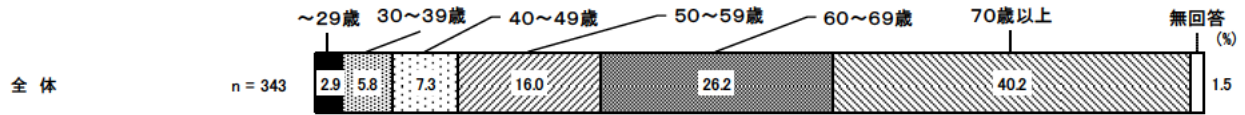
- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が 100%にならない場合がある。
- ・回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると 100%を超える場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ n 値）が少数（概ね 30 を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。ただし、震災発生当時の住まいの行政区別の分析は n 値が 30 を下回る場合も言及する場合がある。

II 回答者の属性

2-1 回答者の属性

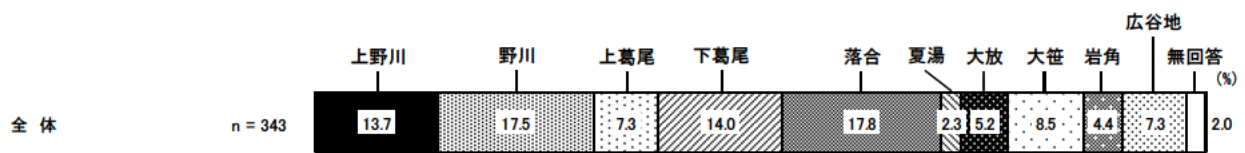
(1) 年齢

<図表2-1-1>



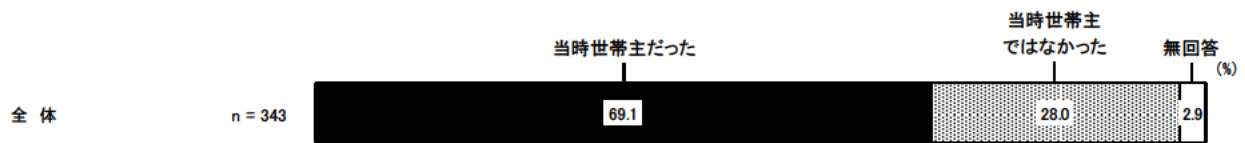
(2) 震災発生当時の住まいの行政区

<図表2-1-2>



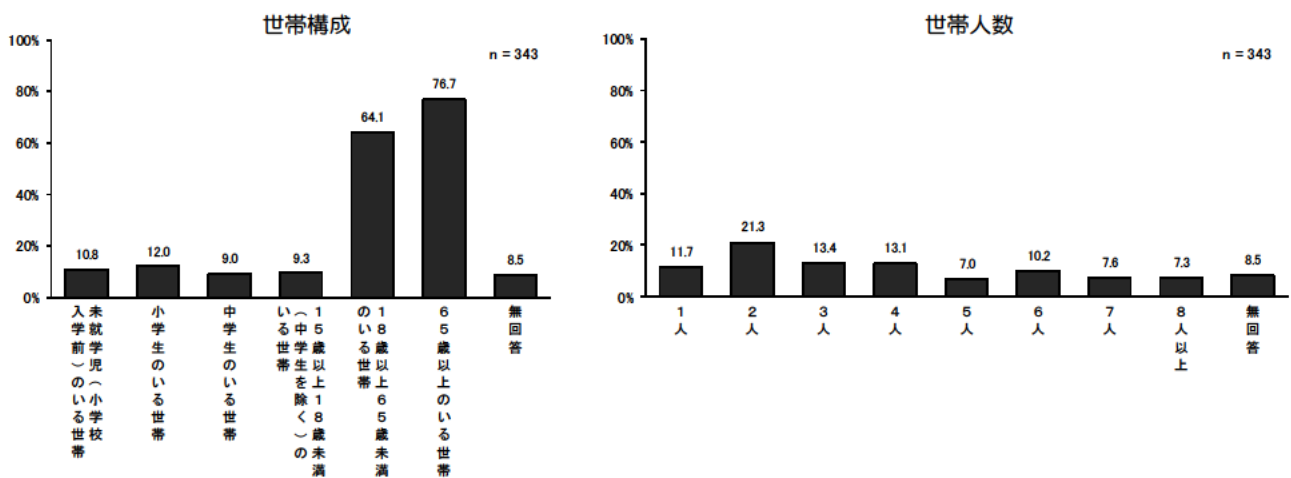
(3) 震災発生当時の世帯での立場

<図表2-1-3>



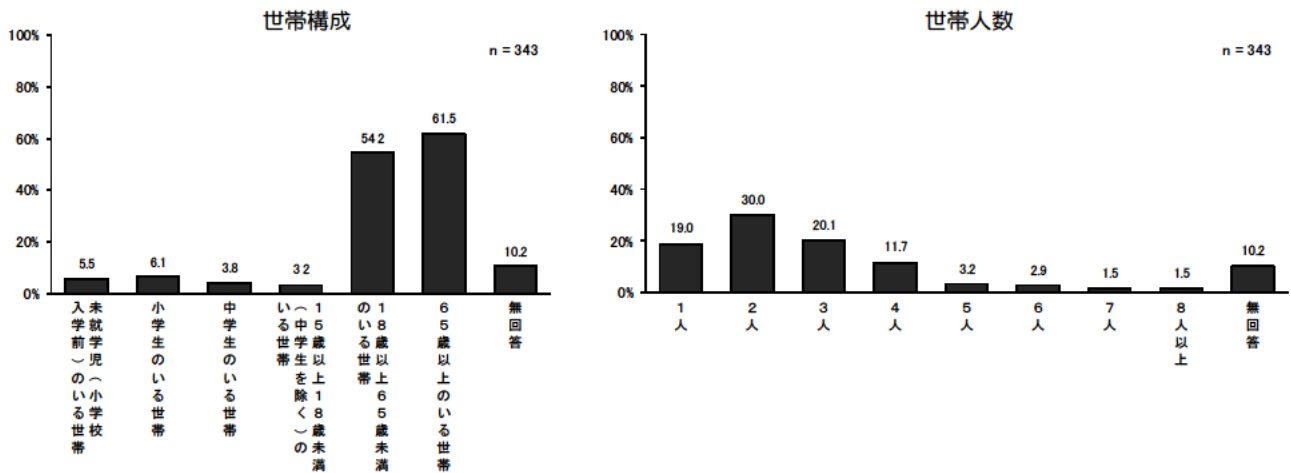
(4) 震災発生当時の世帯構成・人数

<図表2-1-4>



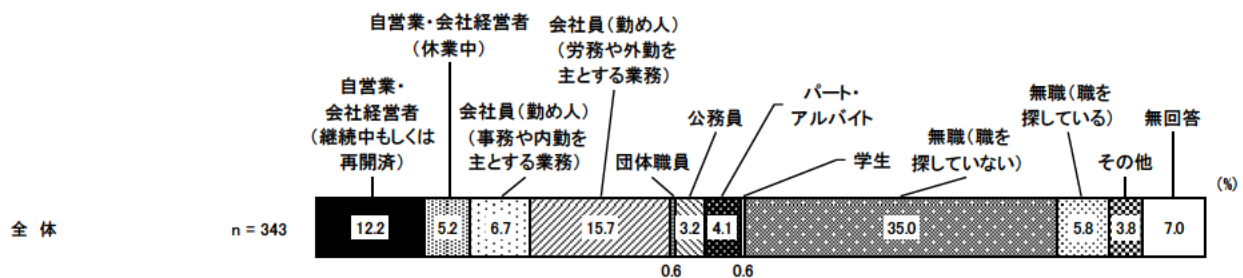
(5) 現在の世帯構成・人数

<図表2-1-5>



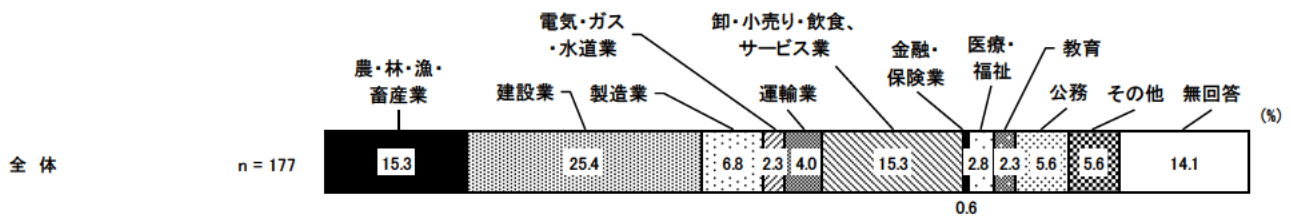
(6) 現在の職業 (就業形態)

<図表2-1-6>



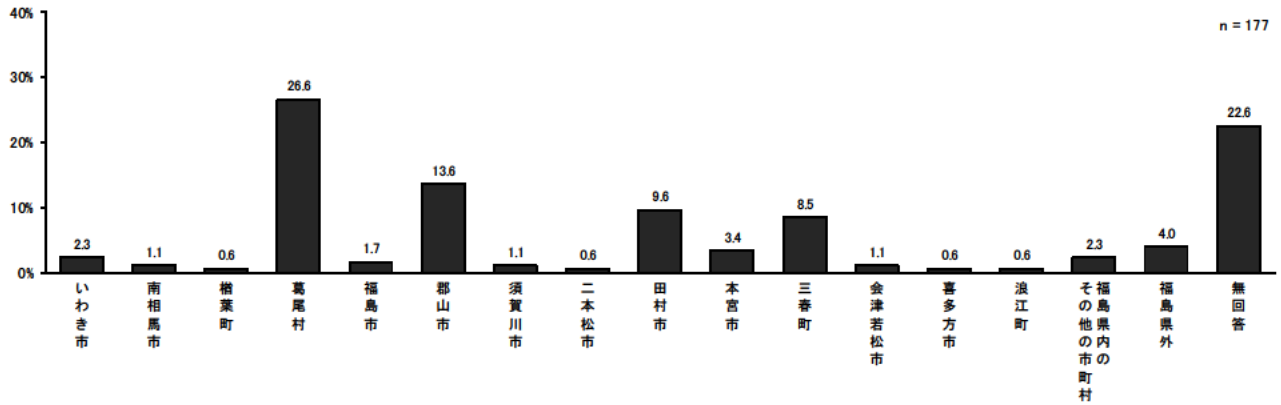
(7) 現在の職業 (業種)

<図表2-1-7>



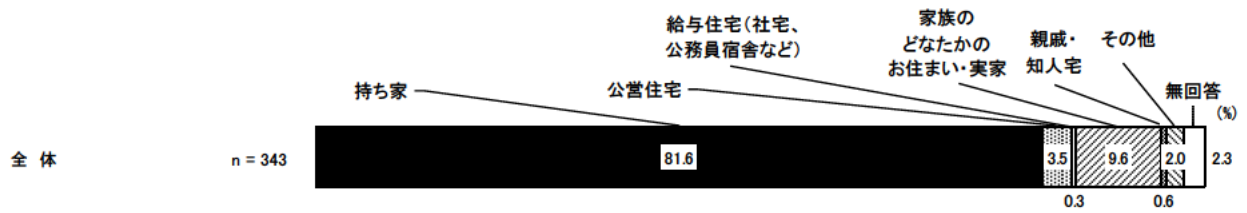
(8) 現在の就業先

<図表2-1-8>



(9) 震災発生当時の住居形態

<図表2-1-9>



III 調査結果

3-1 現在の状況

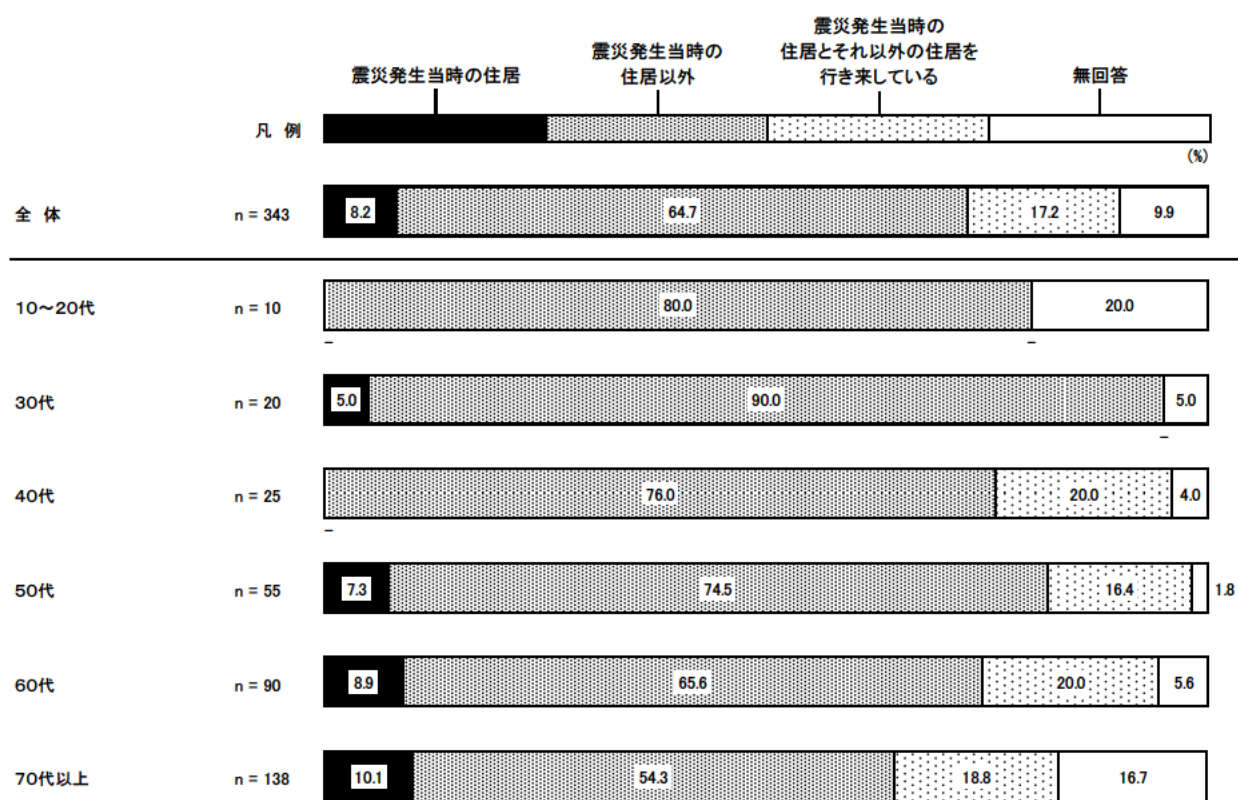
3-1-1 現在の住まいの場所

(1) 現在の住まいの場所

問7 あなたが現在お住まいの場所はどちらですか。(〇は1つ)

現在の住まいの場所については、「震災発生当時の住居以外」が64.7%と最も高く、次いで「震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」が17.2%、「震災発生当時の住居」が8.2%となっている。

<図表3-1-1-1 現在の住まいの場所（年齢別）>



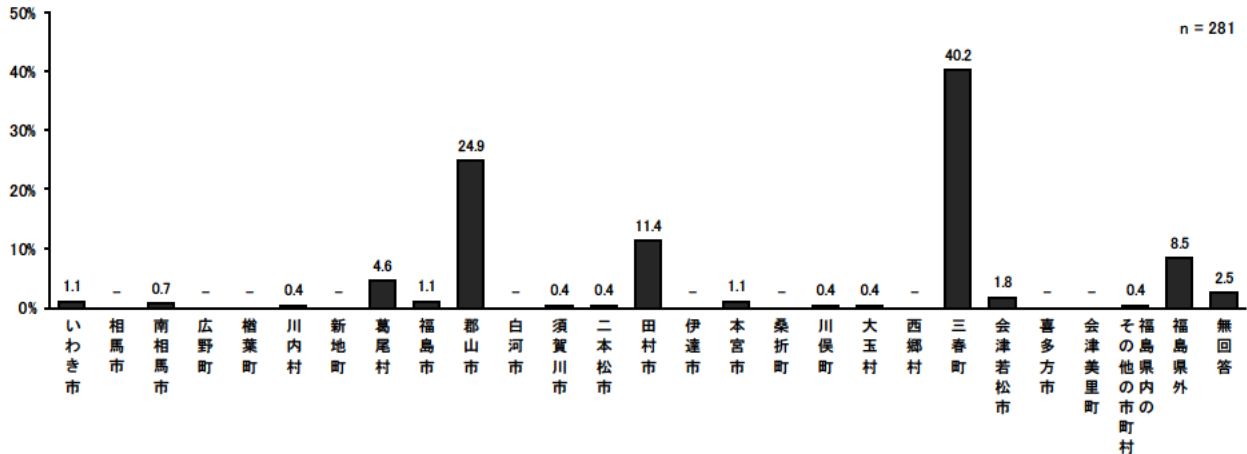
(2) 震災発生当時の住居以外に居住している自治体

【問7で「2 震災発生当時の住居以外」「3. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」と回答した方にうかがいます。】

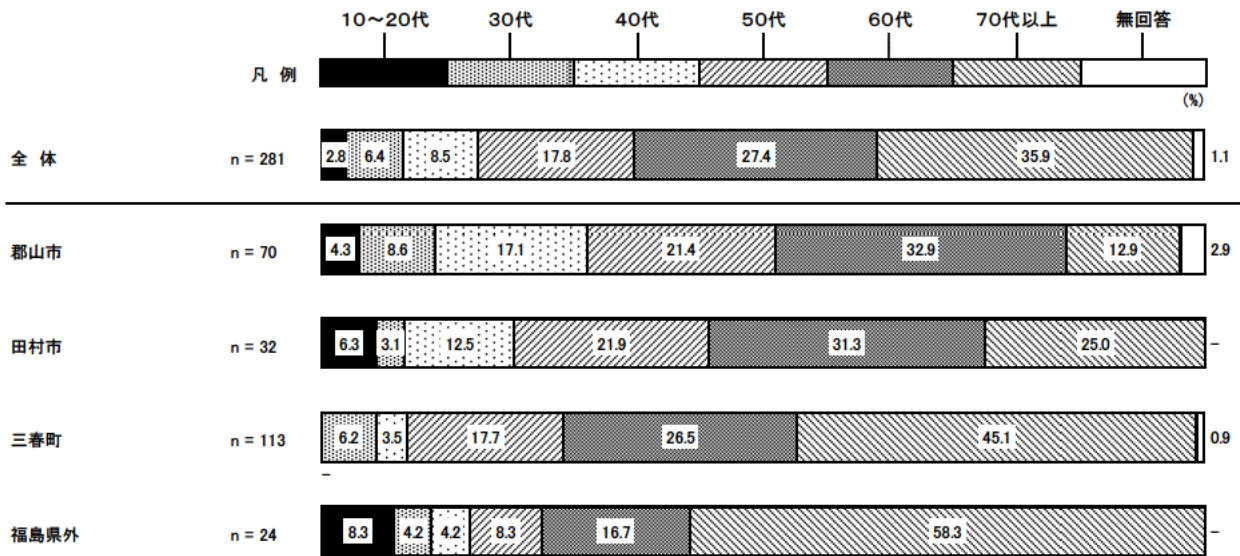
問8 あなたが現在お住まいの、震災発生当時の住居以外のお住まいがある自治体を教えてください。(〇は1つ)

震災発生当時の住居以外に居住している自治体については、「福島県内」が89.0%、「福島県外」が8.5%となっている。自治体でみると、「三春町」が40.2%と最も高く、「郡山市」が24.9%となっている。

<図表3-1-1-2 震災発生当時の住居以外に居住している自治体>

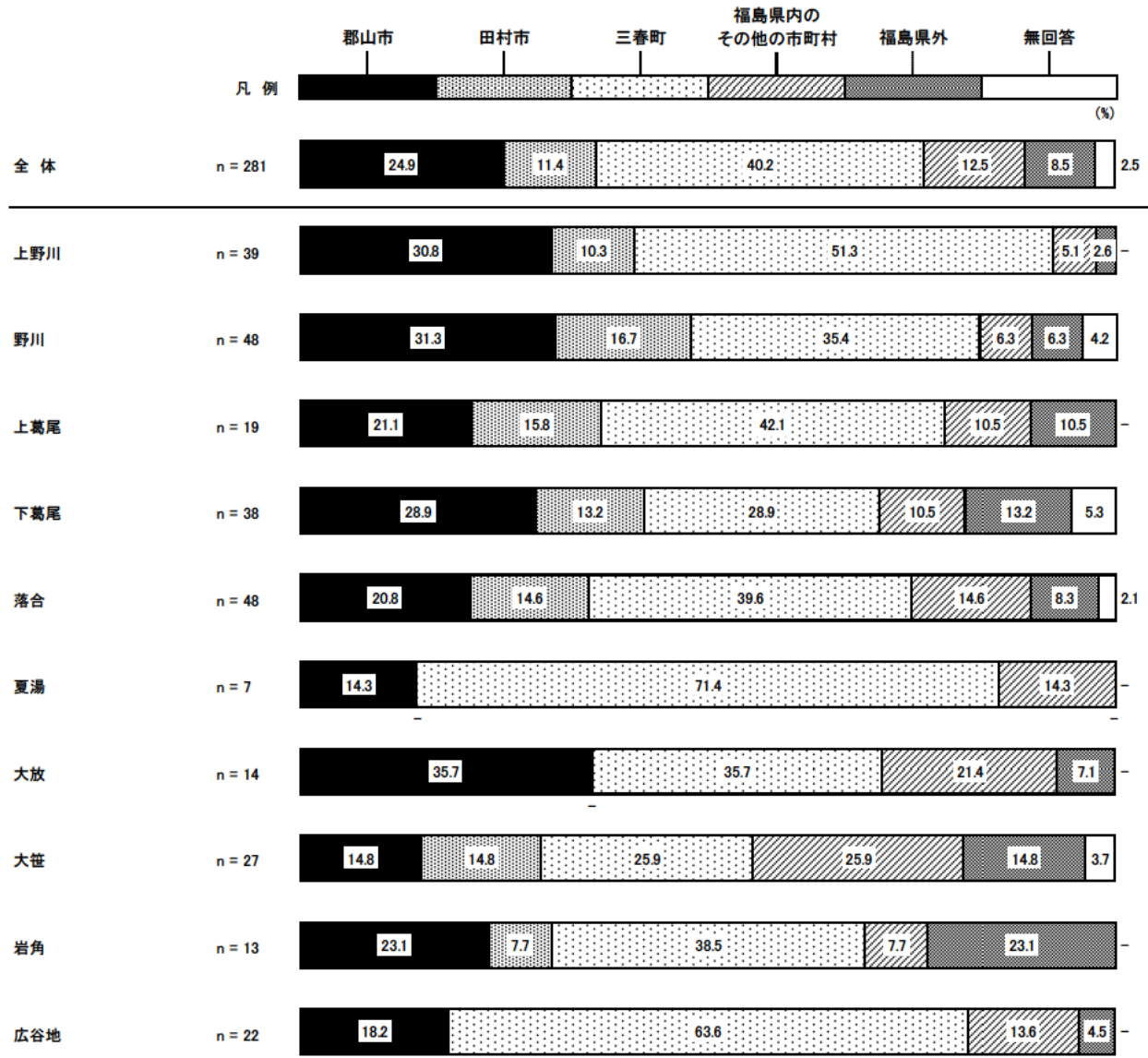


<図表3-1-1-3 震災発生当時の住居以外に居住している主な自治体の年齢構成>



震災発生当時の住まいの行政区別にみると、上野川、野川、下葛尾、落合では「三春町」が3割弱～5割程度で、次いで「郡山市」が2割～3割程度となっている。

<図表3-1-1-4 震災発生当時の住居以外に居住している主な自治体（震災発生当時の住まいの行政区別）>



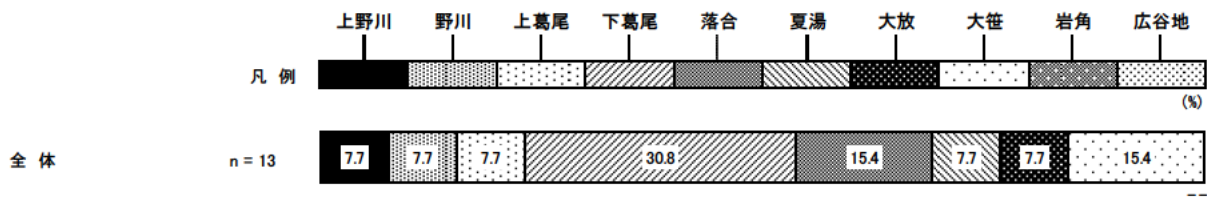
(3) 震災発生当時の住居以外に居住している葛尾村の居住行政区

【問8で「8. 葛尾村」と回答した方に伺います。】

問9 あなたが現在お住まいの、震災発生当時の住居以外のお住まいがある行政区を教えてください。(〇は1つ)

震災発生当時の住居以外に居住している葛尾村の居住行政区については、下葛尾が30.8%と最も高く、次いで落合、大笹がともに15.4%となっている。

<図表3-1-1-5 震災発生当時の住居以外に居住している葛尾村の居住行政区>



3-1-2 世帯構成

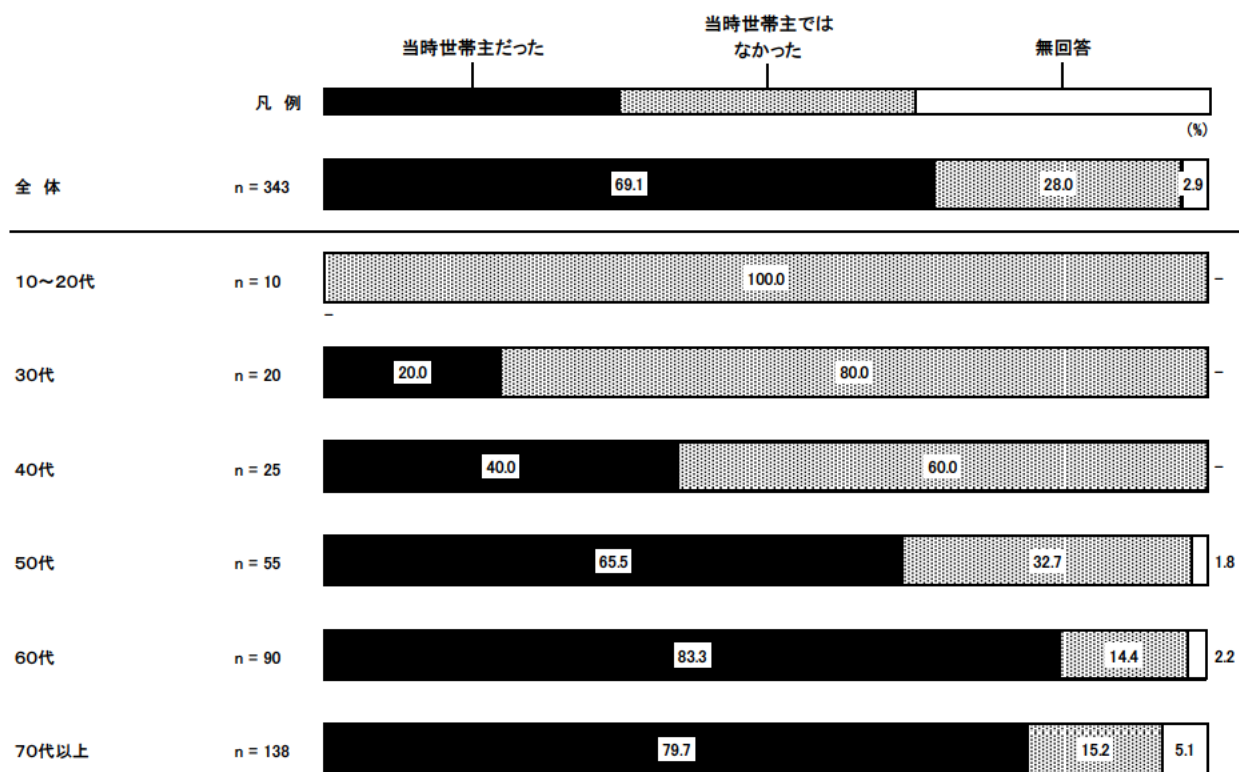
(1) 震災発生当時の世帯での立場

問4 あなたは、震災発生当時、世帯主でしたか。(〇は1つ)

震災発生当時の世帯での立場については、「当時世帯主だった」が69.1%、「当時世帯主ではなかった」が28.0%となっている。

回答者の年齢別にみると、「当時世帯主であった」が60代(83.3%)と70代以上(79.7%)では8割前後を占めており、他の年齢と比べて高くなっている。

<図表3-1-2-1 震災発生当時の世帯での立場(年齢別)>



(2) 震災発生当時の世帯構成・人数

問 11 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。

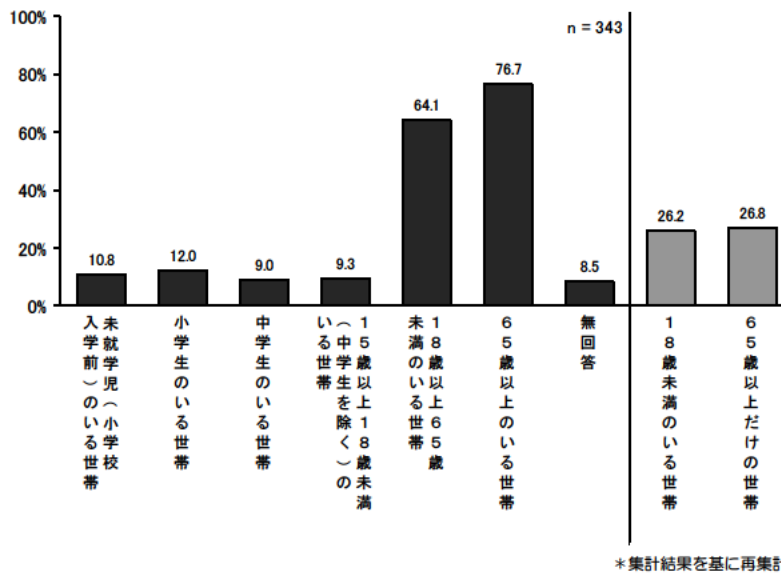
(1) 「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

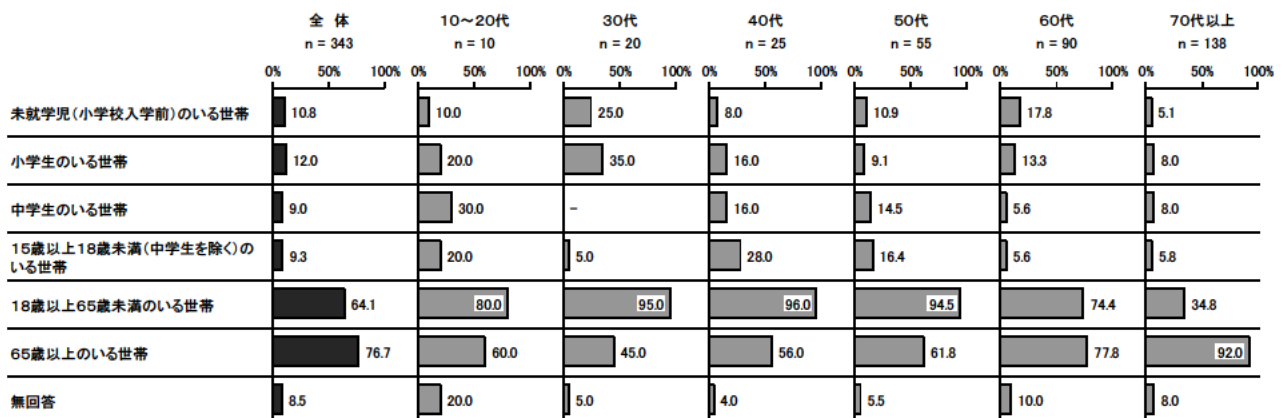
① 震災発生当時の世帯構成

震災発生当時の世帯構成は、「65歳以上のいる世帯」が76.7%と最も高く、次いで「18歳以上65歳未満のいる世帯」が64.1%となっている。「未就学児(小学校入学前)のいる世帯」(10.8%)、「小学生のいる世帯」(12.0%)、「中学生のいる世帯」(9.0%)、「15歳以上18歳未満(中学生を除く)のいる世帯」(9.3%)は、いずれも1割前後となっている。

<図表3-1-2-2 震災発生当時の世帯構成>



<図表3-1-2-3 震災発生当時の世帯構成(年齢別)>

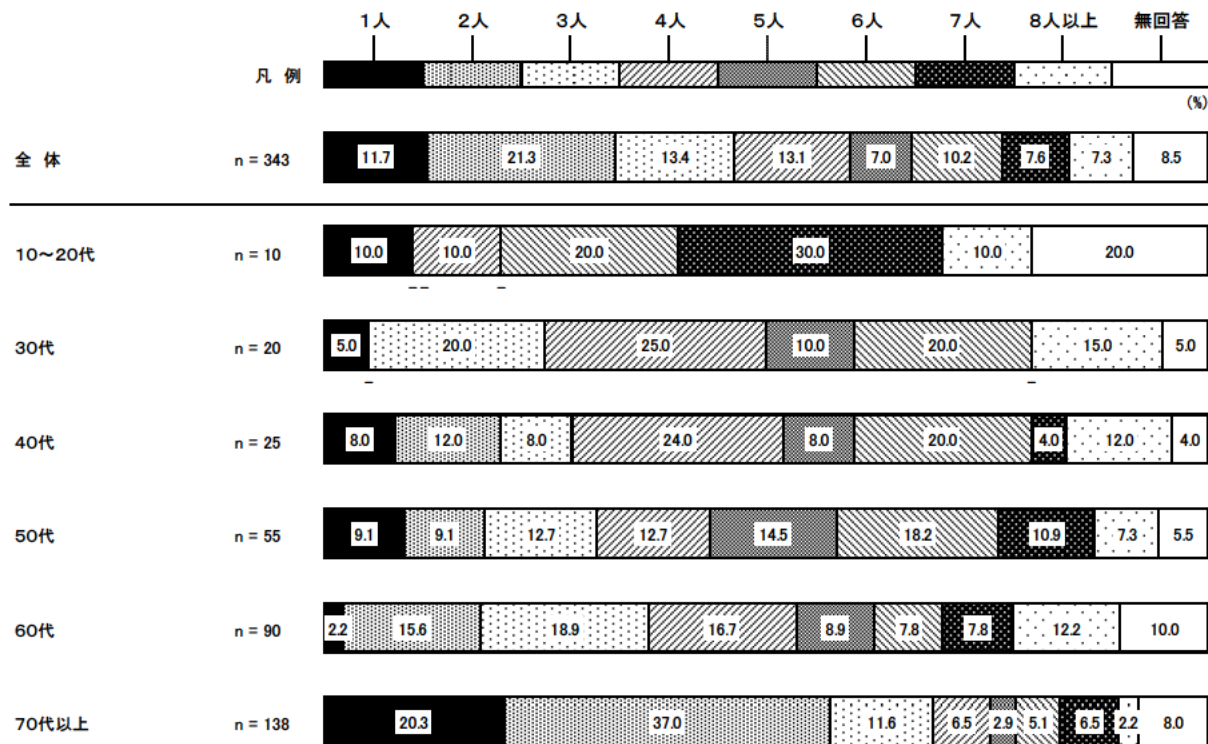


② 震災発生当時の世帯人数

震災発生当時の世帯人数は、「2人」が21.3%と最も高く、次いで「3人」が13.4%、「4人」が13.1%となっている。

回答者の年齢別にみると、「1人」は70代以上（20.3%）で、「2人」は70代以上（37.0%）で、「3人」は60代（18.9%）で他の年齢と比べて割合が高くなっている。

<図表3-1-2-4震災発生当時の世帯人数（年齢別）>



(3) 現在の世帯構成・人数

問 11 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。

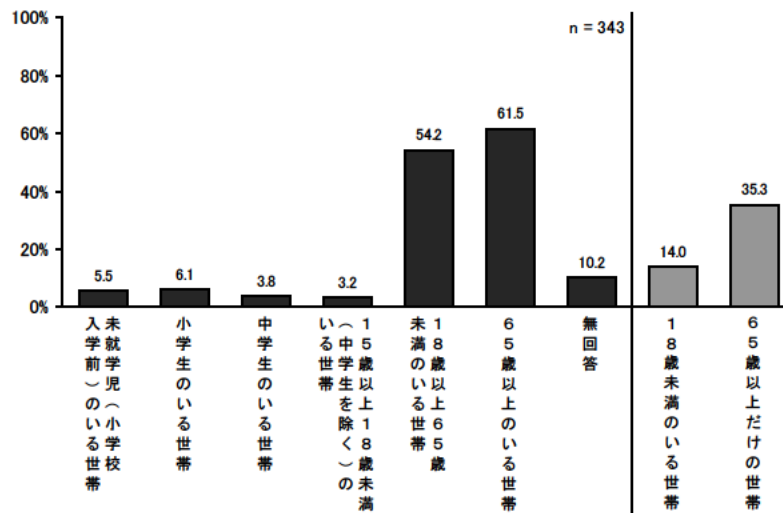
(2) 「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、現在の年齢・学年にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

① 現在の世帯構成

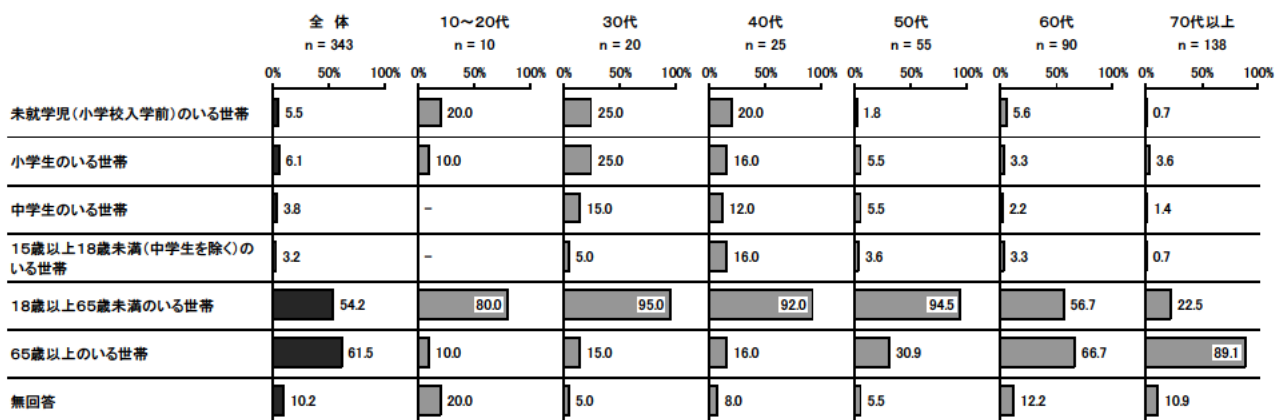
現在の世帯構成は、「65歳以上のいる世帯」が61.5%と最も高く、次いで「18歳以上65歳未満のいる世帯」が54.2%となっている。「未就学児(小学校入学前)のいる世帯」(5.5%)、「小学生のいる世帯」(6.1%)、「中学生のいる世帯」(3.8%)、「15歳以上18歳未満(中学生を除く)のいる世帯」(3.2%)は、いずれも1割未満となっている。

<図表3-1-2-5 現在の世帯構成>



*集計結果を基に再集計

<図表3-1-2-6 現在の世帯構成(年齢別)>

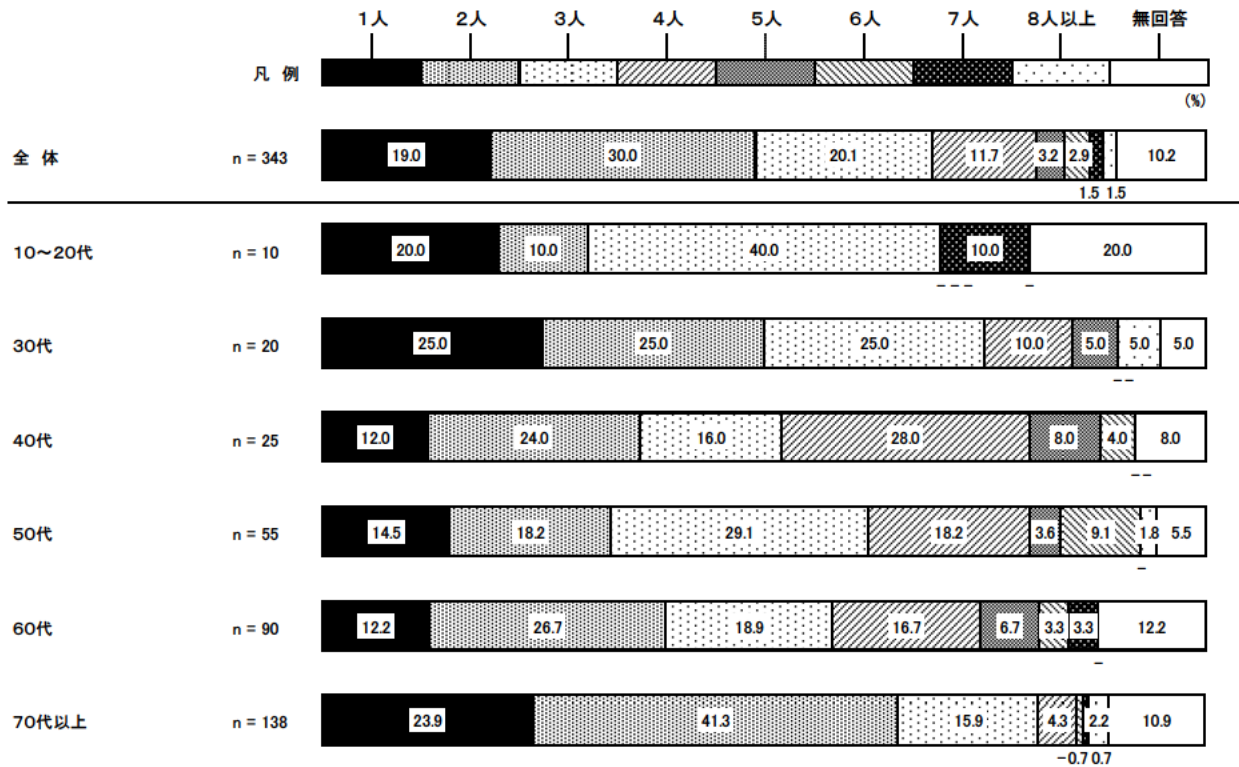


② 現在の世帯人数

現在の世帯人数は、「2人」が30.0%と最も高く、次いで「3人」が20.1%、「1人」が19.0%となっている。

回答者の年齢別にみると、「1人」は70代以上（23.9%）で、「2人」は70代以上（41.3%）で、「3人」は50代（29.1%）で他の年齢と比べて割合が高くなっている。

<図表3-1-2-7 現在の世帯人数（年齢別）>



(4) 世帯の分散状況

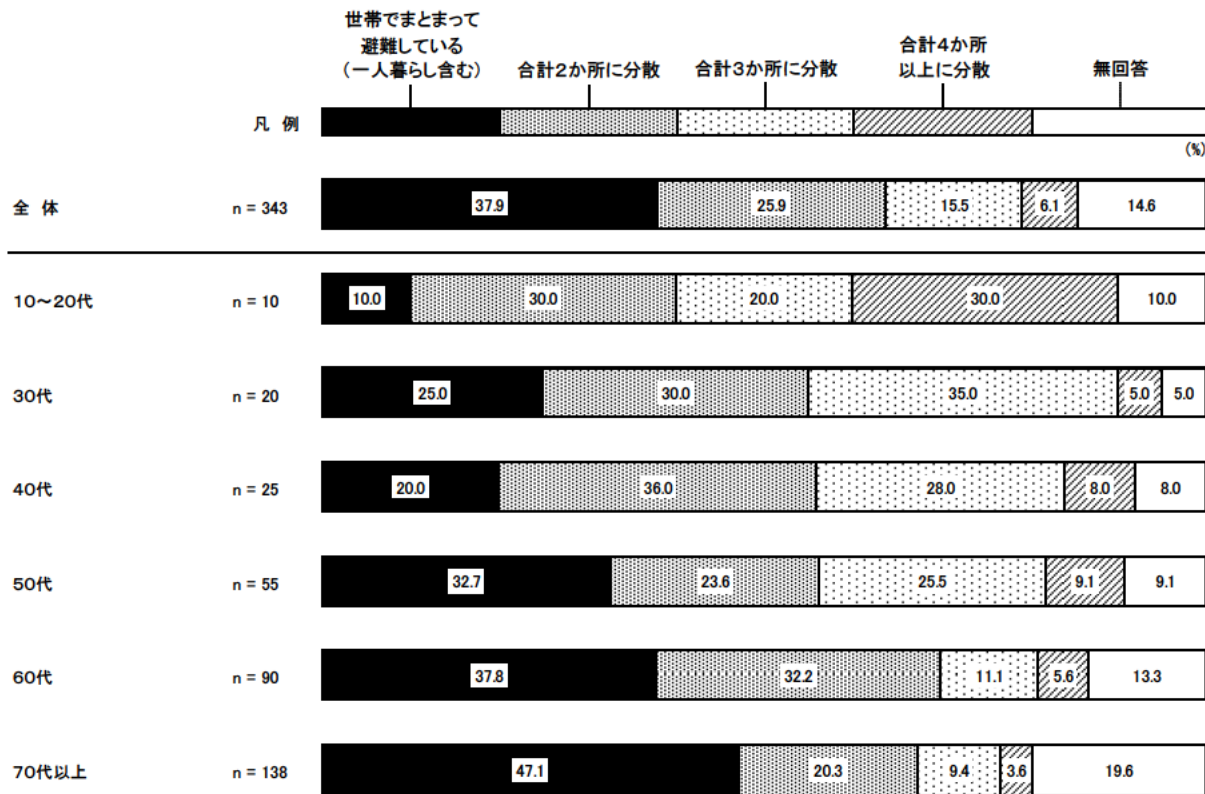
問 11 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。

(3) 震災発生当時、一緒にお住まいであったご家族は、現在、何か所に分散してお住まいですか。(〇は1つ)

世帯の分散状況については、「世帯でまとまって避難している(一人暮らし含む)」が37.9%と最も高く、次いで「合計2か所に分散」が25.9%、「合計3か所に分散」が15.5%となっている。

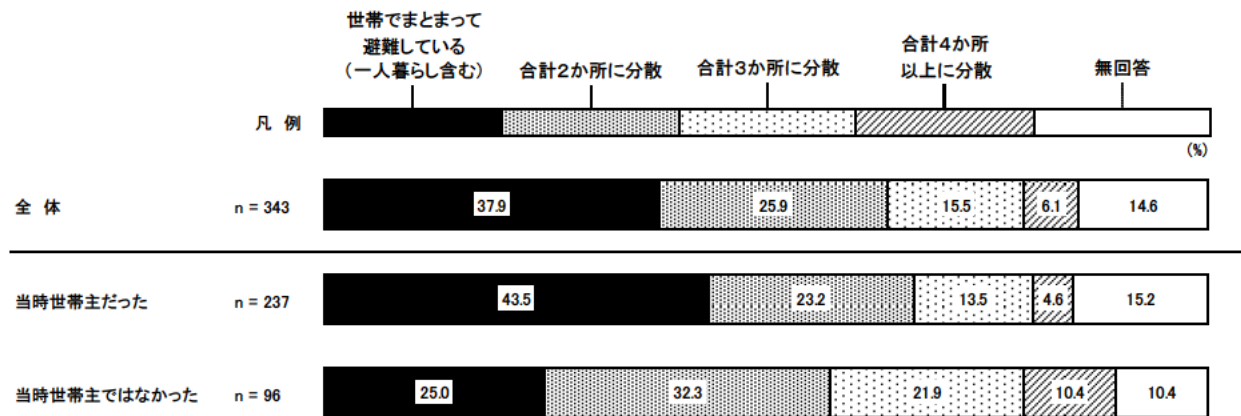
回答者の年齢別にみると、50代~70代以上と年代が大きくなるにつれ「世帯でまとまって避難している(一人暮らし含む)」の割合が高くなっており、70代以上では47.1%となっている。

<図表3-1-2-8 世帯の分散状況(年齢別)>



震災発生当時の世帯での立場別にみると、当時世帯主だった回答では、「世帯でまとまって避難している(一人暮らし含む)」が43.5%と最も高くなっている。当時世帯主ではなかった回答では「合計2か所に分散」が32.3%と最も高くなっている。

<図表3-1-2-9 世帯の分散状況(震災発生当時の世帯での立場別)>



3-1-3 職業

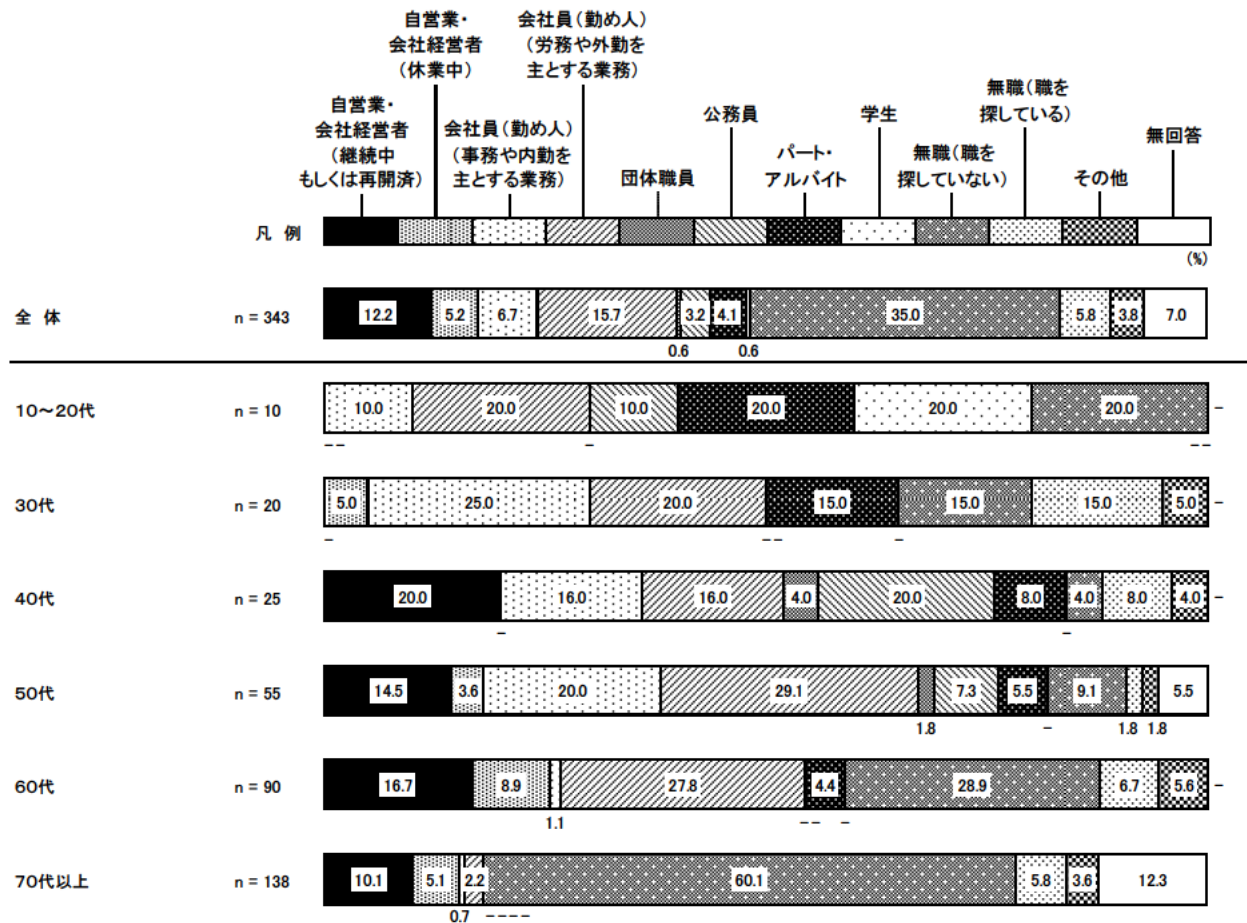
(1) 現在の職業（就業形態）

問2 現在のあなたの職業を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。
 (1) 職業（就業形態）(○は1つ)

現在の職業（就業形態）については、「無職」（職を探していない・職を探している）以外では、「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が15.7%と最も高く、次いで「自営業・会社経営者（継続中もしくは再開済）」が12.2%、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が6.7%となっている。

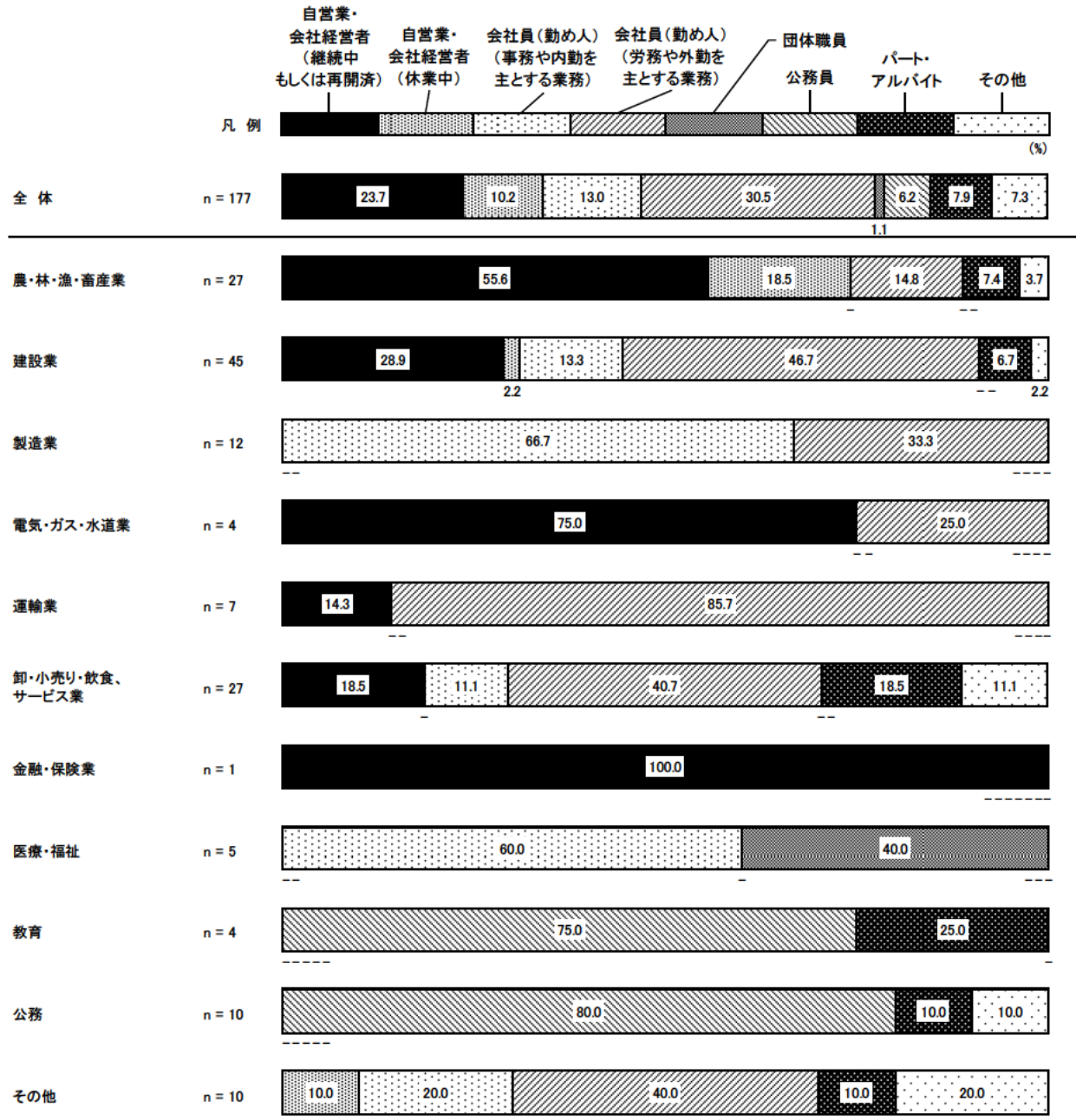
回答者の年齢別にみると、それぞれ最も高い割合を占めている職業は、50代で「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が29.1%、60代で「無職（職を探していない）」が28.9%、70代以上で「無職（職を探していない）」が60.1%となっている。

<図表3-1-3-1 現在の職業（年齢別）>



業種別にみると、建設業では「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が46.7%と最も高くなっている。農・林・漁・畜産業では「自営業・会社経営者（継続中もしくは再開済）」が55.6%となっている。また、卸・小売り・飲食、サービス業では「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が40.7%となっている。

<図表3-1-3-2 現在の職業（業種別）>



(2) 現在の業種

問2 現在のあなたの職業を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

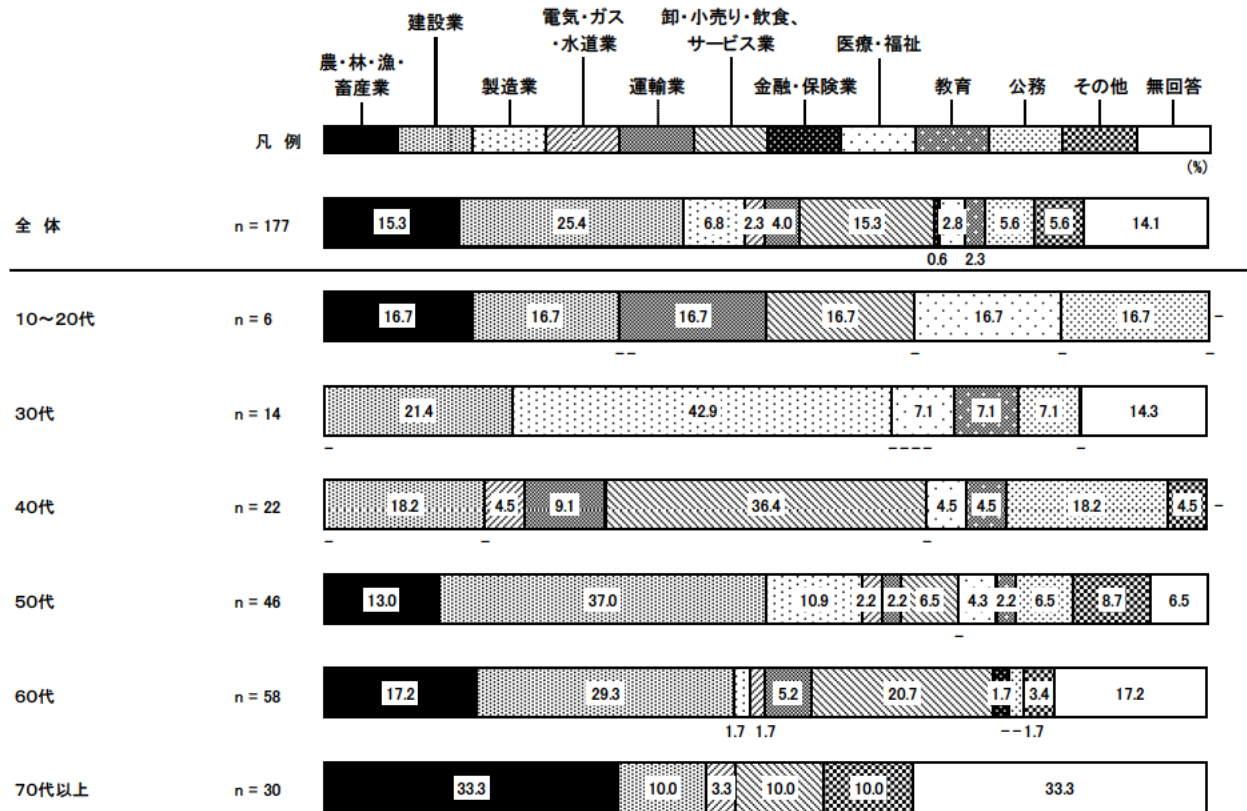
【仕事に就いている方(問2(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方)にうかがいます。】

(2) 業種 (〇は1つ)

現在の業種については、「建設業」が25.4%と最も高く、次いで「農・林・漁・畜産業」「卸・小売り・飲食、サービス業」がともに15.3%、「製造業」が6.8%となっている。

回答者の年齢別にみると、70代以上では「農・林・漁・畜産業」(33.3%)が他の年齢と比べて高くなっている。50代、60代では「建設業」が最も高くなっており、60代では「卸・小売り・飲食、サービス業」も20.7%を占めている。

<図表3-1-3-3 現在の業種(年齢別)>



(3) 現在の就業先の所在自治体

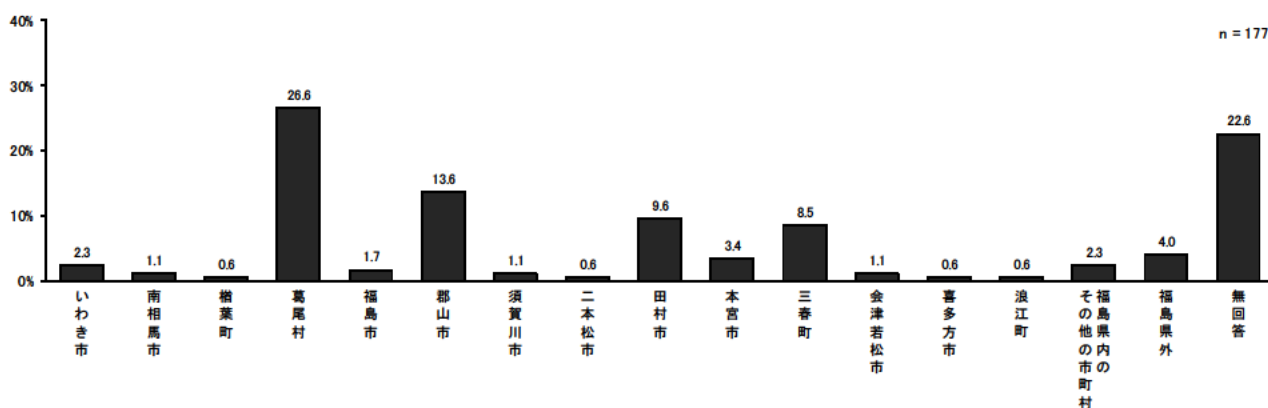
問2 現在のあなたの職業を教えてください。仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

【仕事に就いている方(問2(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方)にうかがいます。】

(3) 現在の就業先の所在自治体

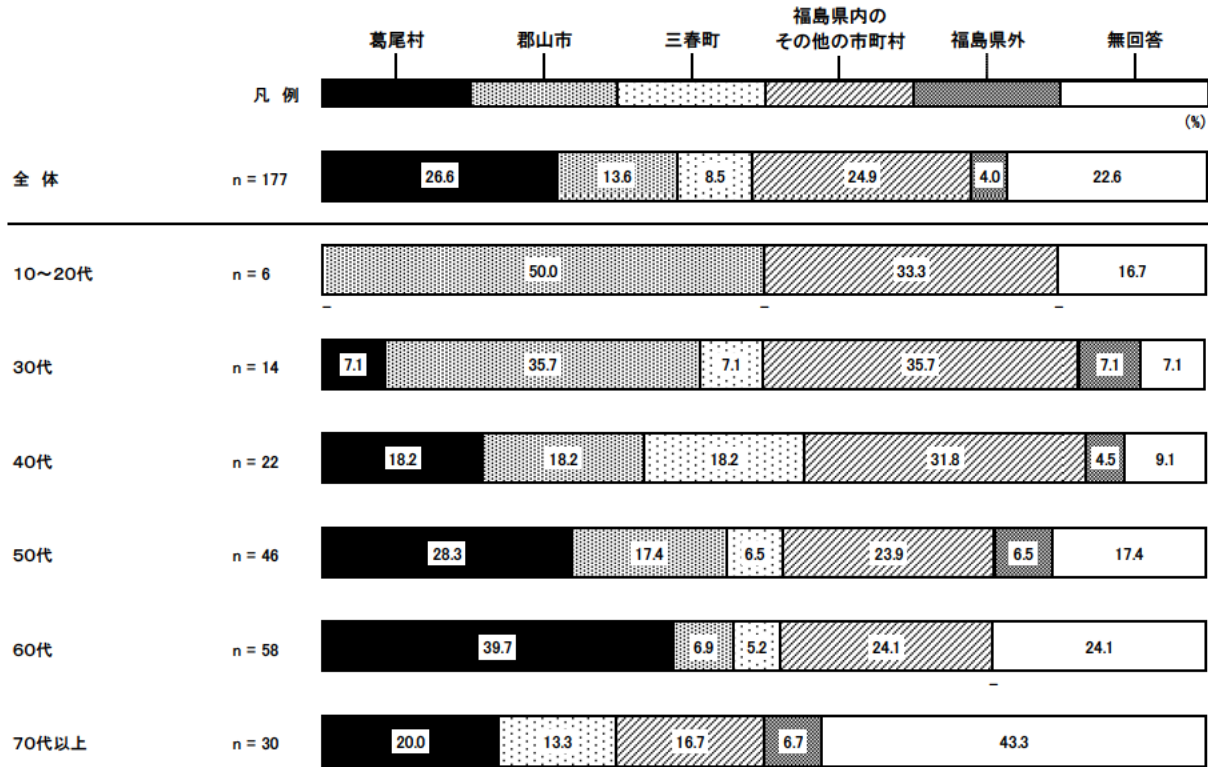
現在の就業先の所在自治体については、「葛尾村」が26.6%と最も高く、次いで「郡山市」が13.6%、「田村市」が9.6%、「三春町」が8.5%となっている。

<図表3-1-3-4 現在の就業先の所在自治体>



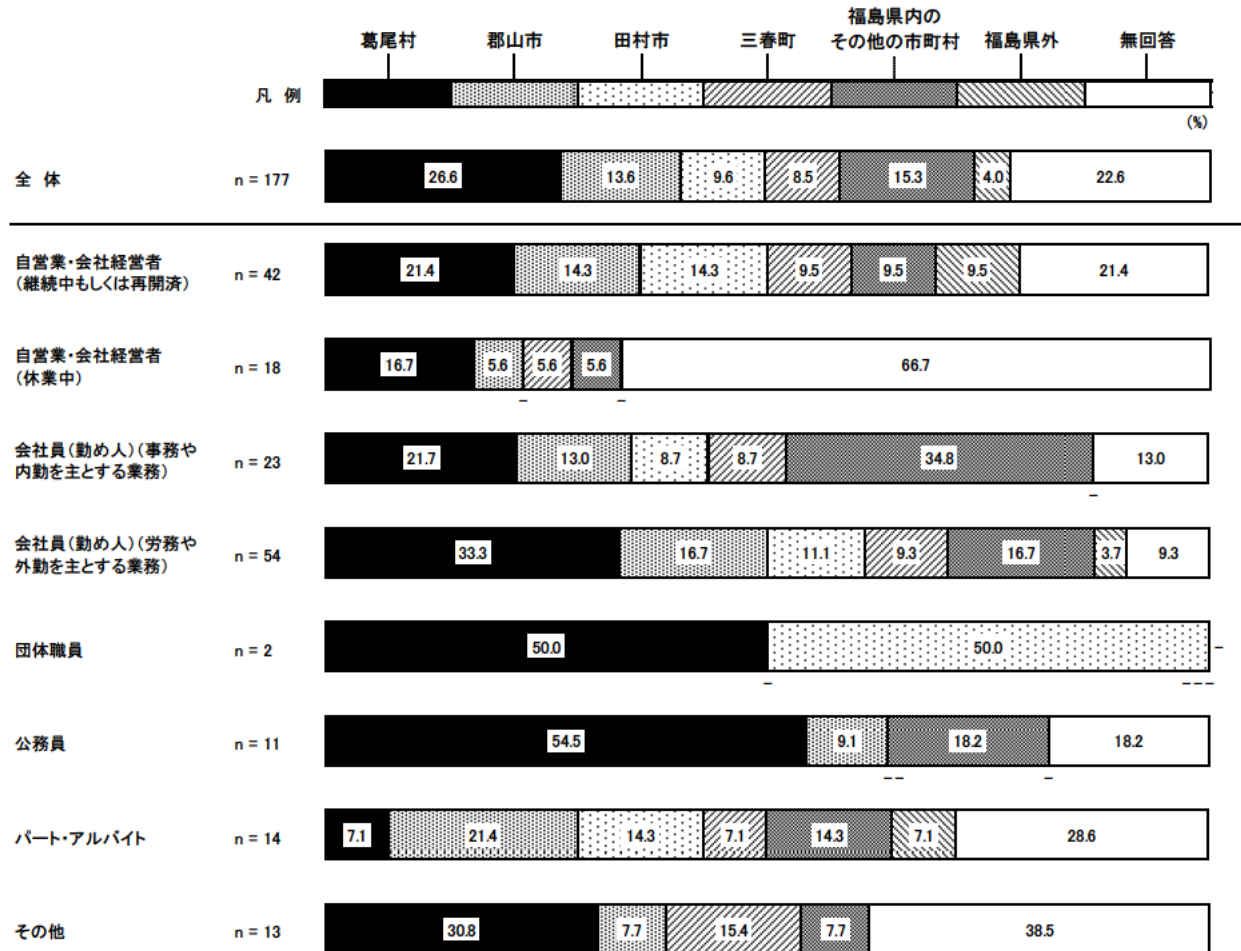
回答者の年齢別にみると、60代では「葛尾村」が39.7%、50代では「郡山市」が17.4%、70代以上では「三春町」が13.3%となっており、他の年齢と比べ割合が高くなっている。

<図表3-1-3-5 現在の就業先の主な所在自治体（年齢別）>



現在の職業別にみると、自営業・会社経営者（継続中もしくは再開済）では「葛尾村」が21.4%と最も高くなっている。会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）では「葛尾村」が33.3%と最も高くなっている。

<図表3-1-3-6 現在の就業先の主な所在自治体（現在の職業別）>



(4) 震災発生当時の職業（就業形態）

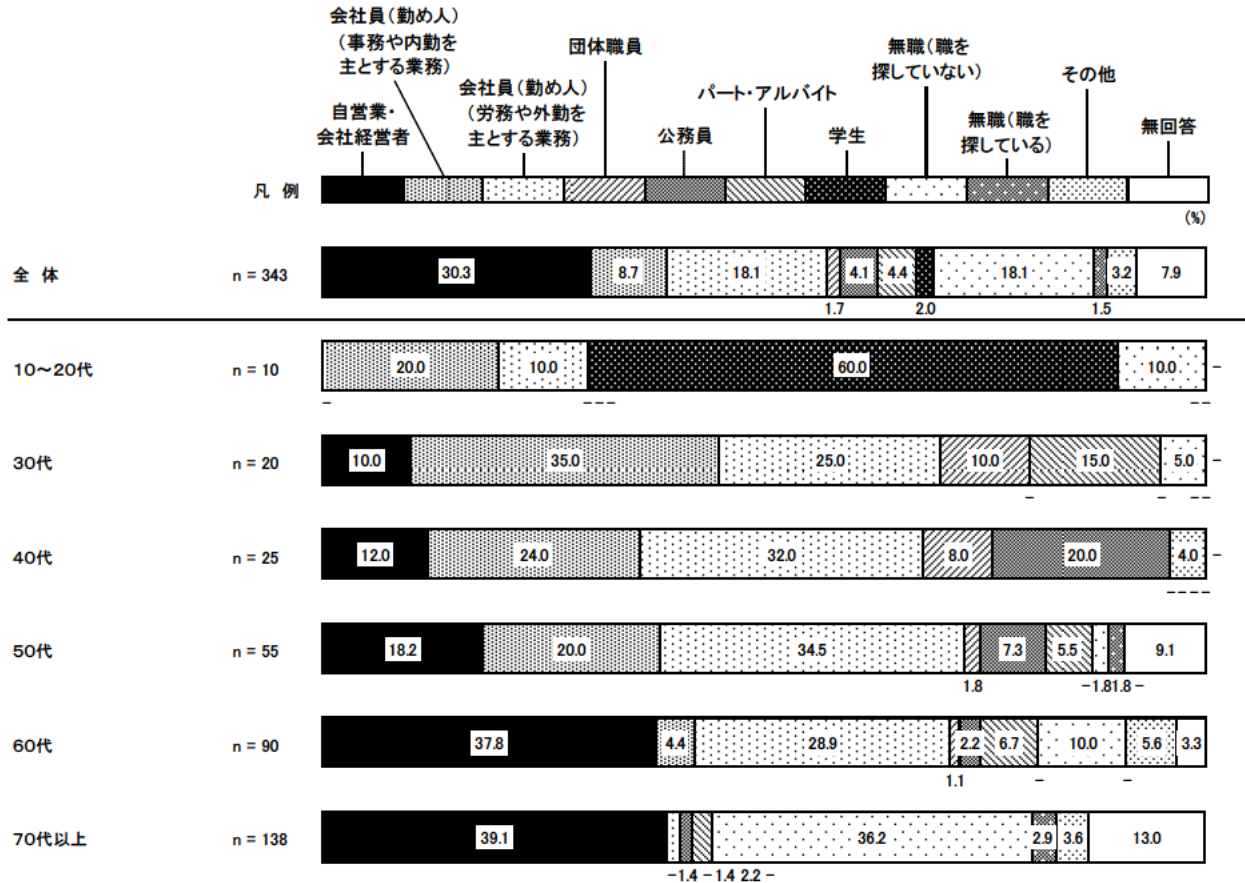
問5 震災発生当時のあなたの職業を教えてください。震災発生当時、仕事に就いていた方は、業種・就業先の所在自治体も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合は、主な収入源となっていた職業を教えてください。

(1) 職業（就業形態）(○は1つ)

震災発生当時の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない・職を探している）」以外では、「自営業・会社経営者」が30.3%と最も高く、次いで「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が18.1%、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が8.7%となっている。

回答者の年齢別にみると、それぞれ最も高い割合を占めている職業は、50代で「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が34.5%、60代で「自営業・会社経営者」が37.8%、70代以上で「自営業・会社経営者」が39.1%となっている。

<図表3-1-3-7 震災発生当時の職業（年齢別）>



(5) 震災発生当時の業種

問5 震災発生当時のあなたの職業を教えてください。震災発生当時、仕事に就いていた方は、業種・就業先の所在自治体も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合は、主な収入源となっていた職業を教えてください。

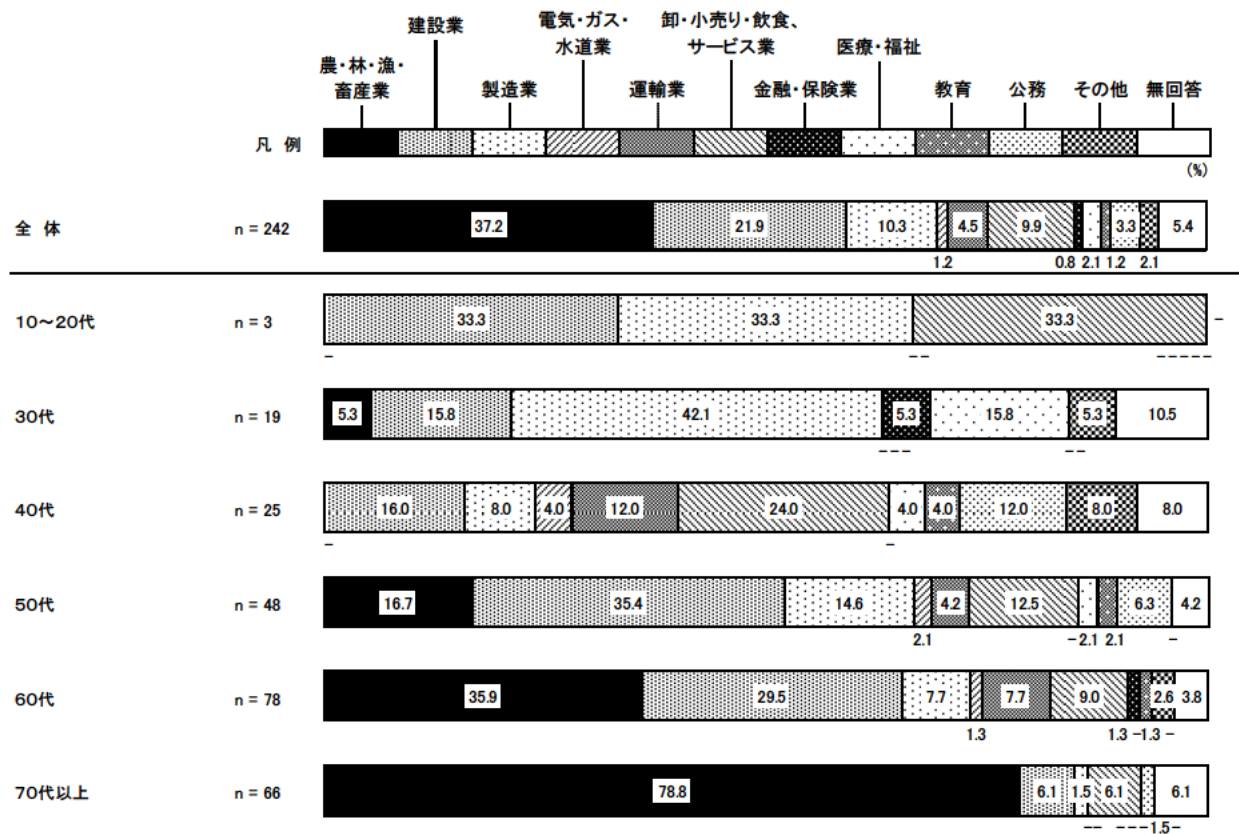
【仕事に就いている方(問5(1)で「1」から「6」、「10」と回答した方)にうかがいます。】

(2) 業種 (〇は1つ)

震災発生当時の業種については、「農・林・漁・畜産業」が37.2%と最も高く、次いで「建設業」が21.9%、「製造業」が10.3%となっている。

回答者の年齢別にみると、「農・林・漁・畜産業」は60代で35.9%、70代以上で78.8%、「建設業」は50代で35.4%、60代で29.5%、「製造業」は50代で14.6%と他の年齢と比べて高くなっている。

<図表3-1-3-8 震災発生当時の業種(年齢別)>



(6) 震災発生当時の就業先の所在自治体

問5 震災発生当時のあなたの職業を教えてください。震災発生当時、仕事に就いていた方は、業種・就業先の所在自治体も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合は、主な収入源となっていた職業を教えてください。

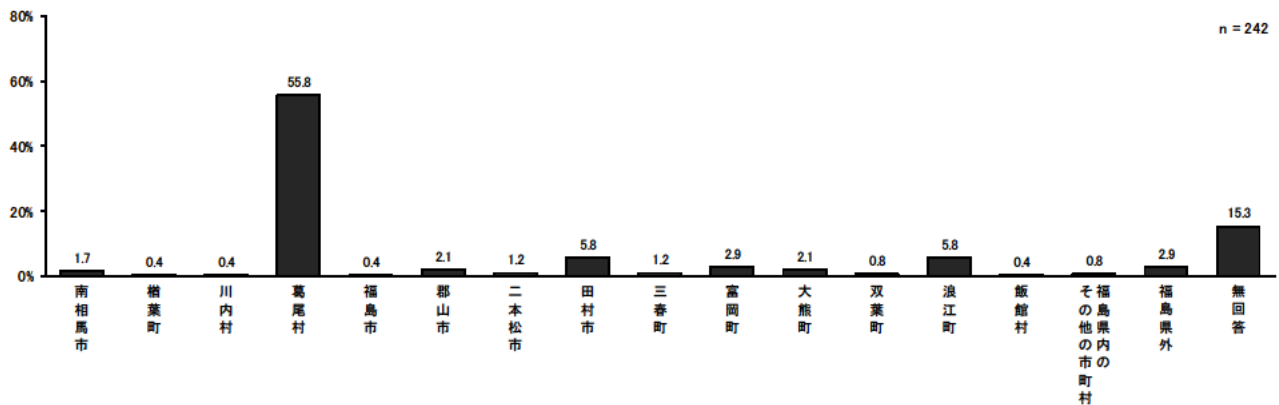
【仕事に就いている方(問5(1)で「1」から「6」、「10」と回答した方)にうかがいます。】

(3) 震災発生当時の就業先の所在自治体

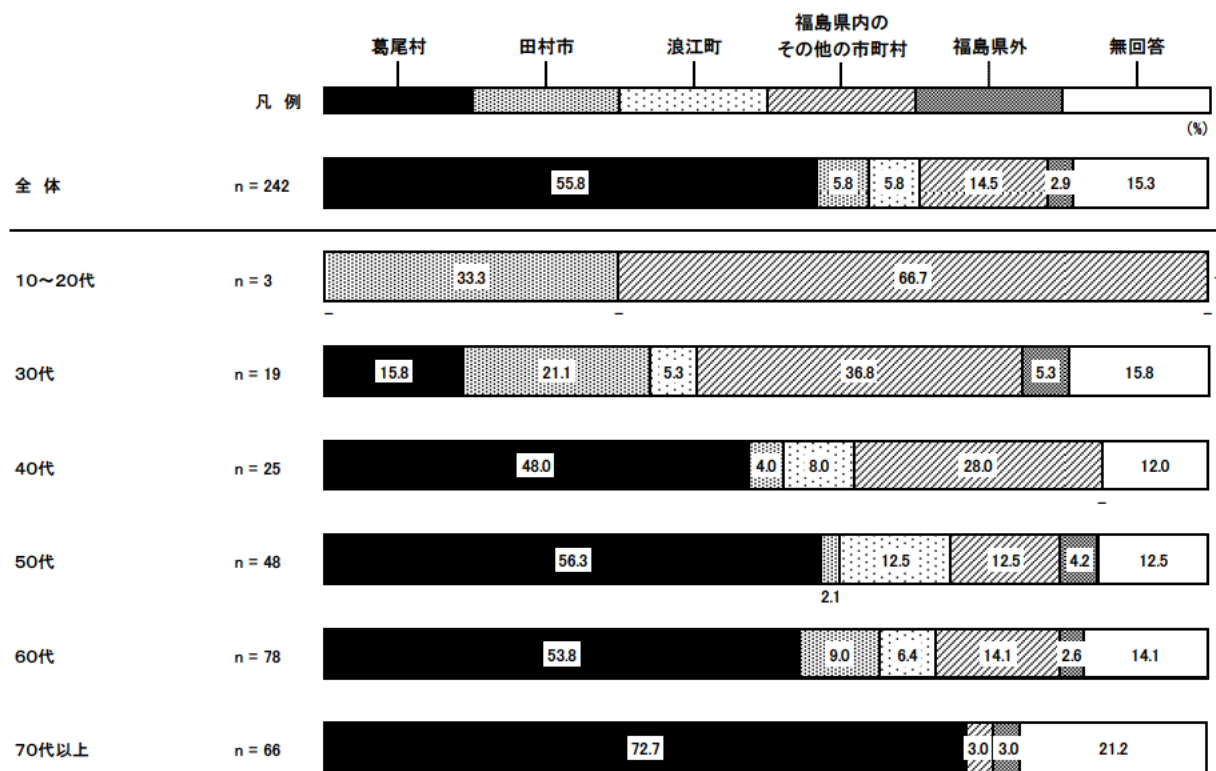
震災発生当時の就業先の所在自治体については、「葛尾村」が55.8%と最も高く、次いで「田村市」「浪江町」がともに5.8%、「福島県外」が2.9%となっている。

回答者の年齢別にみると、「葛尾村」は70代以上では72.7%と最も高くなっている。

<図表3-1-3-9 震災発生当時の就業先の所在自治体>



<図表3-1-3-10 震災発生当時の就業先の主な所在自治体(年齢別)>



3-1-4 震災発生当時の住居以外に居住している場合の現在の住居形態

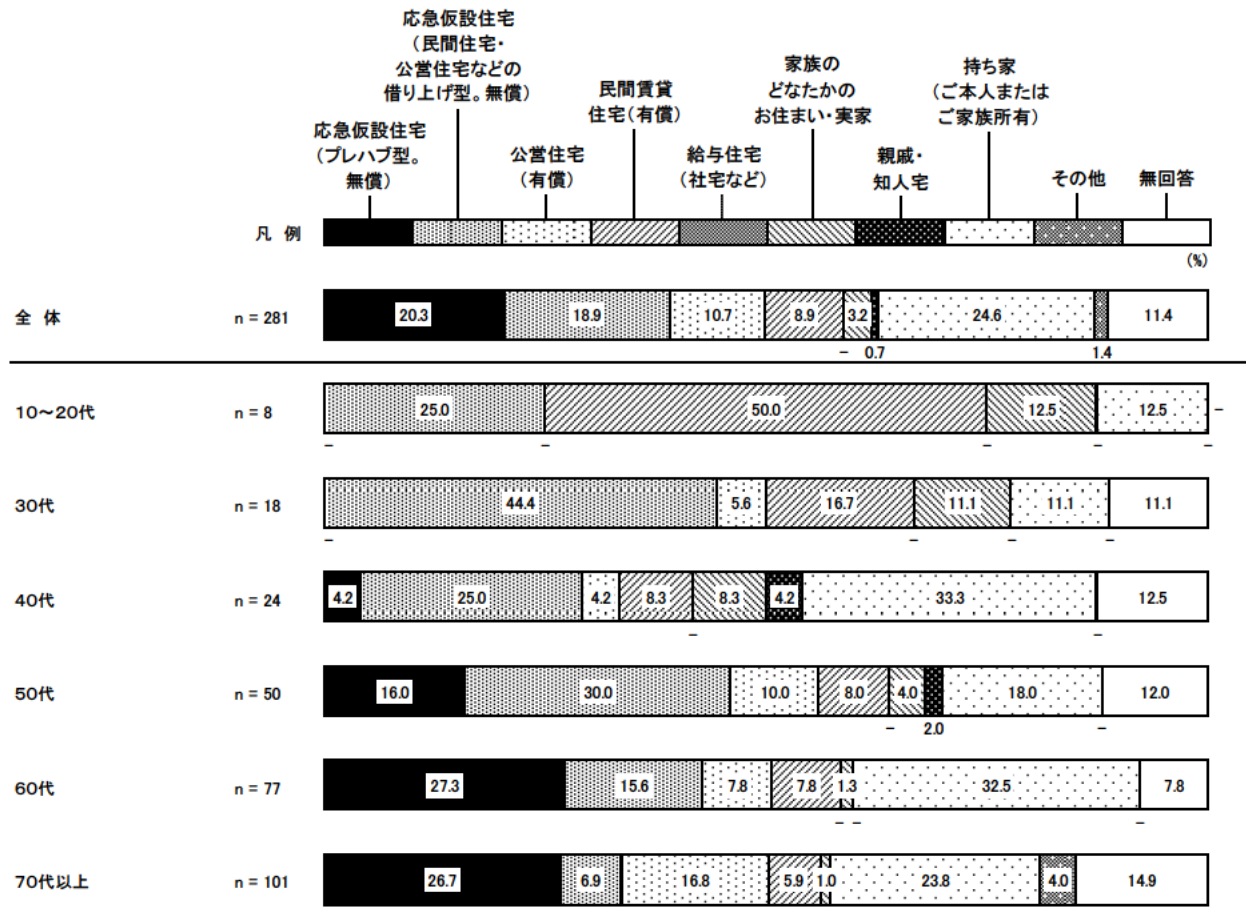
【問7で「2 震災発生当時の住居以外」「3. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」と回答した方にうかがいます。】

問10 現在お住まいの、震災発生当時の住居以外のお住まいは、どのような住居形態ですか。(〇は1つ)

震災発生当時の住居以外に居住している場合の現在の住居形態については、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が24.6%と最も高く、次いで「応急仮設住宅（プレハブ型。無償）」が20.3%、「応急仮設住宅（民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償）」が18.9%となっている。

回答者の年齢別にみると、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」は60代では32.5%と最も高くなっている。一方、「応急仮設住宅（プレハブ型。無償）」は60代（27.3%）、70代以上（26.7%）では3割弱を占めている。

<図表3-1-4-1 震災発生当時の住居以外に居住している場合の現在の住居形態（年齢別）>



3-1-5 震災発生当時の住居

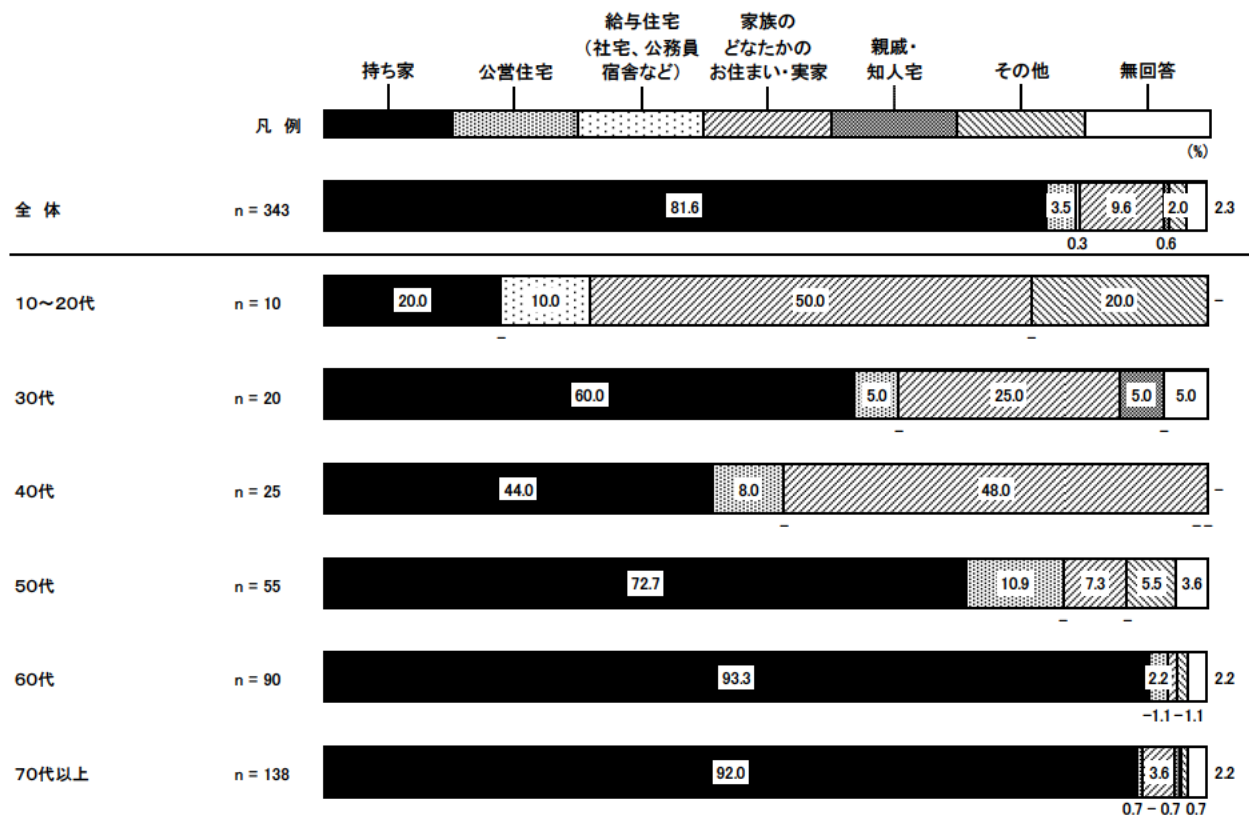
(1) 震災発生当時の住居形態

問6 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(〇は1つ)

震災発生当時の住居形態については、「持ち家」が81.6%と最も高く、次いで「家族のどなたかのお住まい・実家」が9.6%となっている。

回答者の年齢別にみると、「持ち家」は60代(93.3%)、70代以上(92.0%)では9割以上を占めている。また、「公営住宅」は50代が10.9%と他の年齢と比べて高くなっている。

<図表3-1-5-1 震災発生当時の住居形態(年齢別)>



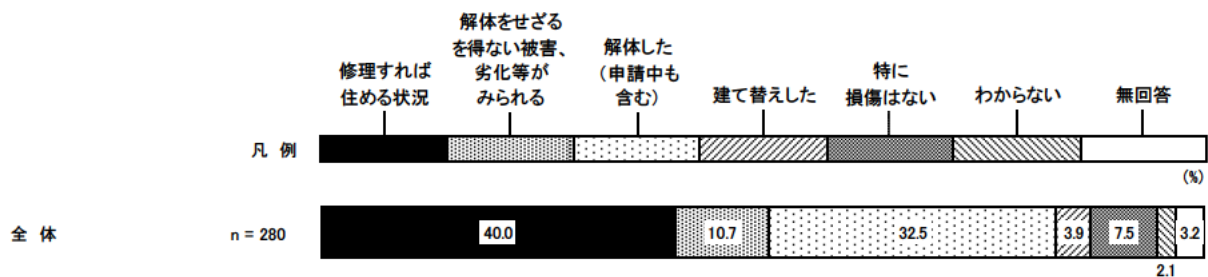
(2) 震災発生当時の住宅の状況

【問6-1で「1. 持ち家」と回答した方にうかがいます。】

問6-1 震災発生当時にお住まいだった住宅は、現在どのような状況ですか。(〇は1つ)

震災発生当時の住宅の状況については、「修理すれば住める状況」が40.0%と最も高く、次いで「解体した(申請中も含む)」が32.5%、「解体をせざるを得ない被害、劣化等がみられる」が10.7%となっている。

<図表3-1-5-2 震災発生当時の住宅の状況>



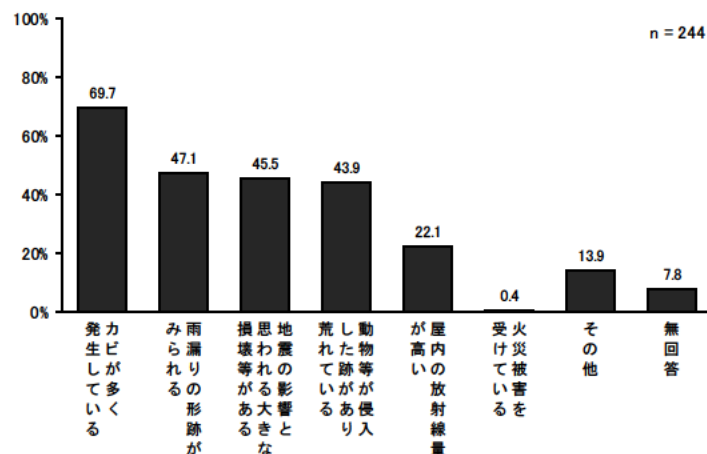
(3) 震災発生当時の住宅の具体的な被害内容

【問6-1で「1」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問6-2 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような被害や劣化等がありますか(ありましたか)。(〇はいくつでも)

震災発生当時の住宅の具体的な被害内容については、「カビが多く発生している」が69.7%と最も高く、次いで「雨漏りの形跡がみられる」が47.1%、「地震の影響と思われる大きな損壊等がある」が45.5%となっている。

<図表3-1-5-3 震災発生当時の住宅の具体的な被害内容>



3-2 将来の意向

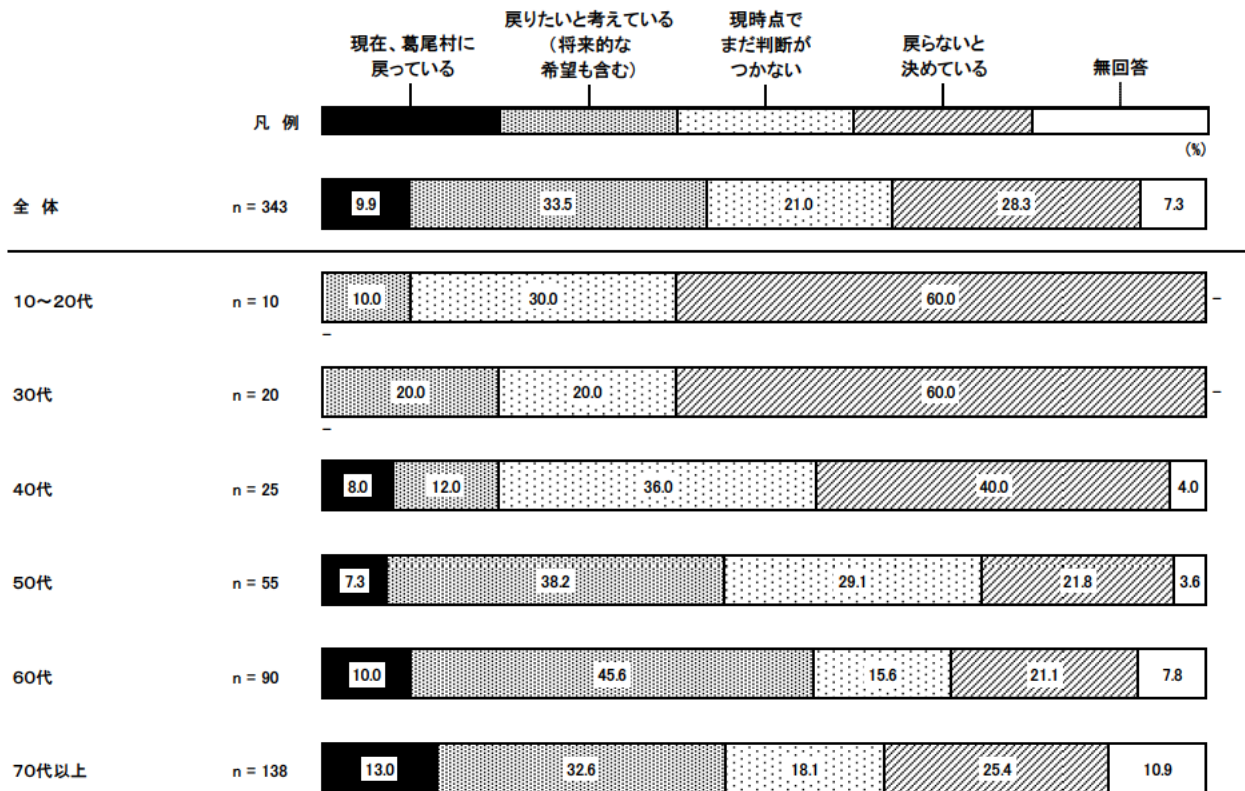
3-2-1 葛尾村への帰還意向

問 12 葛尾村への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。「1」から「4」の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。現在一緒にお住まいのご家族の一部だけでも戻りたいと考えている場合は、「1」または「2」のお考えに近い番号を選んでください。(〇は1つ)

葛尾村への帰還意向については、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」が33.5%と最も高く、次いで「戻らないと決めている」が28.3%、「現時点でまだ判断がつかない」が21.0%となっている。

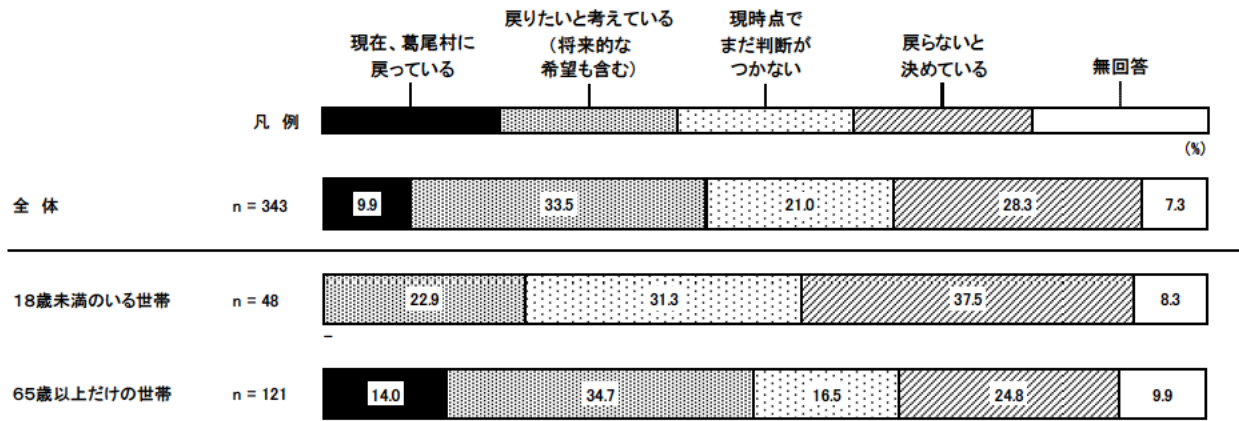
回答者の年齢別にみると、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」は50代で38.2%、60代で45.6%、70代以上で32.6%と3割～4割を占める。一方、「戻らないと決めている」は50代で21.8%、60代で21.1%、70代以上で25.4%と2割を占めている。

<図表3-2-1-1 葛尾村への帰還意向（年齢別）>



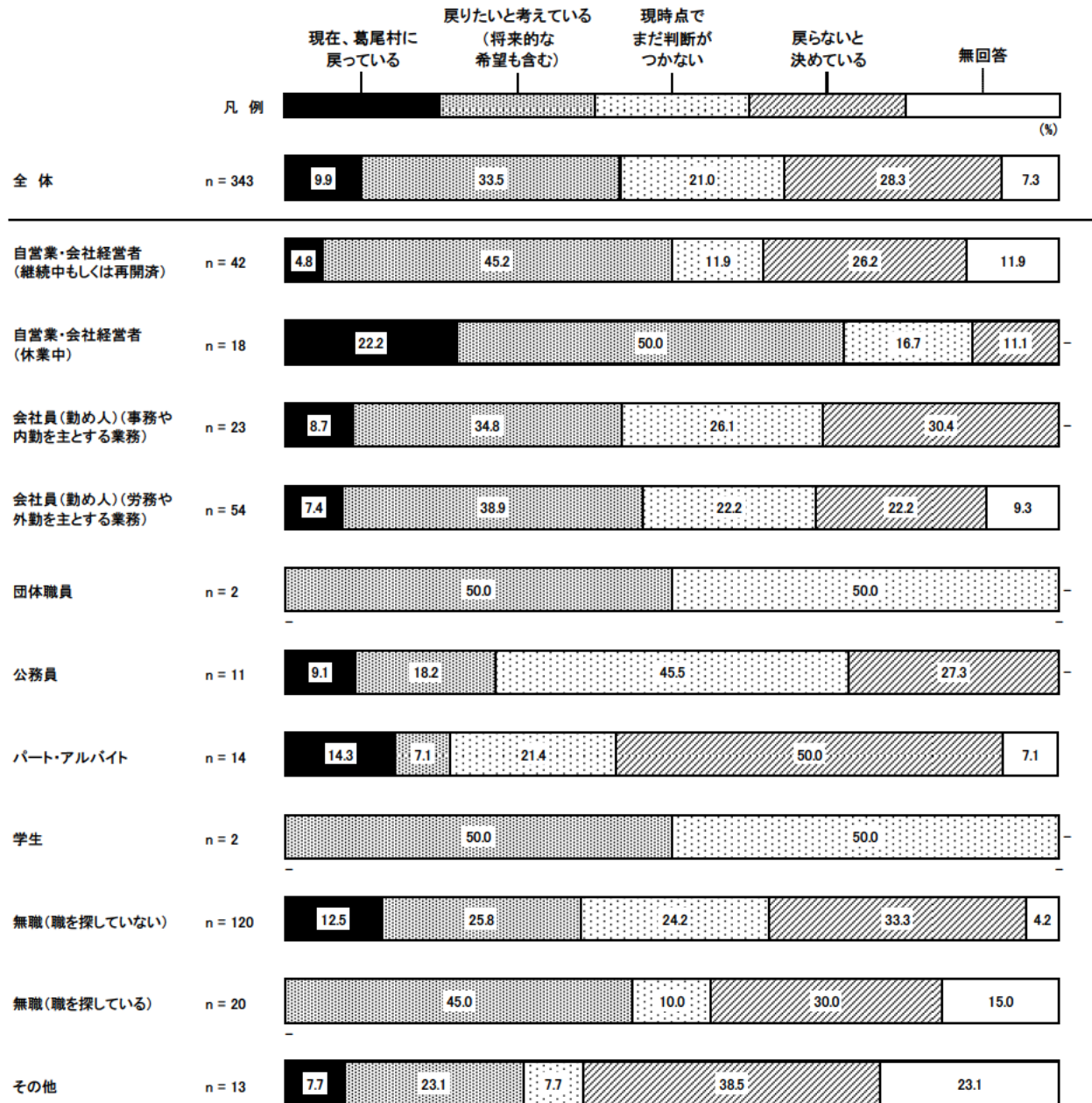
世帯構成別にみると、「戻らないと決めている」は18歳未満のいる世帯で37.5%、65歳以上だけの世帯で24.8%となっている。一方、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」は18歳未満のいる世帯で22.9%、65歳以上だけの世帯で34.7%となっている。

<図表3-2-1-2 葛尾村への帰還意向（世帯構成別）>



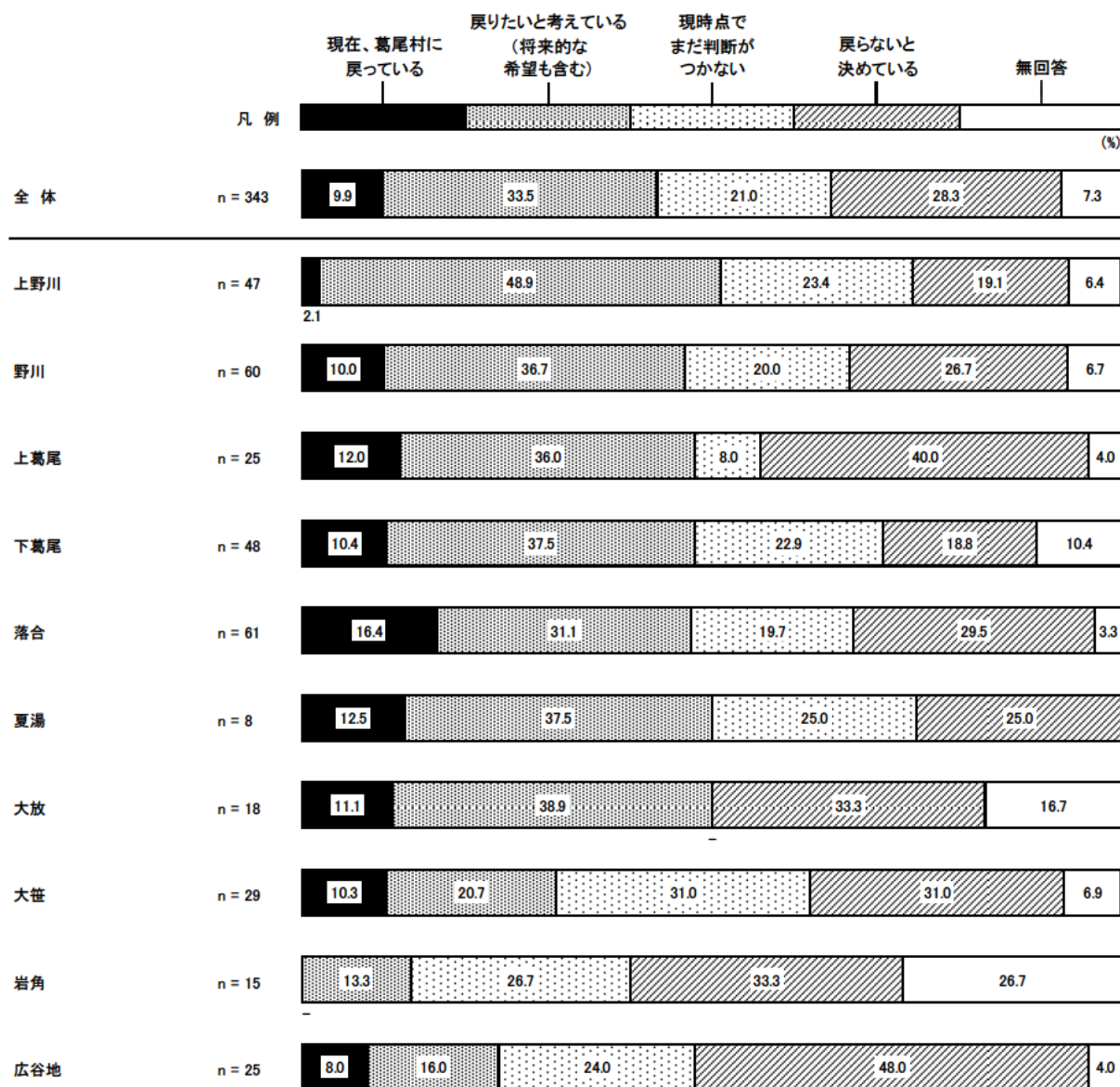
職業別にみると、自営業・会社経営者（継続中もしくは再開済）では「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」が45.2%、会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）では「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」が38.9%、無職（職を探していない）では「戻らないと決めている」が33.3%と最も高くなっている。

<図表3-2-1-3 葛尾村への帰還意向（職業別）>



震災発生当時の住まいの行政区別にみると、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」は上野川で48.9%、野川で36.7%、上葛尾で36.0%、下葛尾で37.5%と、他の居住行政区と比べ高くなっている。一方、「戻らないと決めている」は上葛尾で40.0%、広谷地で48.0%と、他の居住行政区と比べ高くなっている。

<図表3-2-1-4 葛尾村への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>

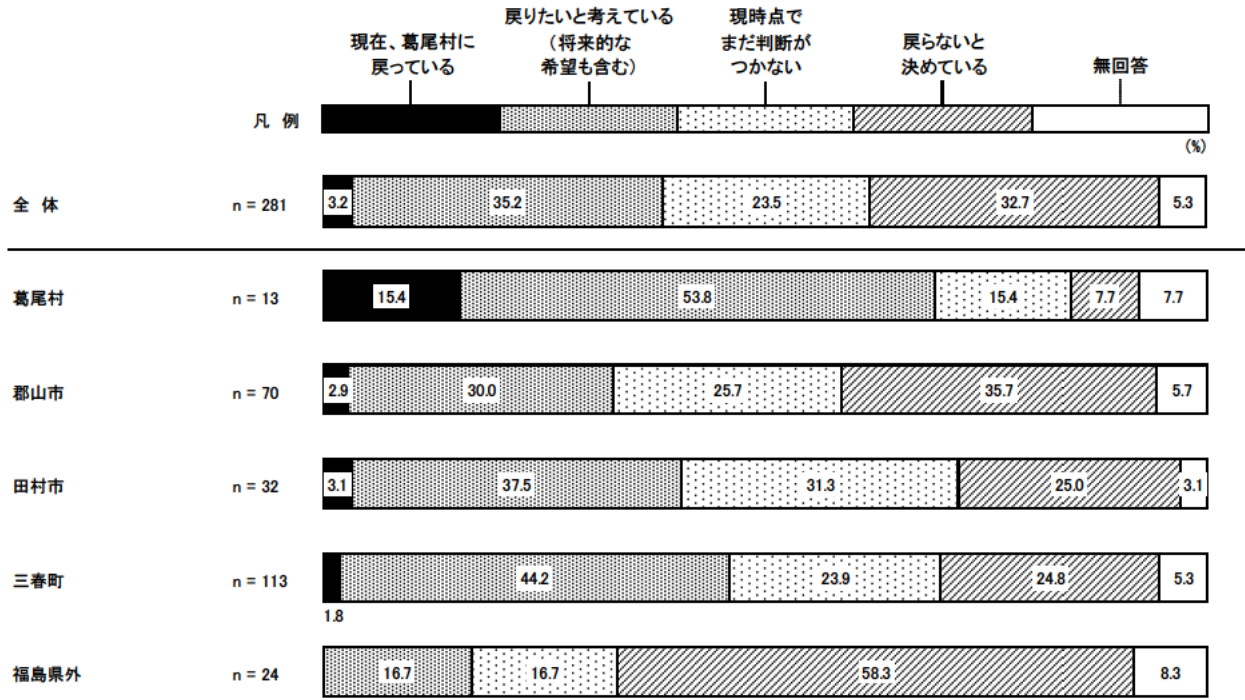


III 調査結果

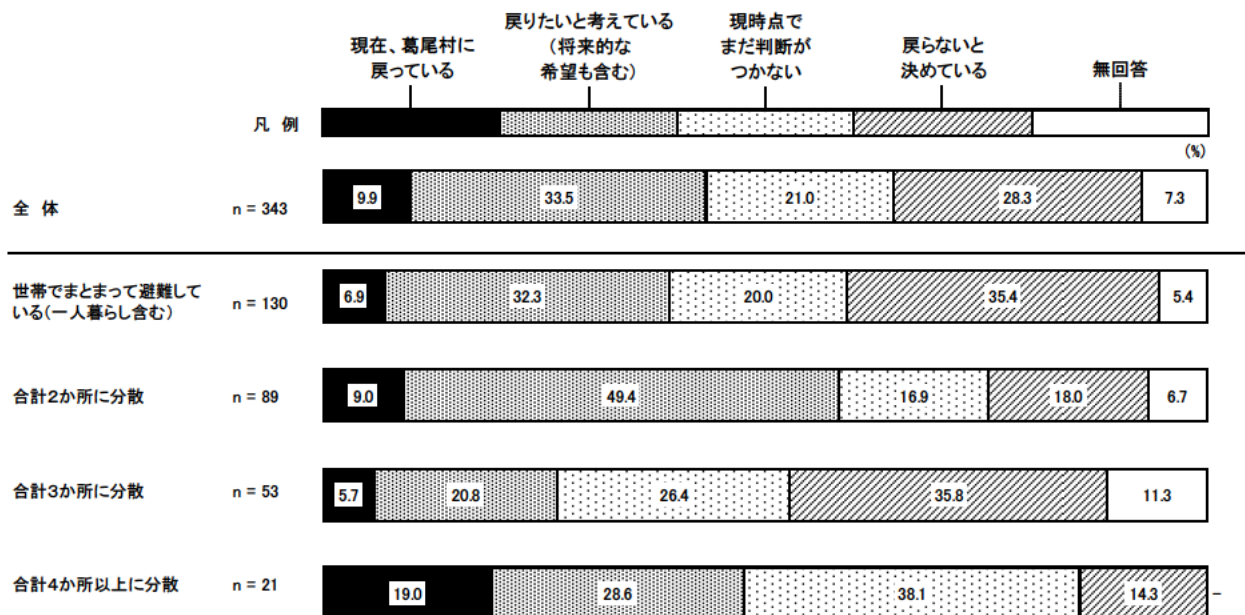
現在の主な居住自治体別にみると、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」は三春町では44.2%となっており、他の主な避難先自治体と比べて高くなっている。一方、「戻らないと決めている」は、郡山市では35.7%となっており、他の主な居住自治体と比べ高くなっている。

世帯の分散状況別にみると、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」は「合計2か所に分散」で49.4%となっており、他の世帯の分散状況と比べて高くなっている。一方、「戻らないと決めている」は、「世帯でまとまって避難している（一人暮らし含む）」（35.4%）、「合計3か所に分散」（35.8%）の回答で3割以上となっており、他の世帯の分散状況と比べて高くなっている。

<図表3-2-1-5 葛尾村への帰還意向（現在の主な居住自治体別）>



<図表3-2-1-6 葛尾村への帰還意向（世帯の分散状況別）>



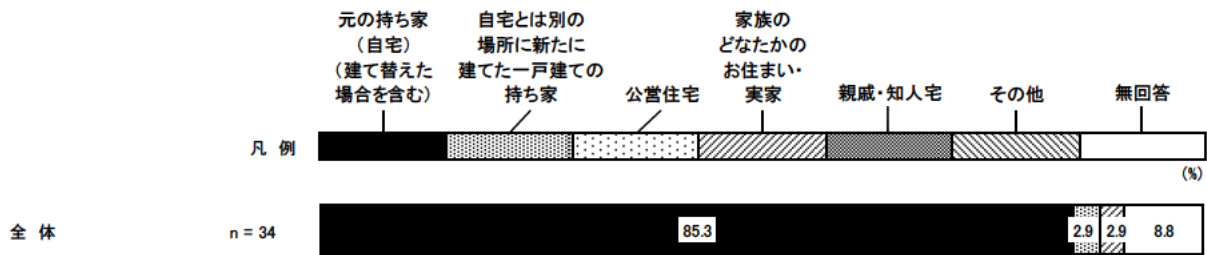
3-2-2 葛尾村内での現在の住居形態

【問 12で「1. 現在、葛尾村に戻っている」と回答した方にうかがいます。】

問 12-4 現在、葛尾村内でお住まいの住宅は、どのような形態ですか。(〇は1つ)

葛尾村内での現在の住居形態については、「元の持ち家（自宅）（建て替えた場合を含む）」が85.3%と最も高くなっている。

<図表3-2-2-1 葛尾村内での現在の住居形態>

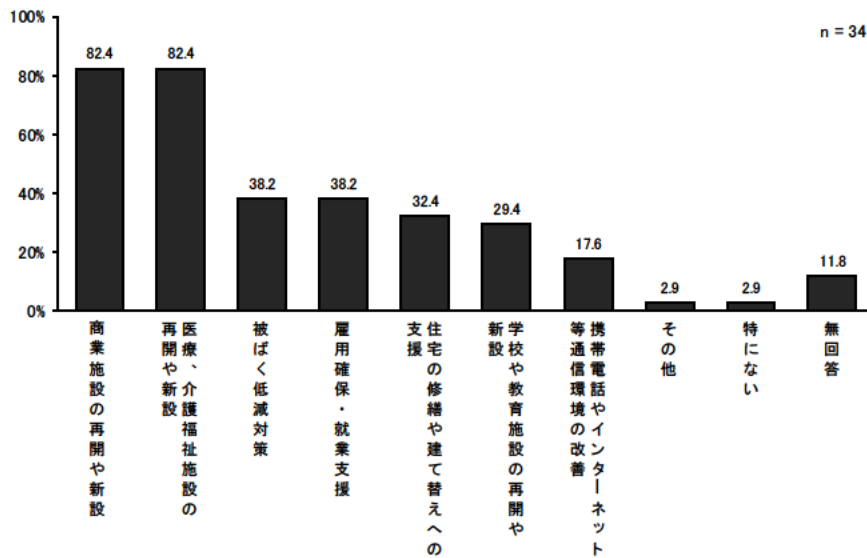


3-2-3 葛尾村内での今後の生活において必要な支援

【問 12で「1. 現在、葛尾村に戻っている」と回答した方にうかがいます。】
 問 12-5 葛尾村での今後の生活において、どのような支援が必要と考えますか。(〇はいくつでも)

葛尾村内での今後の生活において必要な支援については、「商業施設の再開や新設」、「医療、介護福祉施設の再開や新設」がともに 82.4%と最も高く、次いで「被ばく低減対策」、「雇用確保・就業支援」がともに 38.2%、「住宅の修繕や建て替えへの支援」が 32.4%となっている。

<図表3-2-3-1 葛尾村内での今後の生活において必要な支援>



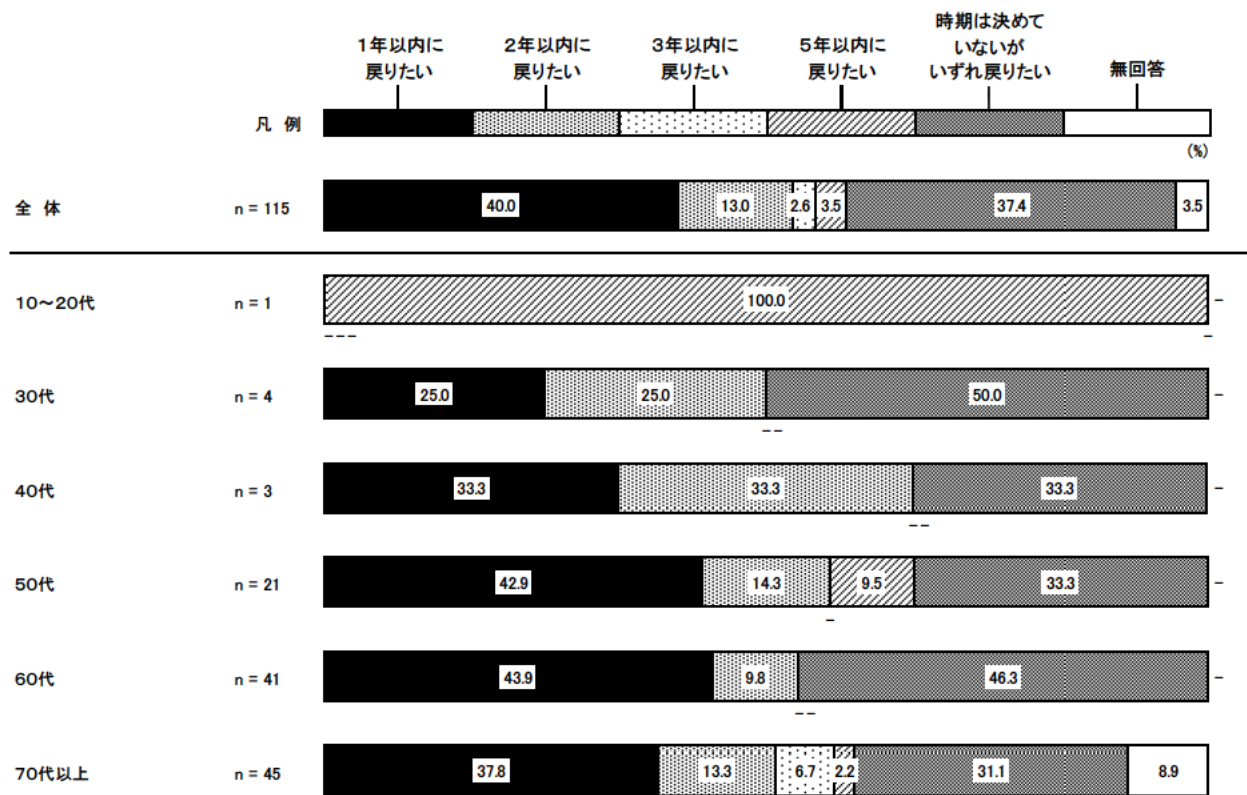
3-2-4 葛尾村への帰還時期

【問 12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。
 問 12-1-1 葛尾村へ戻る時期を教えてください。（〇はひとつ）

葛尾村への帰還時期については、「1年以内に戻りたい」が40.0%と最も高く、次いで「時期は決めていないがいずれ戻りたい」が37.4%、「2年以内に戻りたい」が13.0%となっている。

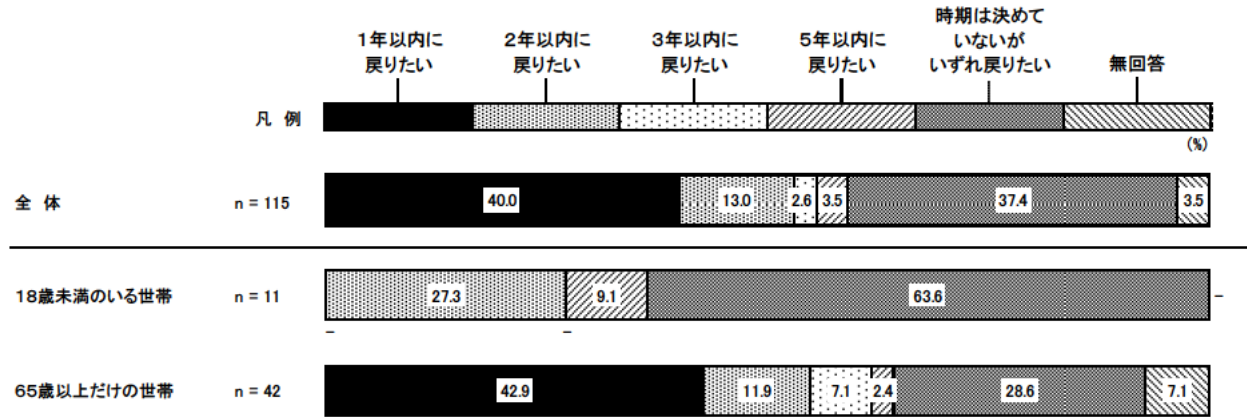
回答者の年齢別にみると、60代では「1年以内に戻りたい」が43.9%、「時期は決めていないがいずれ戻りたい」が46.3%と他の年齢と比べて高くなっている。

<図表3-2-4-1 葛尾村への帰還時期（年齢別）>



世帯構成別にみると、65歳以上だけの世帯では「1年以内に戻りたい」が42.9%、「時期は決めていないがいずれ戻りたい」が28.6%となっている。

<図表3-2-4-2 葛尾村への帰還時期（世帯構成別）>



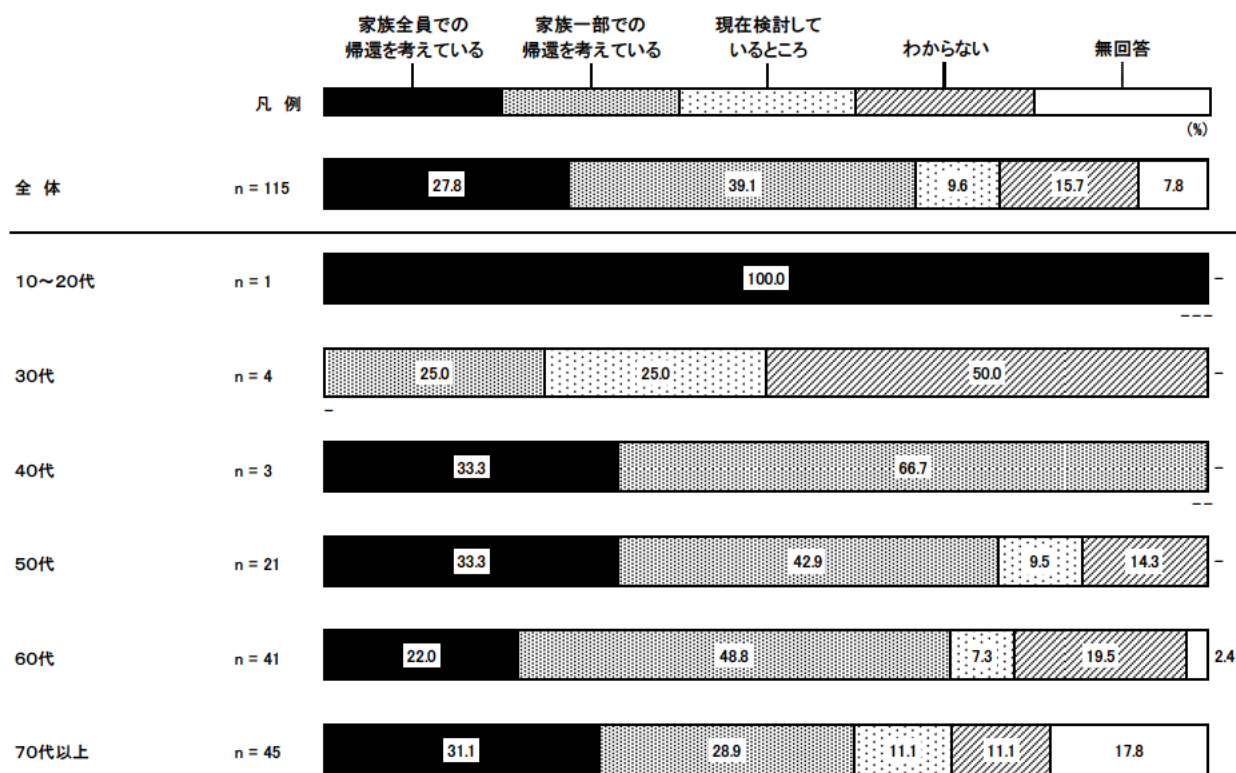
3-2-5 葛尾村へ戻る場合の家族

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。
 問 12-1-2 戻る場合に家族の全員か一部かについて教えてください。（〇はひとつ）

葛尾村へ戻る場合の家族については、「家族一部での帰還を考えている」が 39.1%と最も高く、次いで「家族全員での帰還を考えている」が 27.8%、「現在検討しているところ」と「わからない」が合わせて 25.3%となっている。

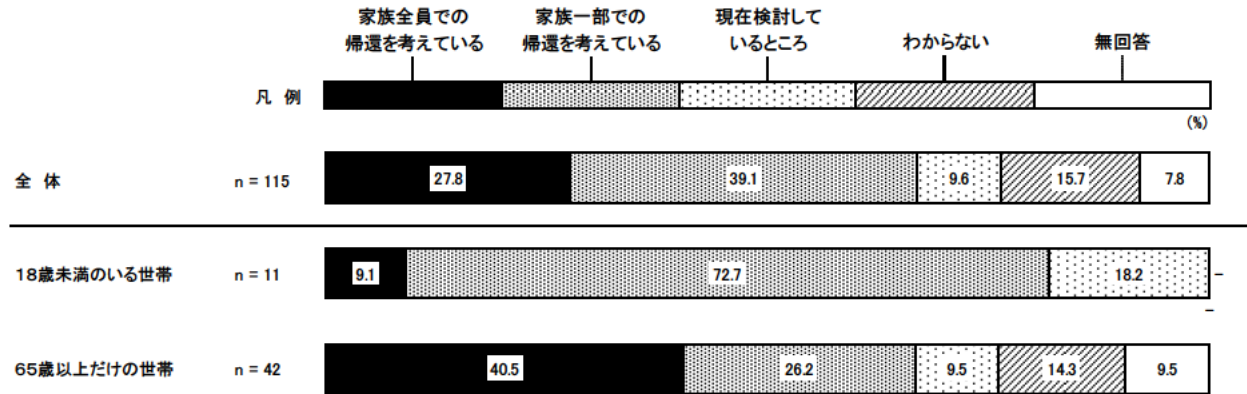
回答者の年齢別にみると、「家族全員での帰還を考えている」は 70 代以上で 31.1%となっている。また「家族一部での帰還を考えている」は 60 代で 48.8%と 5 割程度となっている。

＜図表 3-2-5-1 葛尾村へ戻る場合の家族（年齢別）＞



世帯構成別にみると、65歳以上だけの世帯では「家族全員での帰還を考えている」（40.5%）が全体と比べて高く、「家族一部での帰還を考えている」（26.2%）が全体と比べて低くなっている。

<図表3-2-5-2 葛尾村へ戻る場合の家族（世帯構成別）>



3-2-6 葛尾村へ帰還する場合の住居形態

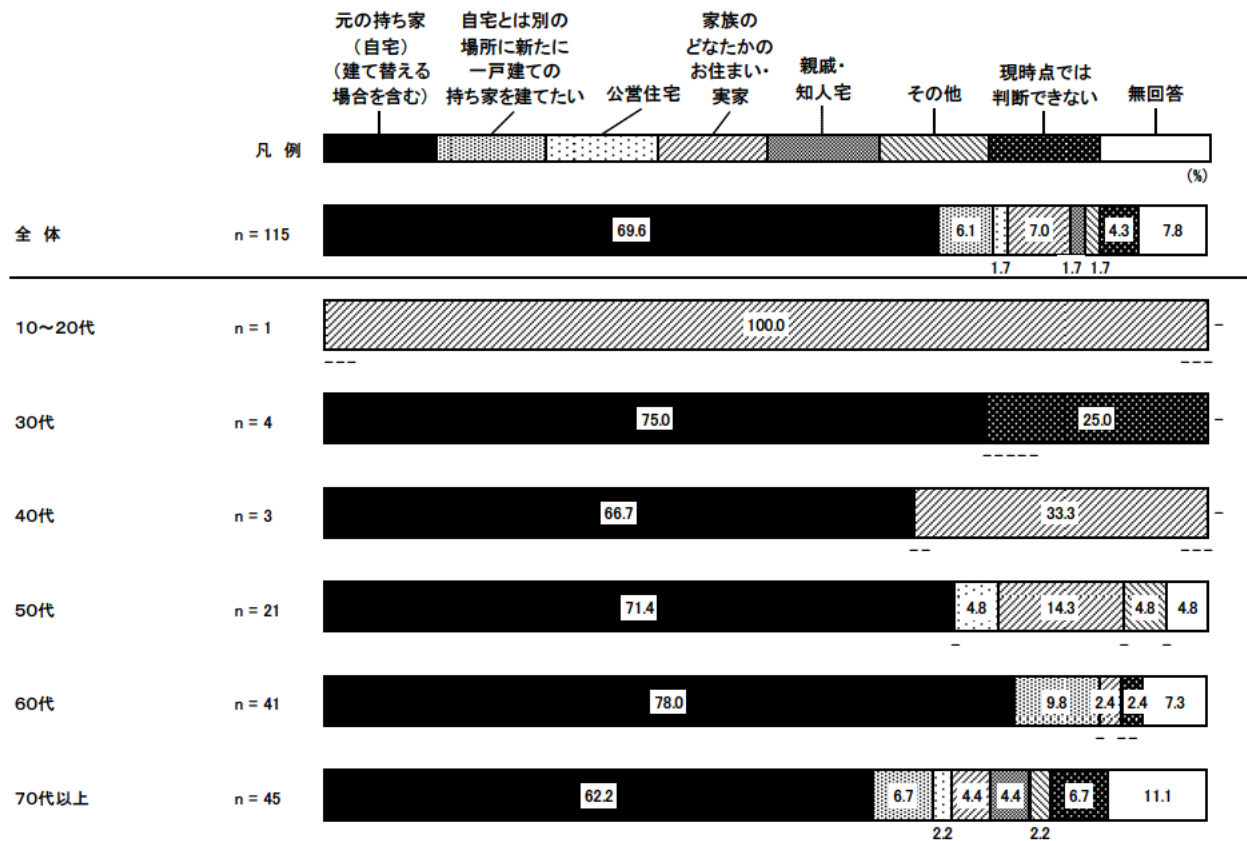
【問 12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

問 12-6 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。（〇は1つ）

葛尾村へ帰還する場合の住居形態については、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が69.6%と最も高く、次いで「家族のどなたかのお住まい・実家」が7.0%、「自宅とは別の場所に新たに一戸建ての持ち家を建てたい」が6.1%となっている。

回答者の年齢別にみると、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」は60代では78.0%と約8割を占めるが、70代以上では62.2%にとどまる。

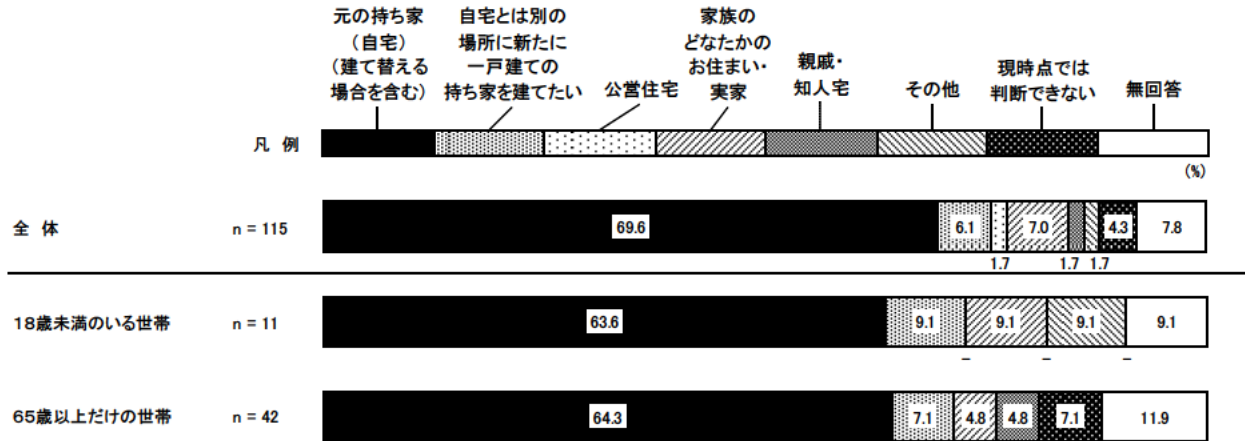
＜図表3-2-6-1 葛尾村へ帰還する場合の住居形態（年齢別）＞



世帯構成別にみると、65歳以上だけの世帯では「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が64.3%となっている。

震災発生当時の住まいの行政区別にみると、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」は大笹以外の行政区では最も高くなっている。

<図表3-2-6-2 葛尾村へ帰還する場合の住居形態（世帯構成別）>



<図表3-2-6-3 葛尾村へ帰還する場合の住居形態（震災発生当時の住まいの行政区別）>

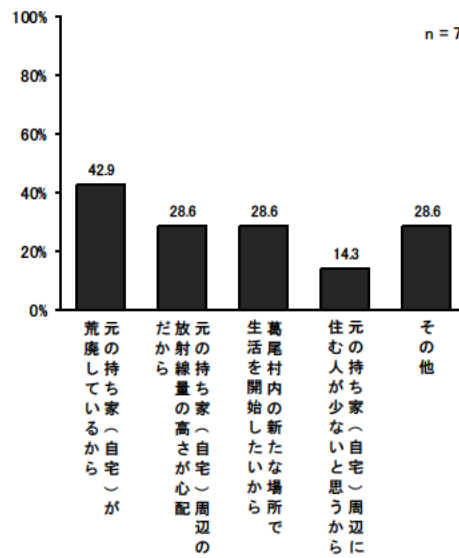
	n	元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）	自宅とは別の場所に新たに戸建ての持ち家を建てたい	公営住宅	家族のどなたかのお住まい・実家	親戚・知人宅	その他	現時点では判断できない	無回答
全体	115	69.6	6.1	1.7	7.0	1.7	1.7	4.3	7.8
上野川	23	73.9	4.3	-	-	8.7	-	4.3	8.7
野川	22	90.9	-	-	4.5	-	-	-	4.5
上葛尾	9	44.4	11.1	11.1	11.1	-	11.1	-	11.1
下葛尾	18	72.2	5.6	-	11.1	-	-	5.6	5.6
落合	19	57.9	5.3	-	21.1	-	5.3	-	10.5
夏湯	3	100.0	-	-	-	-	-	-	-
大放	7	42.9	-	14.3	-	-	-	28.6	14.3
大笹	6	33.3	50.0	-	-	-	-	16.7	-
岩角	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-
広谷地	4	75.0	-	-	-	-	-	-	25.0

3-2-7 葛尾村へ帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由

【問 12-6 で「2. 自宅とは別の場所に新たに一戸建ての持ち家を建てたい」と回答した方にかがいます。】
 問 12-7 元の持ち家以外を希望される理由は、何ですか。(〇はいくつでも)

葛尾村へ帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由については、「元の持ち家（自宅）が荒廃しているから」が42.9%と最も高くなっている。

<図表3-2-7-1 葛尾村へ帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由>



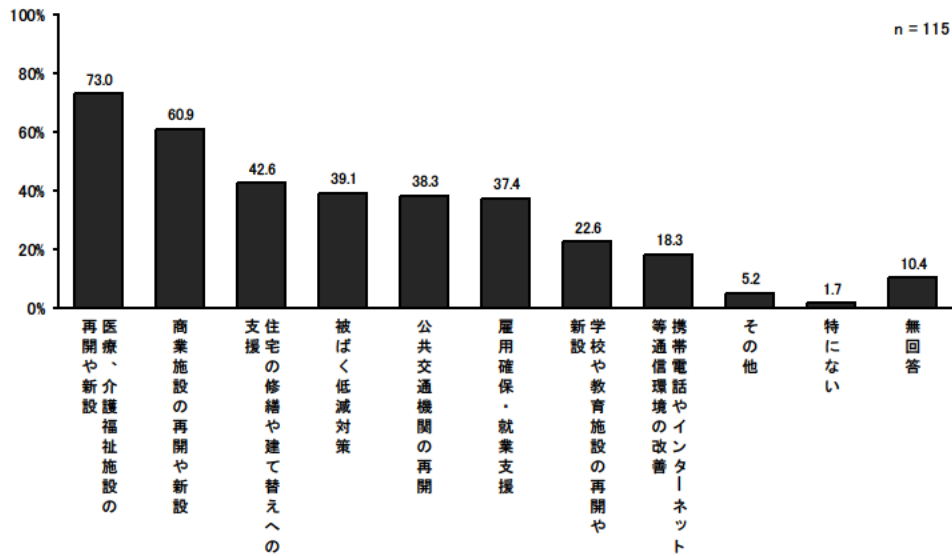
3-2-8 葛尾村へ帰還する場合に今後の生活において必要な支援

【問 12で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

問 12-8 葛尾村に戻る場合に、今後の生活においてどのような支援が必要と考えますか。（〇はいくつでも）

葛尾村へ帰還する場合に今後の生活において必要な支援については、「医療、介護福祉施設の再開や新設」が73.0%と最も高く、次いで「商業施設の再開や新設」が60.9%、「住宅の修繕や建て替えへの支援」が42.6%となっている。

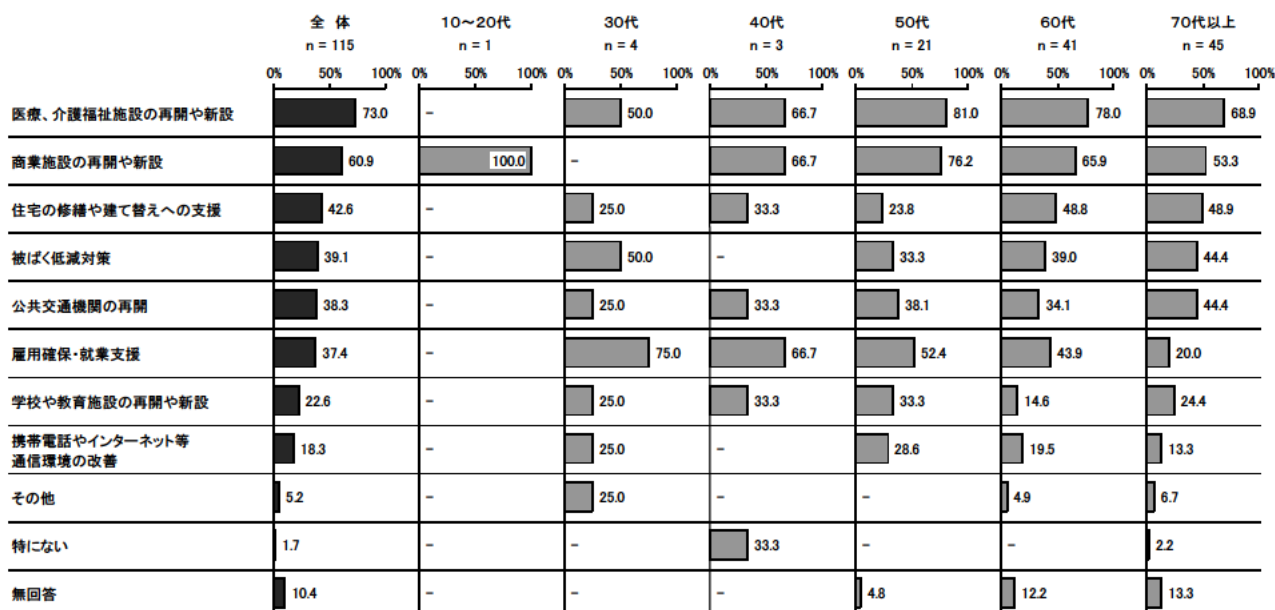
<図表3-2-8-1 葛尾村へ帰還する場合に今後の生活において必要な支援>



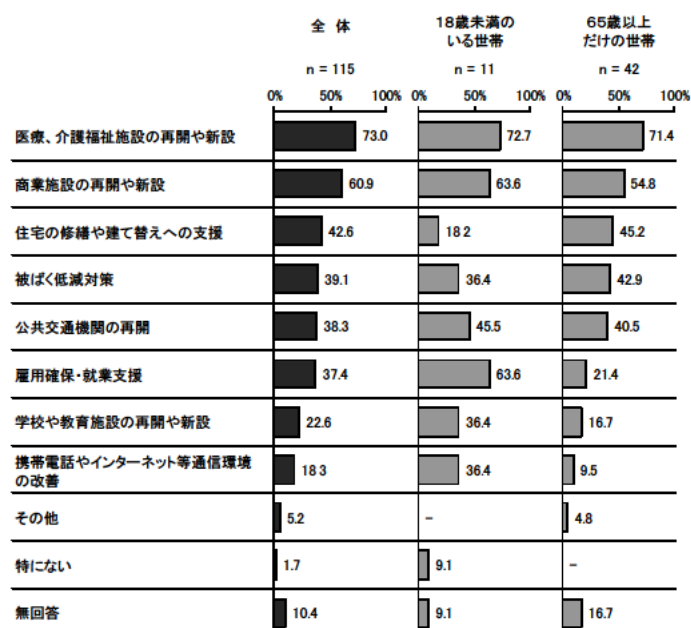
回答者の年齢別にみると、60代では「医療・介護福祉施設の再開や新設」が78.0%と最も高く、次いで「商業施設の再開や新設」が65.9%、「住宅の修繕や建て替えへの支援」が48.8%となっている。70代以上では「医療・介護福祉施設の再開や新設」が68.9%と最も高く、次いで「商業施設の再開や新設」が53.3%、「住宅の修繕や建て替えへの支援」が48.9%となっている。

世帯構成別にみると、65歳以上だけの世帯では「医療・介護福祉施設の再開や新設」が71.4%と最も高くなっている。

＜図表3-2-8-2 葛尾村へ帰還する場合に今後の生活において必要な支援（年齢別）＞



＜図表3-2-8-3 葛尾村へ帰還する場合に今後の生活において必要な支援（世帯構成別）＞



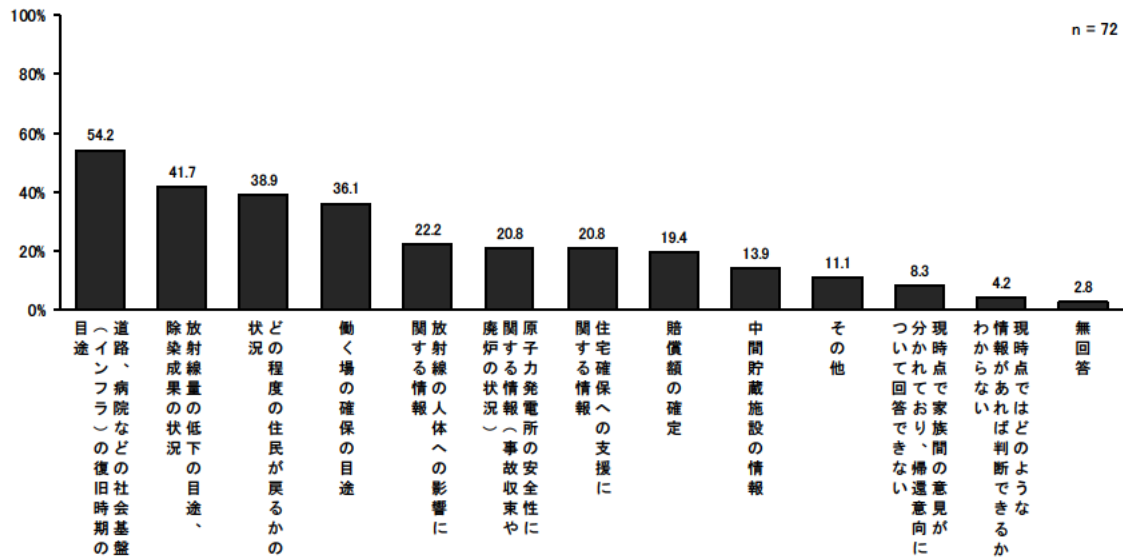
3-2-9 葛尾村への帰還を判断する上で必要と思う情報

【問12で「3. 現時点でまだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

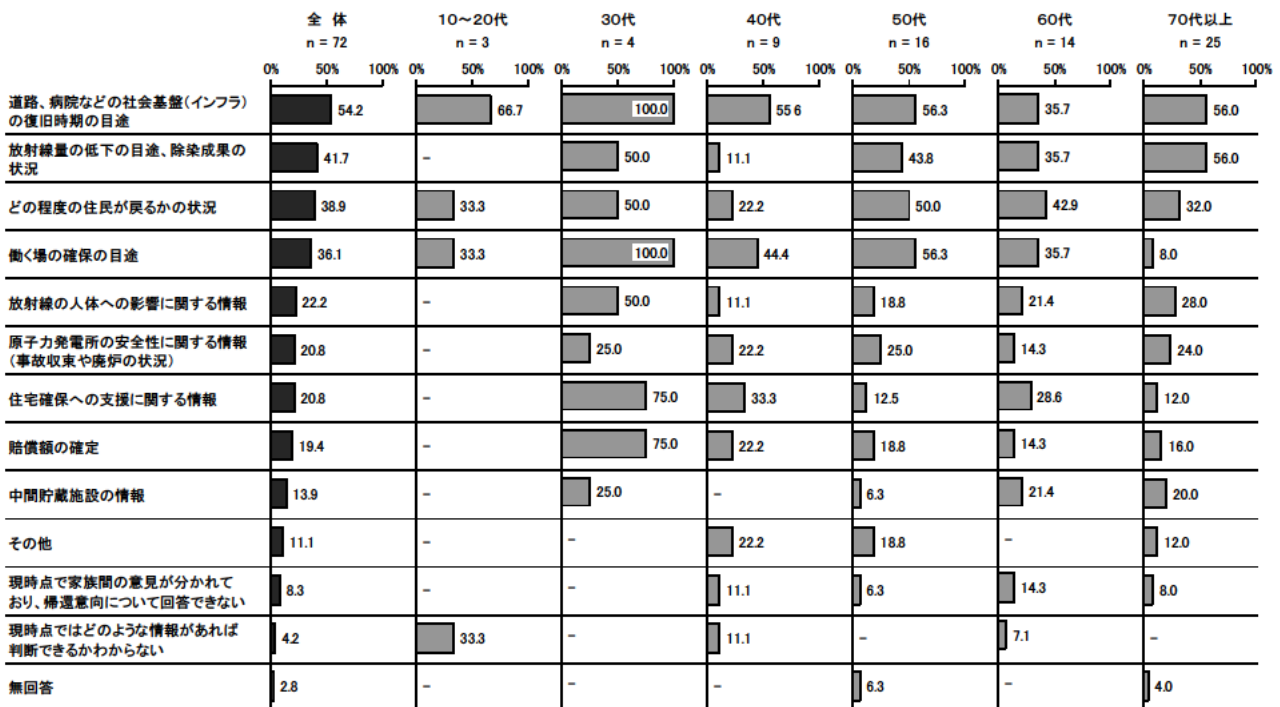
問12-2 葛尾村へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。(〇はいくつでも)

葛尾村への帰還を判断する上で必要と思う情報については、「道路、病院などの社会基盤（インフラ）の復旧時期の目途」が54.2%と最も高く、次いで「放射線量の低下の目途、除染成果の状況」が41.7%、「どの程度の住民が戻るかの状況」が38.9%となっている。

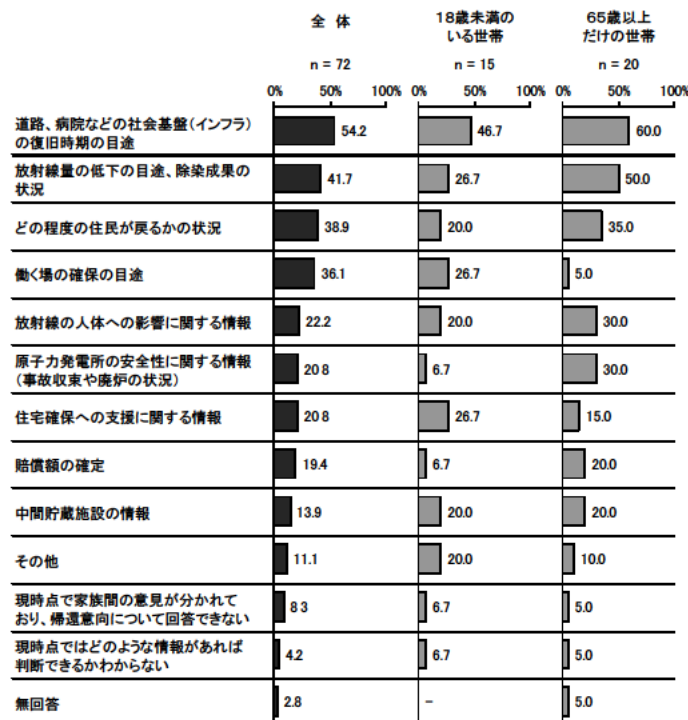
<図表3-2-9-1 葛尾村への帰還を判断する上で必要と思う情報>



<図表3-2-9-2 葛尾村への帰還を判断する上で必要と思う情報（年齢別）>



<図表3-2-9-3 葛尾村への帰還を判断する上で必要と思う情報（世帯構成別）>



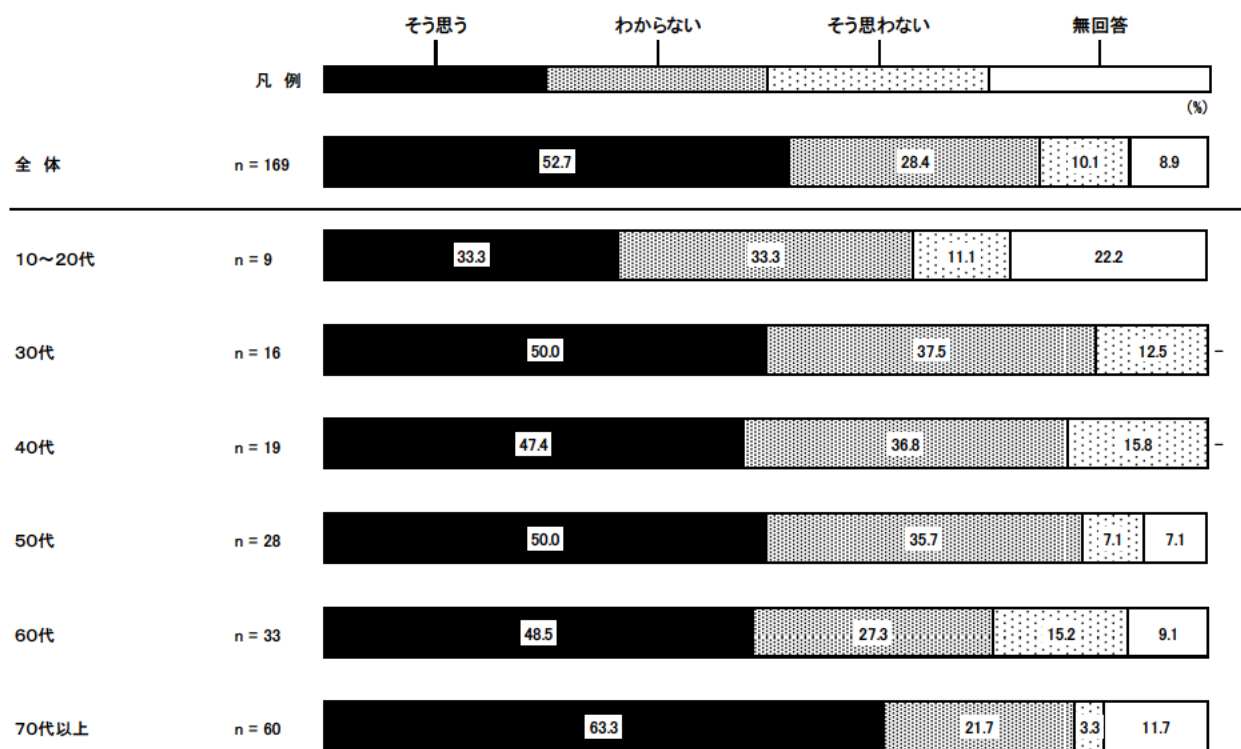
3-2-10 葛尾村との“つながり”を保ちたいか

【問12で「3. 現時点でまだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問12-3 葛尾村との“つながり”を保ちたいと思いますか。(〇は1つ)

葛尾村との“つながり”を保ちたいかについては、「そう思う」が52.7%と最も高く、次いで「わからない」が28.4%、「そう思わない」が10.1%となっている。

回答者の年齢別にみると、「そう思う」は70代以上で63.3%と最も高くなっている。一方、「そう思わない」は60代で15.2%と、他の年齢と比べて高くなっている。

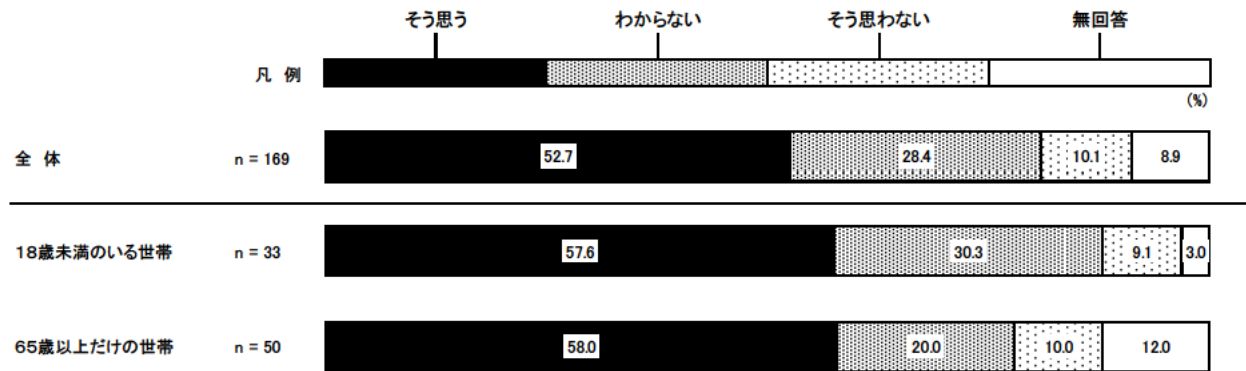
<図表3-2-10-1 葛尾村との“つながり”を保ちたいか(年齢別)>



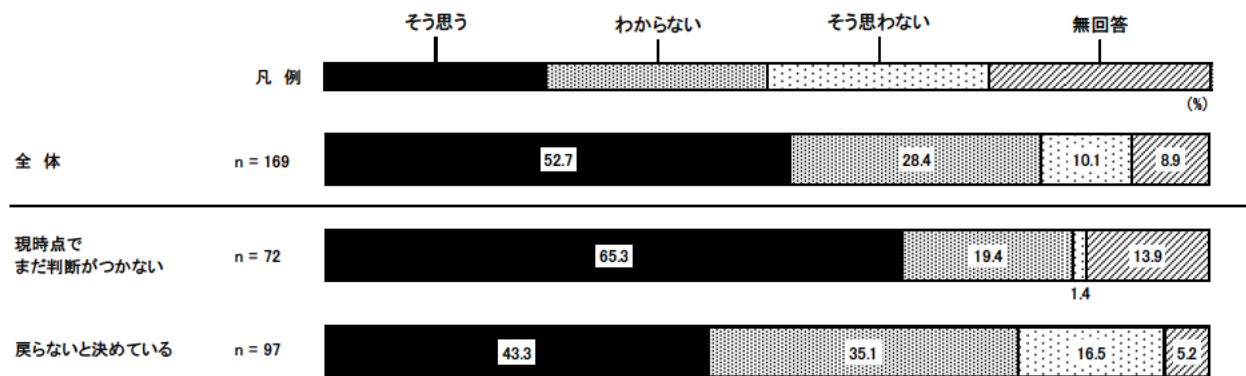
世帯構成別にみると、「そう思う」はいずれの世帯構成でも約6割を占めている。

葛尾村への帰還意向別にみると、「そう思う」は現時点でまだ判断がつかないの回答で65.3%であるのに対し、戻らないと決めているの回答では43.3%にとどまる。

<図表3-2-10-2 葛尾村との“つながり”を保ちたいか（世帯構成別）>



<図表3-2-10-3 葛尾村との“つながり”を保ちたいか（葛尾村への帰還意向別）>



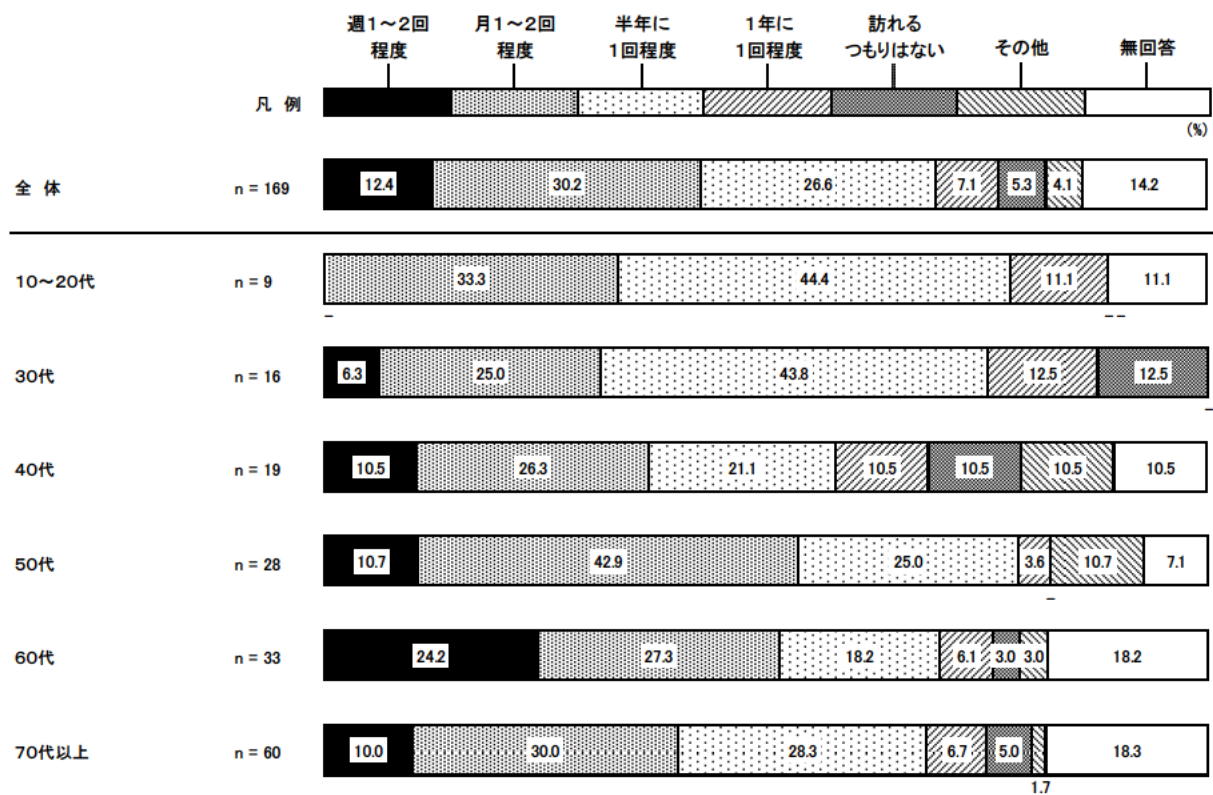
3-2-11 葛尾村を訪れたい頻度

【問 12 で「3. 現時点でまだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問 12-9 どれくらいの頻度で村を訪れることをお考えですか。(〇は一つ)

葛尾村を訪れたい頻度については、「月 1～2 回程度」が 30.2%と最も割合が高く、次いで「半年に 1 回程度」が 26.6%、「週 1～2 回程度」が 12.4%、「1 年に 1 回程度」が 7.1%で、1 年に 1 回以上訪れたいとする回答は 76.3%となっている。

回答者の年齢別にみると、60 代では「週 1～2 回程度」が 24.2%と他の年齢と比べて高くなっている。1 年に 1 回以上訪れたいとする回答は、60 代で 75.8%、70 代以上で 75.0%と 7 割以上を占めている。

＜図表 3-2-11-1 葛尾村を訪れたい頻度（年齢別）＞



3-2-12 葛尾村を定期的に訪れる理由

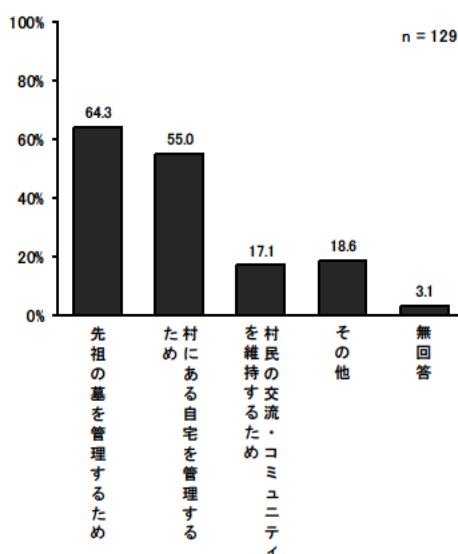
【問 12-9 で「1」から「4」と回答した方にかがいます。】

問 12-10 定期的に村を訪れる理由は何ですか。(〇はいくつでも)

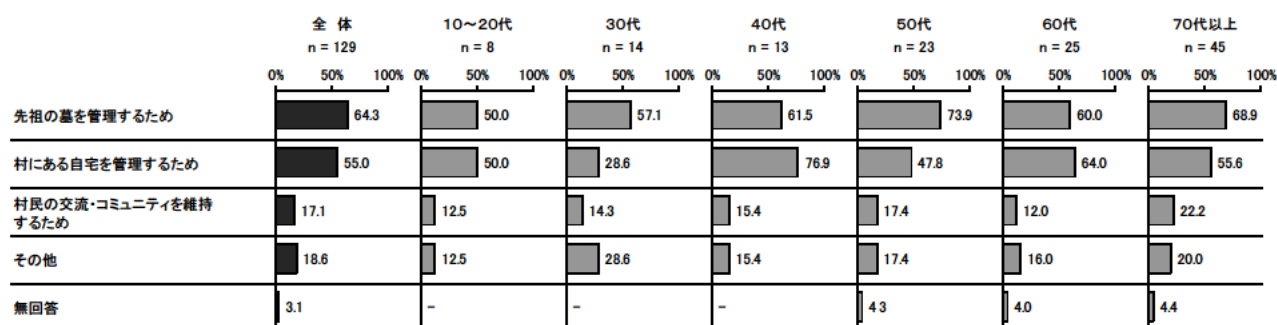
葛尾村を定期的に訪れる理由については、「先祖の墓を管理するため」が64.3%と最も高く、次いで「村にある自宅を管理するため」が55.0%、「村民の交流・コミュニティを維持するため」が17.1%となっている。

回答者の年齢別にみると、70代以上では「先祖の墓を管理するため」が68.9%と最も高くなっている。

<図表3-2-12-1 葛尾村を定期的に訪れる理由>

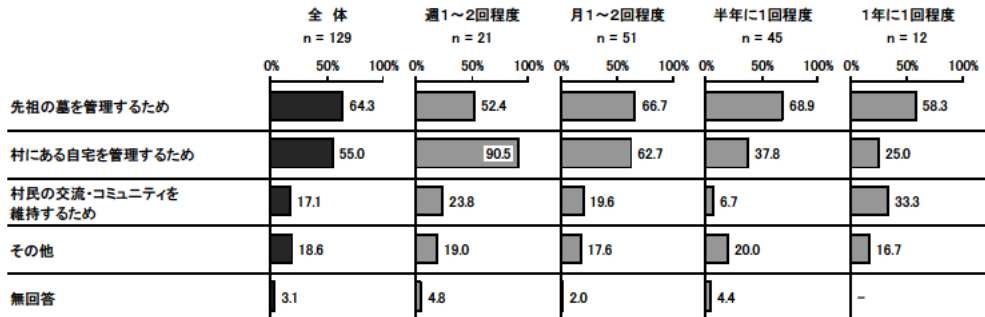


<図表3-2-12-2 葛尾村を定期的に訪れる理由（年齢別）>



葛尾村を定期的に訪れたい頻度別にみると、「先祖の墓を管理するため」は、「半年に1回程度」で68.9%、「月1～2回程度」で66.7%と最も高くなっている。

<図表3-2-12-3 葛尾村を定期的に訪れる理由（葛尾村を訪れたい頻度別）>



3-2-13 現時点で戻らないと決めている理由

【問 12 で「3. 現時点でまだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 12-11 現時点でまだ判断がつかない、戻らないと決めている理由はどのようなことですか。

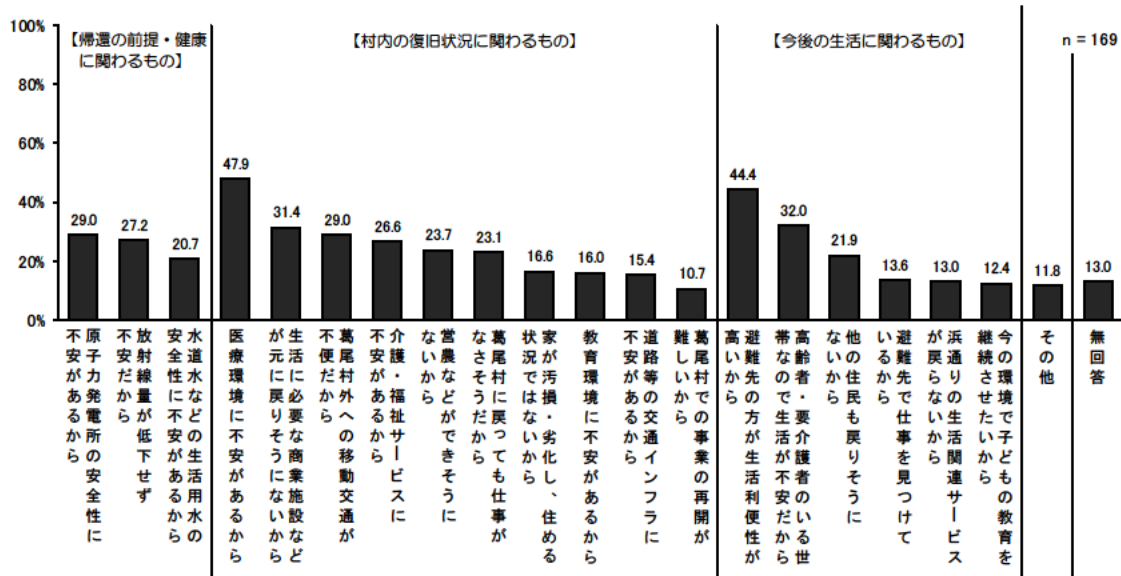
(〇はいくつでも)

現時点で戻らないと決めている理由で【帰還の前提・健康に関わるもの】については、「原子力発電所の安全性に不安があるから」が 29.0%と最も高く、次いで「放射線量が低下せず不安だから」が 27.2%、「水道水などの生活用水の安全性に不安があるから」が 20.7%となっている。

【村内の復旧状況に関わるもの】については、「医療環境に不安があるから」が 47.9%と最も高く、次いで「生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから」が 31.4%、「葛尾村外への移動交通が不便だから」が 29.0%となっている。

【今後の生活に関わるもの】については、「避難先の方が生活利便性が高いから」が 44.4%と最も高く、次いで「高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから」が 32.0%、「他の住民も戻りそうにないから」が 21.9%となっている。

<図表 3-2-13-1 現時点で戻らないと決めている理由>



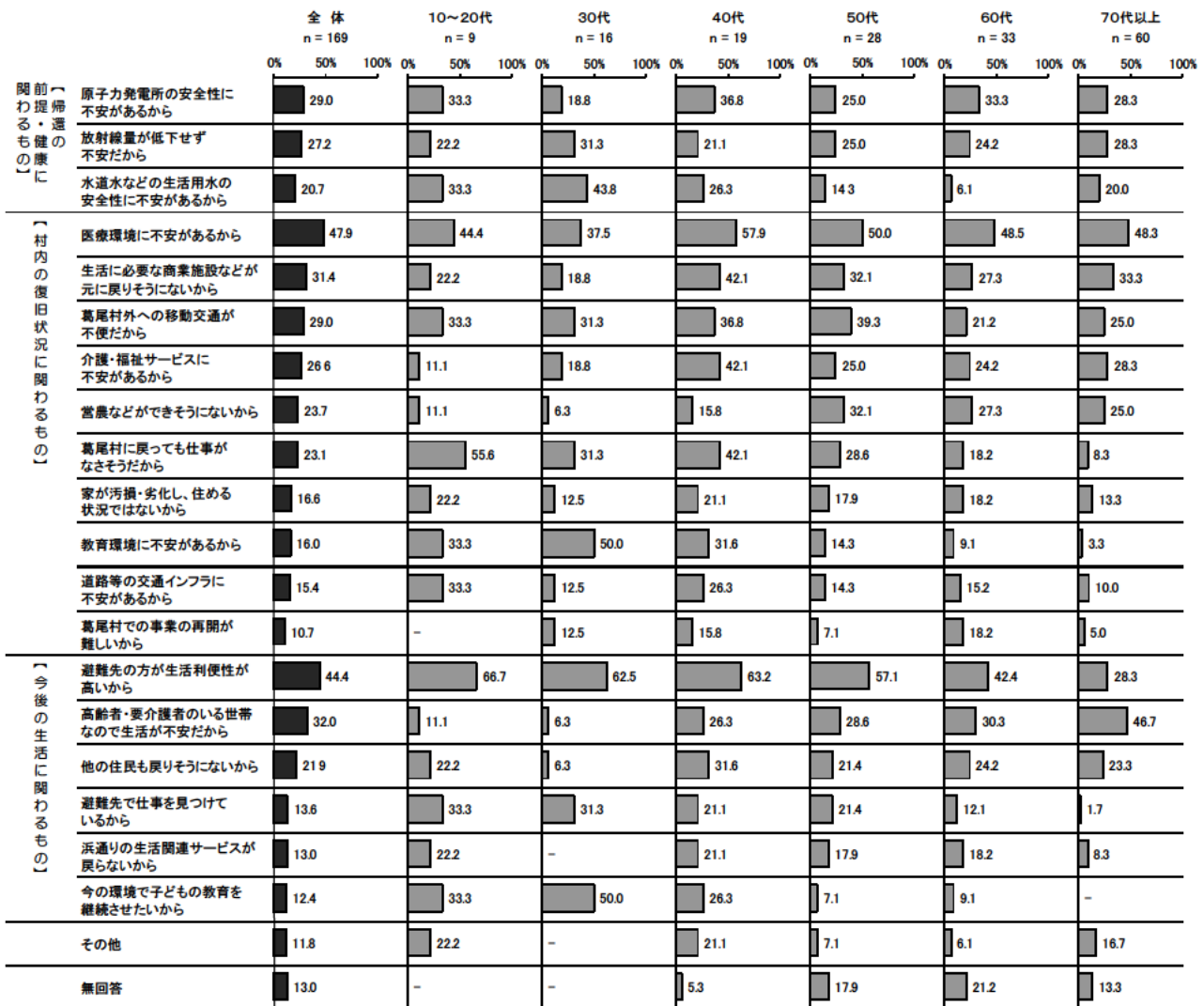
III 調査結果

回答者の年齢別にみると、【帰還の前提・健康に関わるもの】については、60代では「原子力発電所の安全性に不安があるから」が33.3%、70代以上では「原子力発電所の安全性に不安があるから」「放射線量が低下せず不安だから」がともに28.3%と最も高くなっている。

【村内の復旧状況に関わるもの】については、60代では「医療環境に不安があるから」が48.5%と最も高くなっている。70代以上では「医療環境に不安があるから」が48.3%と最も高くなっている。

【今後の生活に関わるもの】については、60代では「避難先の方が生活利便性が高いから」が42.4%と最も高くなっている。70代以上では「高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから」が46.7%と最も高くなっている。

＜図表3-2-13-2 現時点で戻らないと決めている理由（年齢別）＞

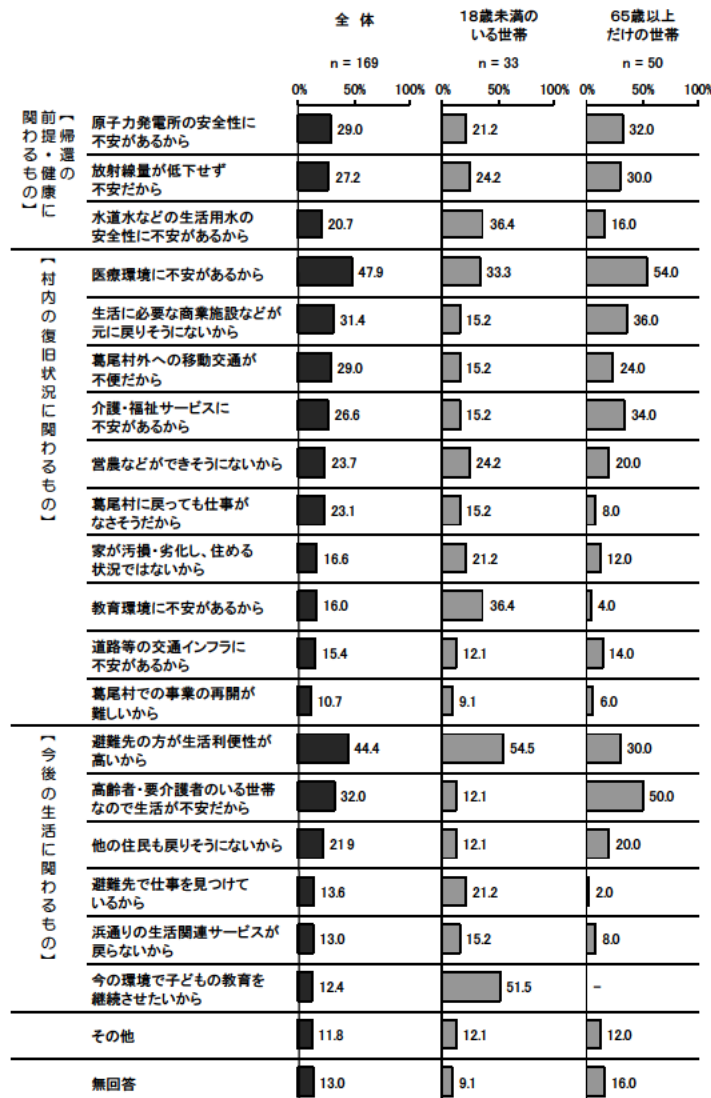


世帯構成別にみると、【帰還の前提・健康に関わるもの】については、18歳未満のいる世帯では「水道水などの生活用水の安全性に不安があるから」が36.4%となっており、65歳以上だけの世帯と比べて高くなっている。65歳以上だけの世帯では「原子力発電所の安全性に不安があるから」が32.0%となっており、18歳未満のいる世帯に比べて高くなっている。

【村内の復旧状況に関わるもの】については、18歳未満のいる世帯では「教育環境に不安があるから」が36.4%となっており、65歳以上だけの世帯と比べて高くなっている。65歳以上だけの世帯では、「医療環境に不安があるから」が54.0%となっており、18歳未満のいる世帯に比べて高くなっている。

【今後の生活に関わるもの】については、18歳未満のいる世帯では「避難先の方が生活利便性が高いから」が54.5%、「今の環境で子どもの教育を継続させたいから」が51.5%となっており、65歳以上だけの世帯と比べて高くなっている。65歳以上だけの世帯では「高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから」が50.0%となっており、18歳未満のいる世帯に比べて高くなっている。

<図表3-2-13-3 現時点で戻らないと決めている理由（世帯構成別）>



3-2-14 帰還しない場合に居住したい自治体

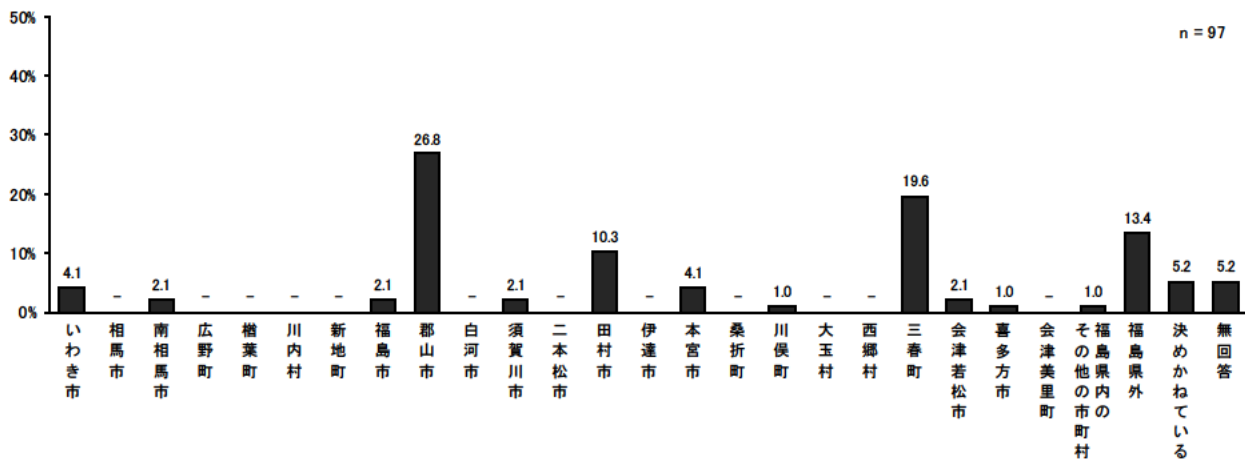
【問 12 で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 12-12 帰還しない場合に、今後、居住を希望する（既に居住している場合を含む）自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。（○は1つ）

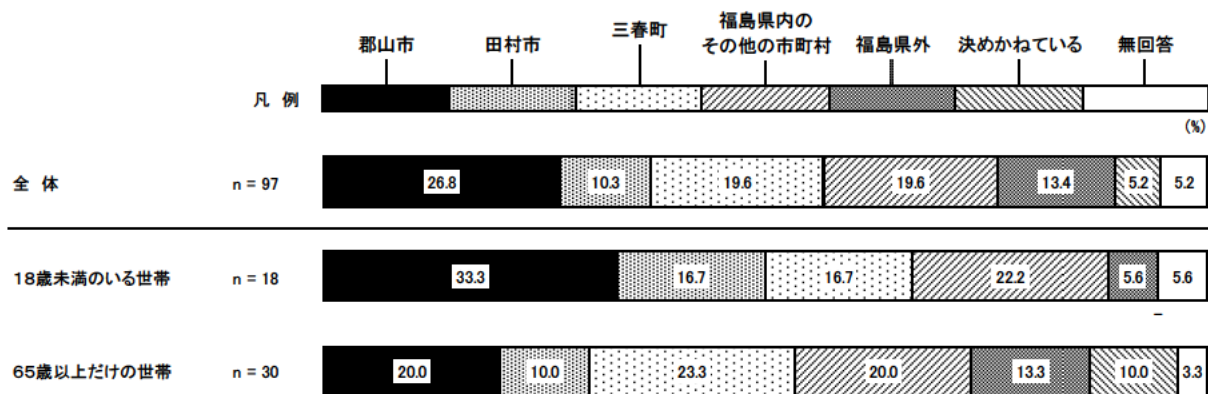
帰還しない場合に居住したい自治体については、「郡山市」が26.8%と最も高く、次いで「三春町」が19.6%、「田村市」が10.3%となっている。

世帯構成別に見ると、65歳以上だけの世帯では「三春町」が23.3%と最も高く、次いで「郡山市」が20.0%となっている。

<図表3-2-14-1 帰還しない場合に居住したい自治体>

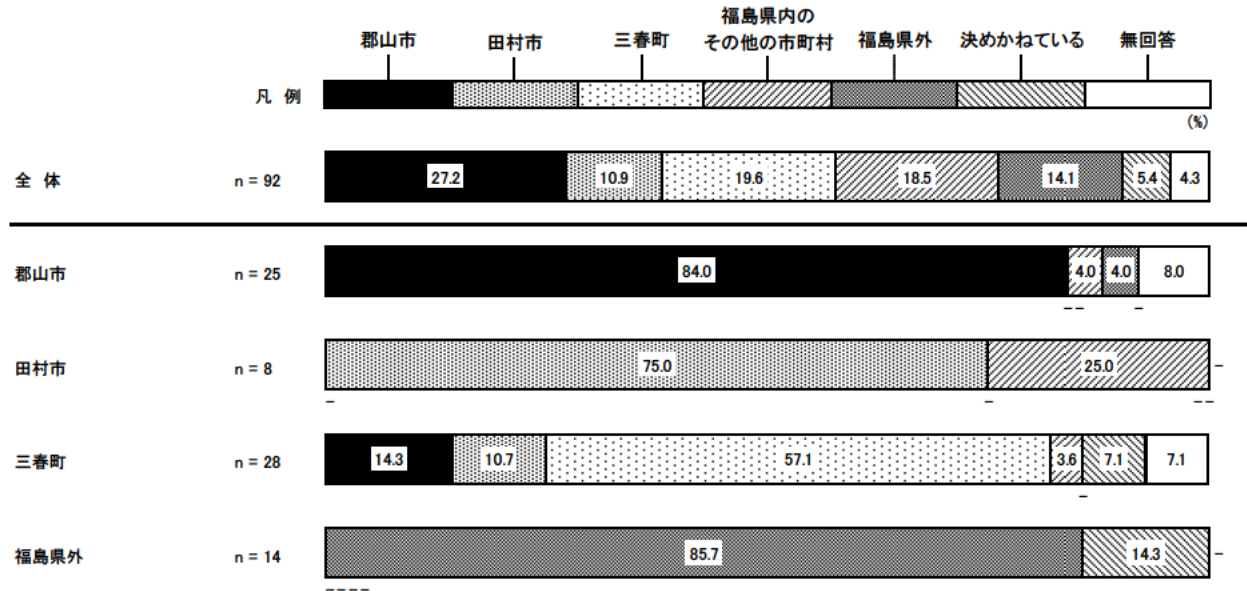


<図表3-2-14-2 帰還しない場合に居住したい主な自治体（世帯構成別）>



現在の主な居住自治体別にみると、いずれの自治体においても、現在と同じ自治体での居住を希望する割合が高くなっている。

<図表3-2-14-3 帰還しない場合に居住したい主な自治体（現在の主な居住自治体別）>



3-2-15 帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態

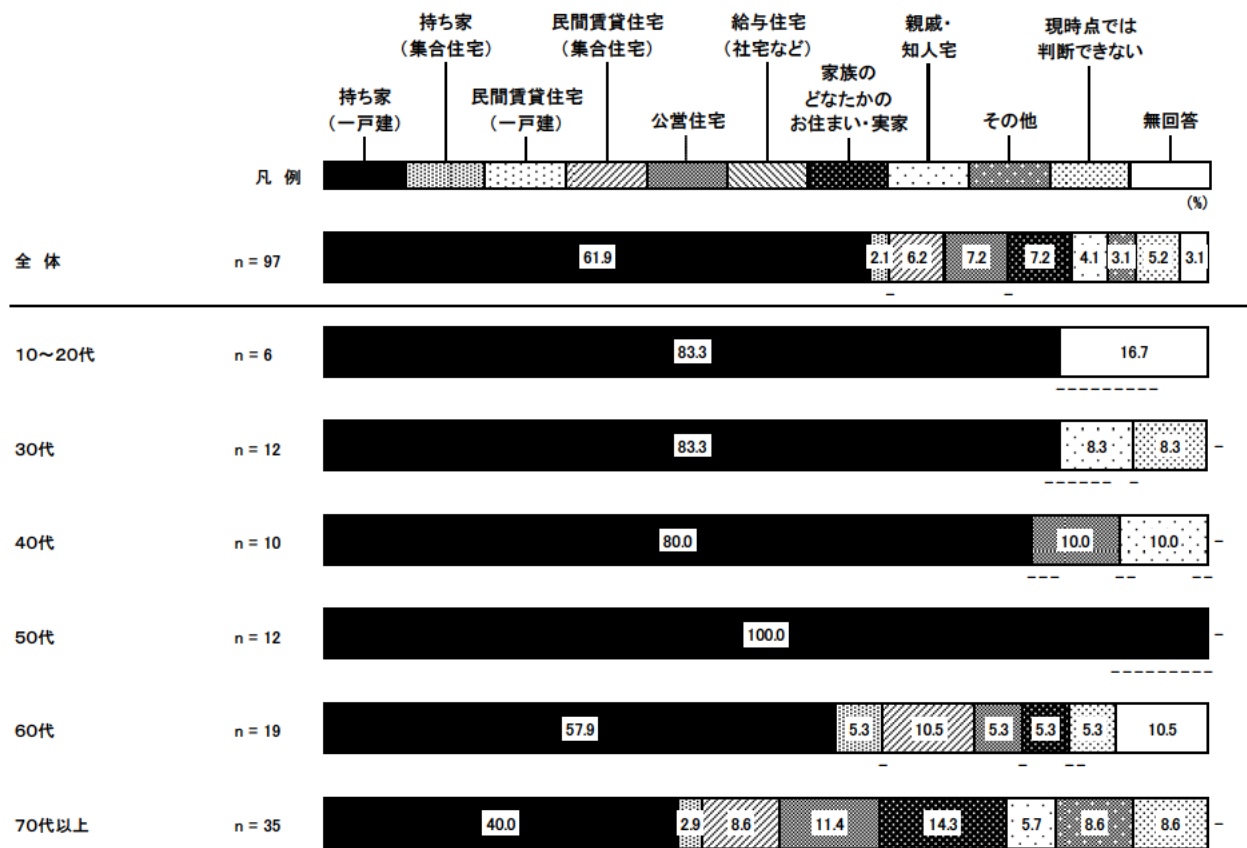
【問 12 で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 12-13 帰還しない場合に、今後のお住まいとして希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。（〇は1つ）

帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態については、「持ち家（一戸建）」が61.9%と最も高く、「持ち家（集合住宅）」（2.1%）を合わせた＜持ち家＞は64.0%となっている。

回答者の年齢別にみると、70代以上では、＜持ち家＞意向は42.9%と他の年齢に比べて低く、「民間賃貸住宅（集合住宅）」（8.6%）、「公営住宅」（11.4%）、「家族のどなたかのお住まい・実家」（14.3%）は、いずれも1割前後となっている。

＜図表3-2-15-1 帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態（年齢別）＞



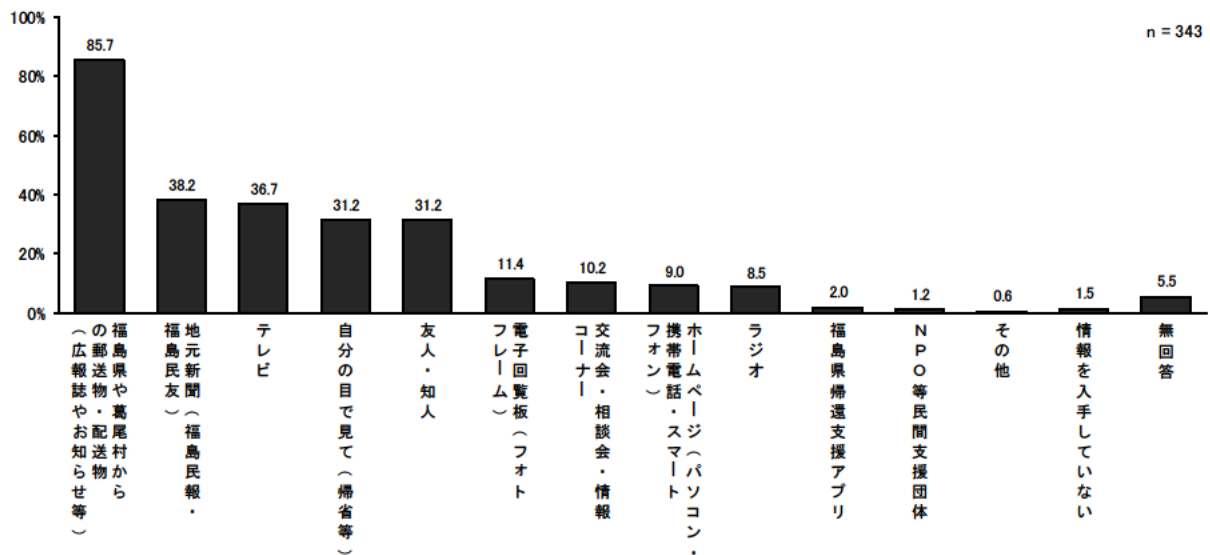
3-3 情報提供

3-3-1 葛尾村からの情報の入手経路

問 13 葛尾村の情報は、現在どのような方法で入手されていますか。(〇はいくつでも)

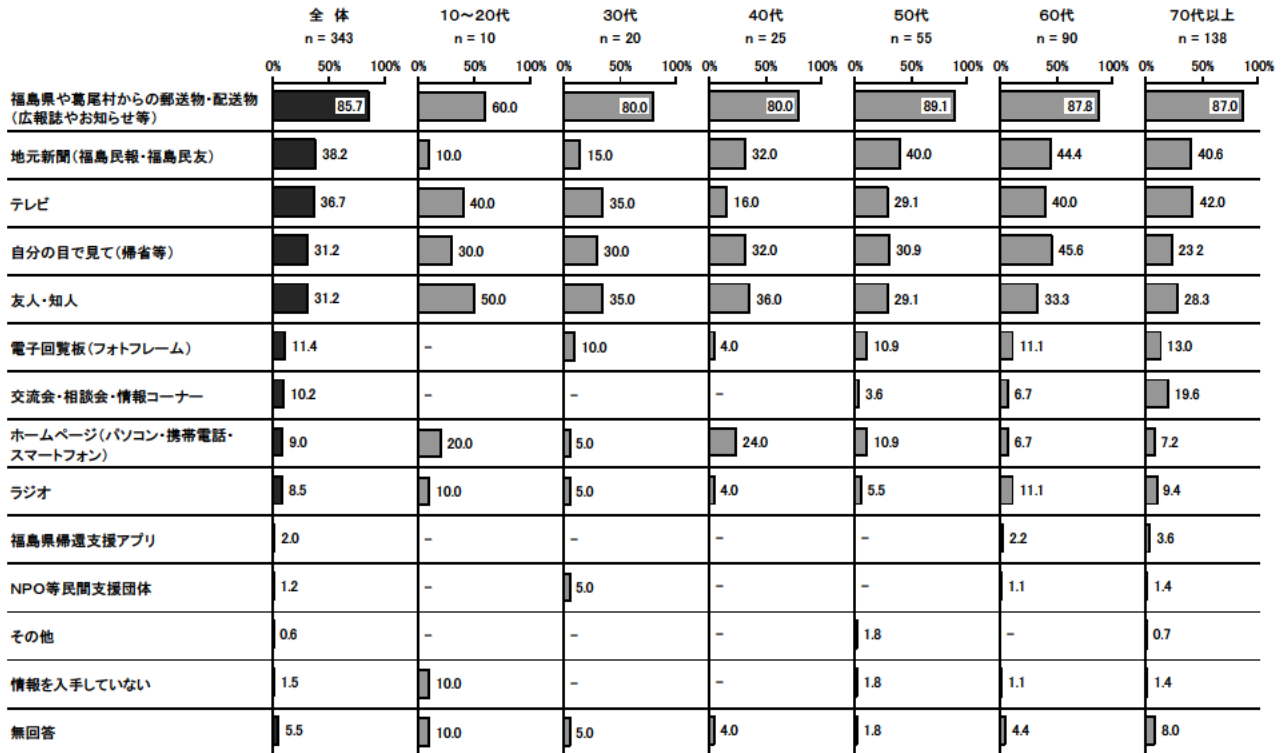
葛尾村からの情報の入手経路については、「福島県や葛尾村からの郵送物・配送物（広報誌やお知らせ等）」が85.7%と最も高く、次いで「地元新聞（福島民報・福島民友）」が38.2%、「テレビ」が36.7%となっている。

<図表3-3-1-1 葛尾村からの情報の入手経路>



回答者の年齢別にみると、「福島県や葛尾村からの郵送物・配送物（広報誌やお知らせ等）」は50代以上では9割弱となっている。「地元新聞（福島民報・福島民友）」は50代以上では4割以上となっている。「テレビ」は60代以上で4割以上となっているが、30代～50代では4割以下となっている。

<図表3-3-1-2 葛尾村からの情報の入手経路（年齢別）>

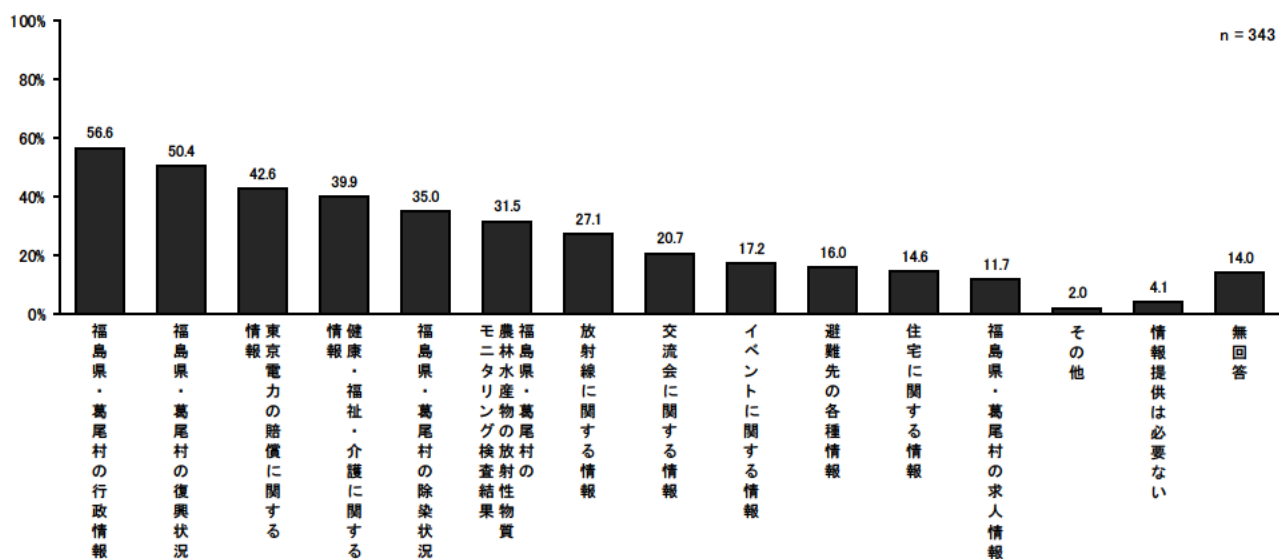


3-3-2 行政機関等からほしい情報

問 14 行政機関等からの情報提供について、どのような情報がほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

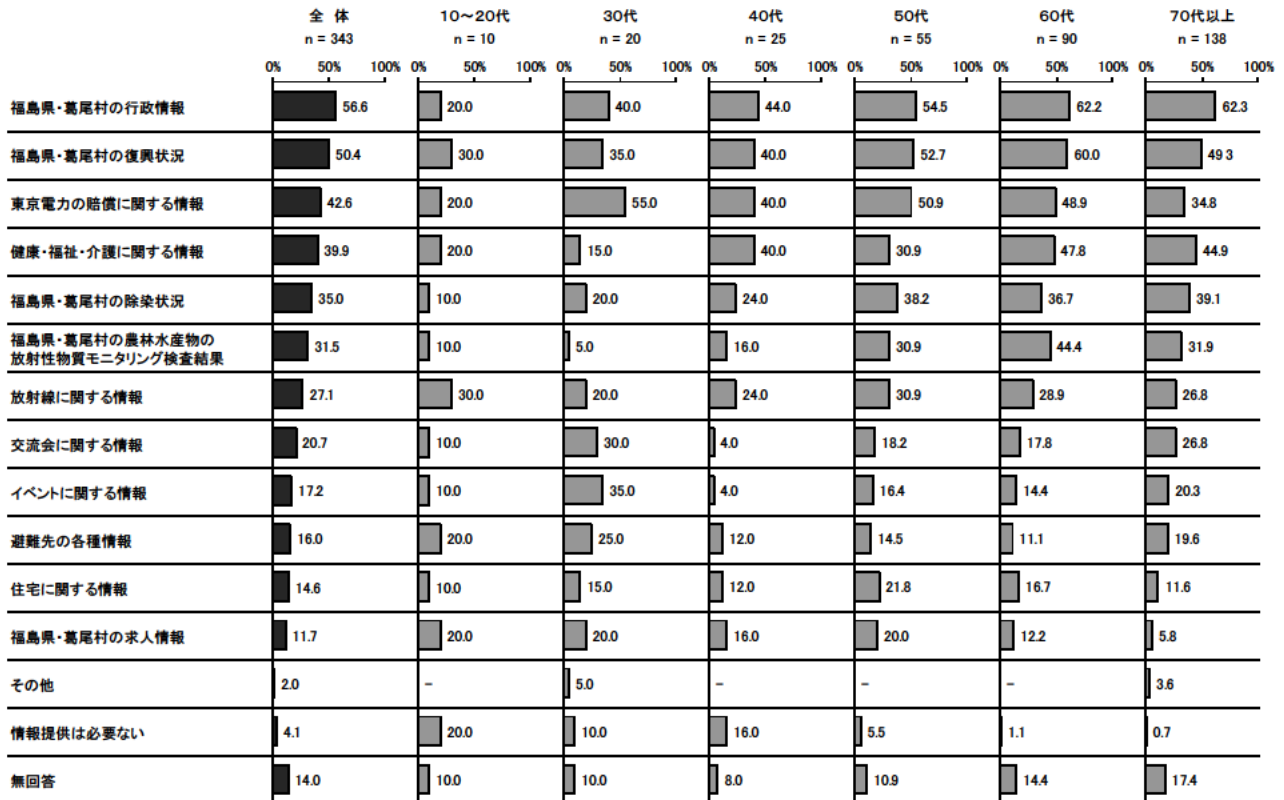
行政機関等からほしい情報については、「福島県・葛尾村の行政情報」が56.6%と最も高く、次いで「福島県・葛尾村の復興状況」が50.4%、「東京電力の賠償に関する情報」が42.6%となっている。

<図表3-3-2-1 行政機関等からほしい情報>



回答者の年齢別にみると、「福島県・葛尾村の行政情報」は、60代以上で6割を超え、「福島県・葛尾村の復興状況」は、60代で60.0%、50代で52.7%と、他の年齢と比べて高くなっている。「東京電力の賠償に関する情報」は、50代で50.9%となっており、他の年齢と比べて高くなっている。「健康・福祉・介護に関する情報」は60代が47.8%、70代以上が44.9%となっており、他の年齢と比べて高くなっている。

<図表3-3-2-2 行政機関等からほしい情報（年齢別）>



3-4 意見・要望

問 15 国や自治体への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどをご自由にご記入ください。

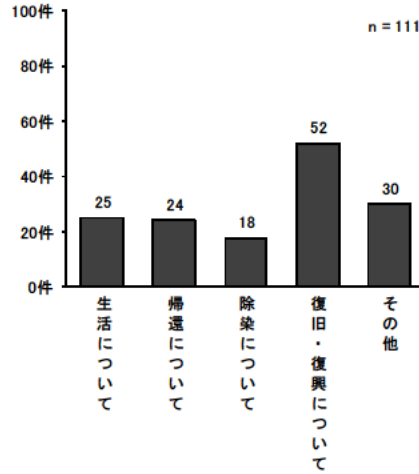
国や自治体への要望、復興に対する展望やお気持ちなどについて、111 世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類する。

<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難生活の長期化への不安 ・元の生活が取り戻せるかどうかの不安 ・元の生活、安定した生活の回復 ・元の生活に戻ることにあきらめ ・現在の生活について ・現在の生活の人間関係・コミュニティについて ・現在の生活の経済的な不安について ・現在の生活の健康に関する不安について ・現在の生活の仕事・学業に関する不安について ・現在の生活全般の不安について ・将来の生活に関する考えについて ・将来の生活の経済的な不安について ・将来の生活の健康に関する不安について ・将来の生活の仕事・学業に関する不安について ・将来の生活全般の不安について ・生活（再建）支援について ・その他 	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧・復興の遅れ、長期化について ・復旧・復興のスケジュールについて ・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について ・町村合併について ・ライフライン・インフラの整備について ・社会福祉施設の整備について ・医療施設の復興・充実について ・学校の復興・充実について ・商業の復興・充実について ・住民の参加・自助努力について ・早期の原状回復・復興実現について ・その他
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還への不安 ・帰還可能時期の明確化について ・帰還したい ・帰還しない ・現時点では帰還の判断ができない ・帰還に関する施策について ・帰還を望まない人への対応について ・その他 	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災発生前の居住地について ・賠償について ・避難期間中及び将来の住宅について ・原発の安全性について ・原発事故に対する対応について ・その他
<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除染作業の意義について ・除染作業にかかる費用の他への活用について ・除染作業の効果などについて ・除染作業の実施箇所などについて ・除染作業の早期・迅速・的確な実施について ・除染作業スケジュールの明確化について ・除染廃棄物の処理について ・その他 	

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

まず、5つの大項目についての、分類結果は下図のとおりとなった。

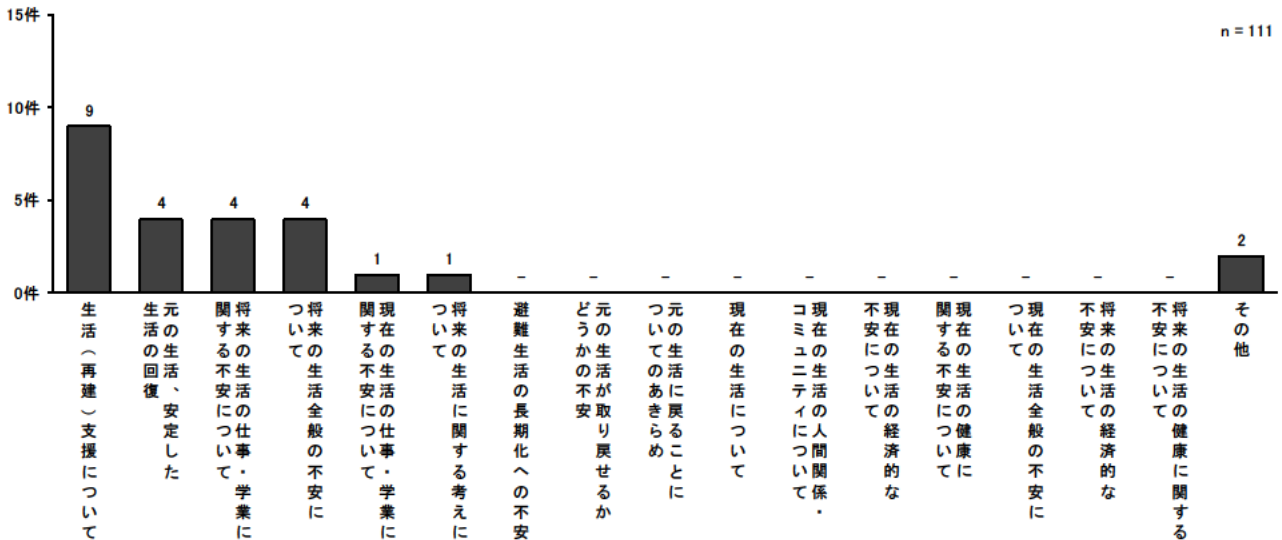
<図表3-4-1 意見に係る記入内容の分類結果>



(1) 生活について

生活についての具体的な意見としては、「生活（再建）支援について」が9件と最も多く、次いで「元の生活、安定した生活の回復」「将来の生活の仕事・学業に関する不安について」「将来の生活全般の不安について」がともに4件となっている。

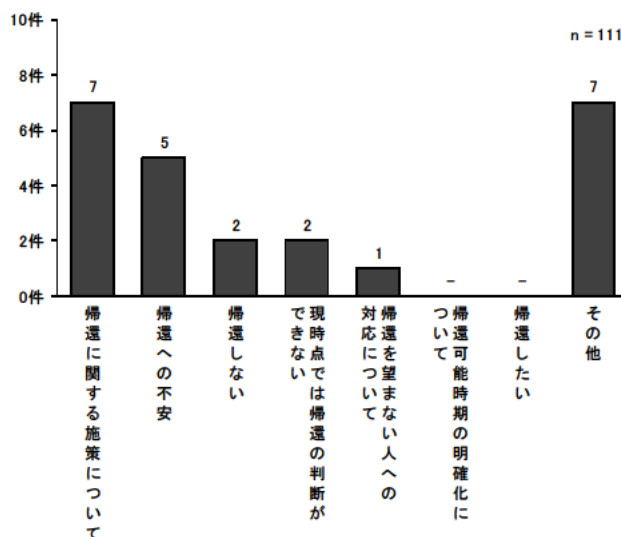
<図表3-4-2 生活についての意見>



(2) 帰還について

帰還についての具体的な意見としては、「帰還に関する施策について」が7件と最も多く、次いで「帰還への不安」が5件、「帰還しない」「現時点では帰還の判断ができない」がともに2件となっている。

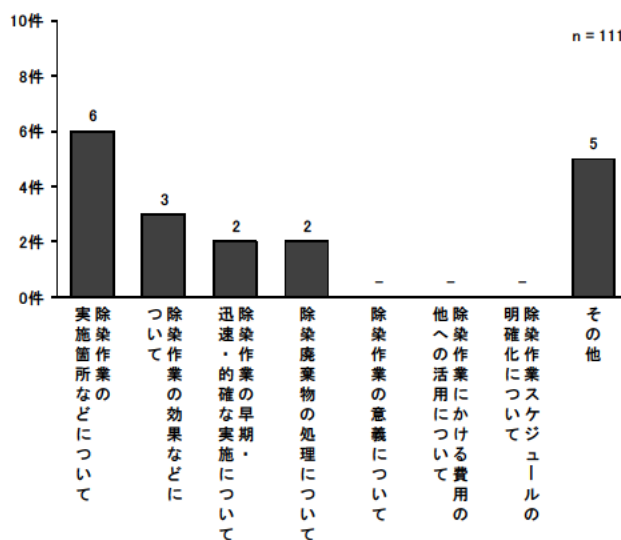
<図表3-4-3 帰還についての意見>



(3) 除染について

除染についての具体的な意見としては、「除染作業の実施箇所などについて」が6件と最も多く、次いで「除染作業の効果などについて」が3件、「除染作業の早期・迅速・的確な実施について」「除染廃棄物の処理について」がともに2件となっている。

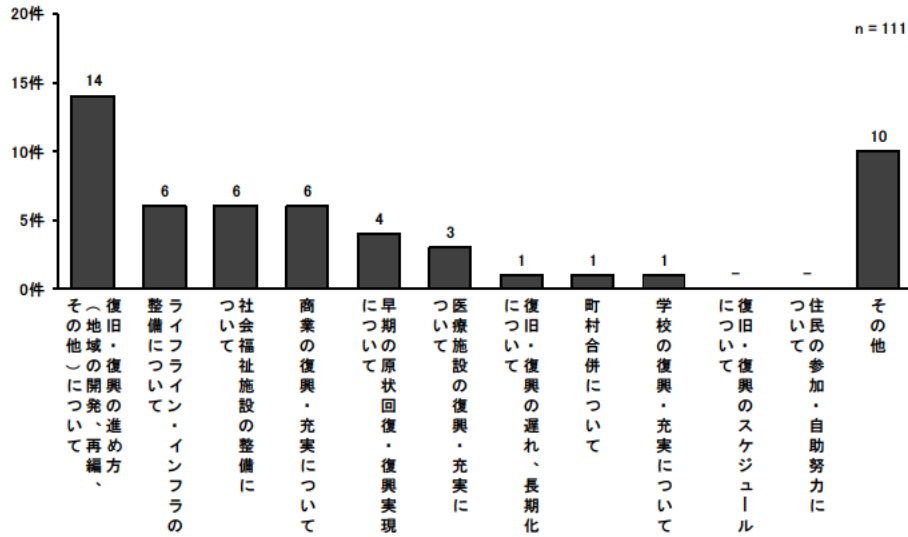
<図表3-4-4 除染についての意見>



(4) 復旧・復興について

復旧・復興についての具体的な意見としては、「復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）」についてが14件と最も多く、次いで「ライフライン・インフラの整備について」「社会福祉施設の整備について」「商業の復興・充実について」がともに6件となっている。

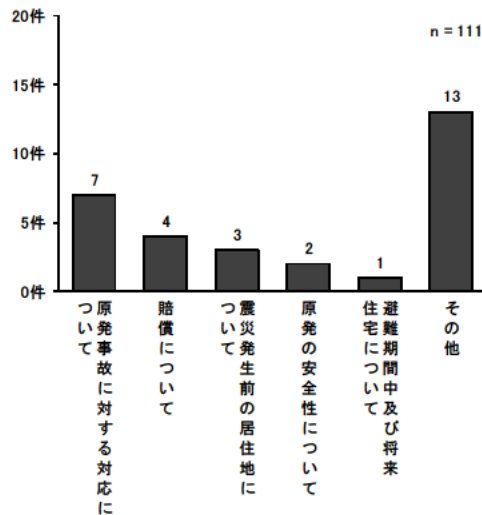
<図表3-4-5 復旧・復興についての意見>



(5) その他

その他についての具体的な意見としては、「原発事故に対する対応について」が7件と最も多く、次いで「賠償について」が4件、「震災発生前の居住地について」が3件となっている。

<図表3-4-6 その他についての意見>



IV 參考資料

4-1 使用調査票

葛尾村住民意向調査

記入上の注意

● 調査をお願いする方

震災発生時、葛尾村の避難指示が解除された地域に住民登録をしていた世帯（避難後の転出者を含む）が対象です。

ご回答は、世帯の代表者の方にお願いいたします。

現在、世帯が何ヶ所かに分かれて避難されている場合には、それぞれの場所に調査票を送付しておりますので、本調査票の送付されたお住まいの代表者の方に、ご回答をお願いいたします。なお、野行地区に住民登録をしていた世帯については、別途懇談会等にてご相談させて頂きたいと考えております。

● ご回答方法

- ・ご回答は、あてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- ・「その他」に○をされた場合は、() 内に具体的な内容もご記入ください。
- ・ の中に具体的な内容の記入をお願いしている間には、具体的な内容（地名、数など）をご記入ください。
- ・調査票は無記名式です。

● ご提出方法

ご記入済みの調査票は、12月5日（月）までに、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。

【お問い合わせ先】

復興庁
「住民意向調査」
問い合わせセンター

調査の趣旨、記入方法について

フリーダイヤル 0120-901-844

[設置期間：11月22日（火）～12月5日（月）10時～17時]
土・日・祝を除く

福島県

復興公営住宅について

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号
避難地域復興局 生活拠点課
Tel 024-521-8617

葛尾村

葛尾村に関することについて

〒979-1602 福島県双葉郡葛尾村大字落合字落合16
復興推進係
Tel 0240-29-2111

はじめに、ご記入いただくあなたご自身のことについて教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 1 あなたの現在の年齢(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. ~19歳 | 8. 50~54歳 |
| 2. 20~24歳 | 9. 55~59歳 |
| 3. 25~29歳 | 10. 60~64歳 |
| 4. 30~34歳 | 11. 65~69歳 |
| 5. 35~39歳 | 12. 70~74歳 |
| 6. 40~44歳 | 13. 75~79歳 |
| 7. 45~49歳 | 14. 80歳以上 |

【すべての方にうかがいます。】

問 2 現在のあなたの職業を教えてください。

仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(1) 職業(就業形態) (○は1つ)

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. 自営業・会社経営者(継続中もしくは再開済) | 7. パート・アルバイト |
| 2. 自営業・会社経営者(休業中) | 8. 学生 ⇒ <u>問3へ</u> |
| 3. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 9. 無職(職を探していない) ⇒ <u>問3へ</u> |
| 4. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 10. 無職(職を探している) ⇒ <u>問3へ</u> |
| 5. 団体職員 | 11. その他 [具体的に: |
| 6. 公務員 |] |

【仕事に就いている方(問2(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方)にうかがいます。】

(2) 業種 (○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 農・林・漁・畜産業 | 7. 金融・保険業 |
| 2. 建設業 | 8. 医療・福祉 |
| 3. 製造業 | 9. 教育 |
| 4. 電気・ガス・水道業 | 10. 公務 |
| 5. 運輸業 | 11. その他 [具体的に: |
| 6. 卸・小売り・飲食、サービス業 |] |

【仕事に就いている方(問2(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方)にうかがいます。】

(3) 現在の就業先の所在自治体

(都・道・府・県)

(市・町・村・区)

東日本大震災発生時および震災前の、あなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|--------|-------|---------|
| 1. 上野川 | 5. 落合 | 9. 岩角 |
| 2. 野川 | 6. 夏湯 | 10. 広谷地 |
| 3. 上葛尾 | 7. 大放 | |
| 4. 下葛尾 | 8. 大笹 | |

【すべての方にうかがいます。】

問4 あなたは、震災発生当時、世帯主でしたか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 当時世帯主だった | 2. 当時世帯主ではなかった |
|-------------|----------------|

【すべての方にうかがいます。】

問5 震災発生当時のあなたの職業を教えてください。

震災発生当時、仕事に就いていた方は、業種・就業先の所在自治体も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合は、主な収入源となっていた職業を教えてください。

(1) 職業(就業形態) (○は1つ)

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. 自営業・会社経営者 | 6. パート・アルバイト |
| 2. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 7. 学生 ⇒ <u>問6へ</u> |
| 3. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 8. 無職(職を探していない) ⇒ <u>問6へ</u> |
| 4. 団体職員 | 9. 無職(職を探している) ⇒ <u>問6へ</u> |
| 5. 公務員 | 10. その他 { 具体的に: } |

【仕事に就いていた方(問5(1)で「1」から「6」、「10」と回答した方)にうかがいます。】

(2) 業種 (○は1つ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 農・林・漁・畜産業 | 7. 金融・保険業 |
| 2. 建設業 | 8. 医療・福祉 |
| 3. 製造業 | 9. 教育 |
| 4. 電気・ガス・水道業 | 10. 公務 |
| 5. 運輸業 | 11. その他 { 具体的に: } |
| 6. 卸・小売り・飲食、サービス業 | |

【仕事に就いていた方(問5(1)で「1」から「6」、「10」と回答した方)にうかがいます。】

(3) 震災発生当時の就業先の所在自治体

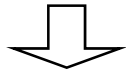
(都・道・府・県)

(市・町・村・区)

【すべての方にうかがいます。】

問 6 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 持ち家 | 4. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 公営住宅 | 5. 親戚・知人宅 |
| 3. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) | 6. その他 { 具体的に: } |



問 6 で「1.持ち家」を
選んだ方は問 6-1 へ



問 6 で「2」から「6」を
選んだ方は問 7(4 ページ)へ

【問 6 で「1. 持ち家」と回答した方にうかがいます。】

問 6-1 震災発生当時にお住まいだった住宅は、現在どのような状況ですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|------------|
| 1. 修理すれば住める状況 | 5. 特に損傷はない |
| 2. 解体をせざるを得ない被害、劣化等がみられる | 6. わからない |
| 3. 解体した(申請中も含む) | |
| 4. 建て替えした | |



問 6-1 で「1」から「4」を
選んだ方は問 6-2 へ



問 6-1 で「5」「6」を
選んだ方は問 7(4 ページ)へ

【問 6-1 で「1」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問 6-2 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような被害や劣化等がありますか(ありましたか)。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 地震の影響と思われる大きな損壊等がある | 5. カビが多く発生している |
| 2. 火災被害を受けている | 6. 屋内の放射線量が高い |
| 3. 動物等が侵入した跡があり荒れている | 7. その他 { 具体的に: } |
| 4. 雨漏りの形跡がみられる | |

現在の、あなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 7 あなたが現在お住まいの場所はどこですか。(○は1つ)

1. 震災発生当時の住居 ⇒ 問 11(5 ページ)へ
2. 震災発生当時の住居以外
3. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している

【問 7 で「2. 震災発生当時の住居以外」「3. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」と回答した方にうかがいます。】

問 8 あなたが現在お住まいの、震災発生当時の住居以外のお住まいがある自治体を教えてください。(○は1つ)

【 浜 通 り 】

1. いわき市
2. 相馬市
3. 南相馬市
4. 広野町
5. 檜葉町
6. 川内村
7. 新地町
8. 葛尾村 ⇒ 問 9 へ

【 中 通 り 】

9. 福島市
10. 郡山市
11. 白河市
12. 須賀川市
13. 二本松市
14. 田村市
15. 伊達市
16. 本宮市
17. 桑折町
18. 川俣町
19. 大玉村
20. 西郷村
21. 三春町

【 会 津 】

22. 会津若松市
23. 喜多方市
24. 会津美里町

【 福島県内のその他の市町村(1 から 24 以外) 】

25. 福島県内のその他の市町村
→具体的にご記入ください

(市・町・村)

【 福島県外 】

26. 福島県外
→具体的にご記入ください

(都・道・府・県)

(市・町・村)

【問 8 で「8. 葛尾村」と回答した方に伺います。】

問 9 あなたが現在お住まいの、震災発生当時の住居以外のお住まいがある行政区を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|--------|-------|---------|
| 1. 上野川 | 5. 落合 | 9. 岩角 |
| 2. 野川 | 6. 夏湯 | 10. 広谷地 |
| 3. 上葛尾 | 7. 大放 | |
| 4. 下葛尾 | 8. 大笹 | |

【問7で「2. 震災発生当時の住居以外」「3. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」と回答した方にうかがいます。】

問10 現在お住まいの、震災発生当時の住居以外のお住まいは、どのような住居形態ですか。
(○は1つ)

1. 応急仮設住宅(プレハブ型。無償)	6. 家族のどなたかのお住まい・実家
2. 応急仮設住宅(民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償)	7. 親戚・知人宅
3. 公営住宅(2.は除く。有償)	8. 持ち家(ご本人またはご家族所有)
4. 民間賃貸住宅(有償)	9. その他 (具体的に: _____)
5. 給与住宅(社宅など)	

【すべての方にうかがいます。】

問11 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。

(1) 「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	人
イ) 小学生	人	オ) 18歳以上65歳未満	人
ウ) 中学生	人	カ) 65歳以上	人

(2) 「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	人
イ) 小学生	人	オ) 18歳以上65歳未満	人
ウ) 中学生	人	カ) 65歳以上	人

(3) 震災発生当時、一緒にお住まいであったご家族は、現在、何か所に分散してお住まいですか。

(○は1つ)

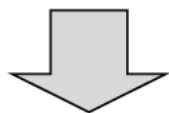
1. 世帯でまとまって避難している(一人暮らし含む)	3. 合計3か所に分散
2. 合計2か所に分散	4. 合計4か所以上に分散

ついてお聞かせください。

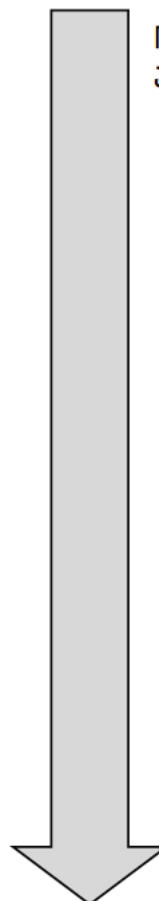
それぞれの質問にお答えください。
 のお考えに近い番号を選んでください。(○は1つ)

3. 現時点でまだ判断がつかない

4. 戻らないと決めている



「3」を選んだ方のみ、
 こちらへお進みください



「4」を選んだ方のみ、
 こちらへお進みください

葛尾村へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。
 (○はいくつでも)

病院などの社会基盤(インフラ)の復旧時期の目途

度の住民が戻るかの状況

量の低下の目途、除染成果の状況

蔵施設の情報

発電所の安全性に関する情報(事故収束や廃炉の状況)

の人体への影響に関する情報

の確保の目途

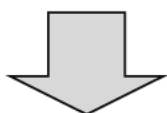
の確定

保への支援に関する情報

(具体的に:

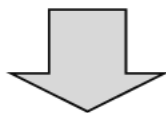
)
 で家族間の意見が分かれており、帰還意向について回答できない

ではどのような情報があれば判断できるかわからない



問 12-3 葛尾村との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. わからない
3. そう思わない



問 12 で「3. 現時点でまだ判断がつかない」

「4. 現時点で戻らないと決めている」を選んだ方は

問 12-9(10 ページ)へ

【問 12 で「1. 現在、葛尾村に戻っている」と回答した方にうかがいます。】

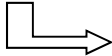
問 12-4 現在、葛尾村内でお住まいの住宅は、どのような形態ですか。(○は1つ)

1. 元の持ち家(自宅)(建て替えた場合を含む)
2. 自宅とは別の場所に新たに建てた一戸建ての持ち家
3. 公営住宅
4. 家族のどなたかのお住まい・実家
5. 親戚・知人宅
6. その他(具体的に: _____)

【問 12 で「1. 現在、葛尾村に戻っている」と回答した方にうかがいます。】

問 12-5 葛尾村での今後の生活において、どのような支援が必要と考えますか。(○はいくつでも)

1. 被ばく低減対策
2. 住宅の修繕や建て替えへの支援
3. 商業施設の再開や新設
4. 医療、介護福祉施設の再開や新設
5. 学校や教育施設の再開や新設
6. 雇用確保・就業支援
7. 携帯電話やインターネット等通信環境の改善
8. その他(具体的に: _____)
9. 特にない

 [問 13\(12 ページ\)へ](#)

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

問 12-6 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。（○は1つ）

- | | |
|--|---------------------|
| 1. 元の持ち家(自宅)(建て替える場合を含む) ⇒ <u>問 12-8</u> へ | |
| 2. 自宅とは別の場所に新たに一戸建ての持ち家を建てたい ⇒ <u>問 12-7</u> へ | |
| 3. 公営住宅 | } ⇒ <u>問 12-8</u> へ |
| 4. 家族のどなたかのお住まい・実家 | |
| 5. 親戚・知人宅 | |
| 6. その他 (具体的に: | |
| 7. 現時点では判断できない | |

【問 12-6 で「2. 自宅とは別の場所に新たに一戸建ての持ち家を建てたい」と回答した方にうかがいます。】

問 12-7 元の持ち家以外を希望される理由は、何ですか。（○はいくつでも）

1. 元の持ち家(自宅)周辺の放射線量の高さが心配だから
2. 元の持ち家(自宅)周辺に住む人が少ないと思うから
3. 葛尾村内の新たな場所で生活を開始したいから
4. 元の持ち家(自宅)が荒廃しているから
5. その他(具体的に:)

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

問 12-8 葛尾村に戻る場合に、今後の生活においてどのような支援が必要と考えますか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 被ばく低減対策 | 7. 雇用確保・就業支援 |
| 2. 住宅の修繕や建て替えへの支援 | 8. 携帯電話やインターネット等通信環境の改善 |
| 3. 商業施設の再開や新設 | 9. その他 (具体的に: |
| 4. 医療、介護福祉施設の再開や新設 | |
| 5. 学校や教育施設の再開や新設 | |
| 6. 公共交通機関の再開 | 10. 特にない |

➤ 問 13(12 ページ)へ

【問 12 で「3. 現時点でまだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 12-9 どれくらいの頻度で村を訪れることをお考えですか。(○は一つ)

- | | |
|------------|---------------------------------|
| 1. 週1～2回程度 | 5. 訪れるつもりはない ⇒ <u>問 12-11 へ</u> |
| 2. 月1～2回程度 | 6. その他(具体的に:) |
| 3. 半年に1回程度 | ⇒ <u>問 12-11 へ</u> |
| 4. 1年に1回程度 | |

【問 12-9 で「1」から「4」と回答した方にうかがいます。】

問 12-10 定期的に村を訪れる理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 村にある自宅を管理するため
2. 先祖の墓を管理するため
3. 村民の交流・コミュニティを維持するため
4. その他(具体的に:)

【問 12 で「3. 現時点でまだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 12-11 現時点でまだ判断がつかない、戻らないと決めている理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

【帰還の前提・健康に関わるもの】

1. 放射線量が低下せず不安だから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【村内の復旧状況に関わるもの】

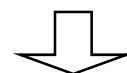
4. 葛尾村に戻っても仕事がなさそうだから
5. 葛尾村での事業の再開が難しいから
6. 営農などができそうにないから
7. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
8. 葛尾村外への移動交通が不便だから
9. 道路等の交通インフラに不安があるから
10. 医療環境に不安があるから
11. 介護・福祉サービスに不安があるから
12. 教育環境に不安があるから
13. 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから

【今後の生活に関わるもの】

14. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
15. 他の住民も戻りそうにないから
16. 浜通りの生活関連サービスが戻らないから
17. 避難先で仕事を見つけているから
18. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
19. 避難先の方が生活利便性が高いから
20. その他 (具体的に:)



問 12 で「3. 現時点でまだ判断がつかない」を選んだ方は問 13(12 ページ)へ



問 12 で「4. 戻らないと決めている」を選んだ方は問 12-12(11 ページ)へ

【問 12 で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 12-12 帰還しない場合に、今後、居住を希望する(既に居住している場合を含む)自治体はどちらですか。その自治体を教えてください。(○は1つ)

【 浜 通 り 】

1. いわき市
2. 相馬市
3. 南相馬市
4. 広野町
5. 檜葉町
6. 川内村
7. 新地町

【 中 通 り 】

8. 福島市
9. 郡山市
10. 白河市
11. 須賀川市
12. 二本松市
13. 田村市
14. 伊達市
15. 本宮市
16. 桑折町
17. 川俣町
18. 大玉村
19. 西郷村
20. 三春町

【 会 津 】

21. 会津若松市
22. 喜多方市
23. 会津美里町

【 福島県内のその他の市町村(1 から 23 以外) 】

24. 福島県内のその他の市町村
→具体的にご記入ください

(市・町・村)

【 福島県外 】

25. 福島県外
→具体的にご記入ください

(都・道・府・県)

(市・町・村)

【 その他 】

26. 決めかねている

【問 12 で「4. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 12-13 帰還しない場合に、今後のお住まいとして希望する(既に居住している場合を含む)住宅はどのような形態ですか。(○は1つ)

1. 持ち家(一戸建)
2. 持ち家(集合住宅)
3. 民間賃貸住宅(一戸建)
4. 民間賃貸住宅(集合住宅)
5. 公営住宅
6. 給与住宅(社宅など)
7. 家族のどなたかのお住まい・実家
8. 親戚・知人宅
9. その他(具体的に: _____)
10. 現時点では判断できない

葛尾村からの情報提供に関する状況についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 13 葛尾村の情報は、現在どのような方法で入手されていますか。(〇はいくつでも)

1. 福島県や葛尾村からの郵送物・配送物(広報誌やお知らせ等)
2. 地元新聞(福島民報・福島民友)
3. ホームページ(パソコン・携帯電話・スマートフォン)
4. 福島県帰還支援アプリ
5. 電子回覧板(フォトフレーム)
6. テレビ
7. ラジオ
8. NPO等民間支援団体
9. 交流会・相談会・情報コーナー
10. 自分の目で見て(帰省等)
11. 友人・知人
12. その他(具体的に:)
13. 情報を入手していない

【すべての方にうかがいます。】

問 14 行政機関等からの情報提供について、どのような情報がほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 福島県・葛尾村の行政情報
2. 福島県・葛尾村の復興状況
3. 福島県・葛尾村の除染状況
4. 福島県・葛尾村の求人情報
5. 福島県・葛尾村の農林水産物の放射性物質モニタリング検査結果
6. 避難先の各種情報
7. 住宅に関する情報
8. 東京電力の賠償に関する情報
9. 放射線に関する情報
10. 健康・福祉・介護に関する情報
11. 交流会に関する情報
12. イベントに関する情報
13. その他(具体的に:)
14. 情報提供は必要ない

国や福島県、葛尾村へのご意見などについてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 15 国や自治体への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどをご自由にご記入ください。

以上でご回答いただく内容は終わりです。
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済み調査票を入れて、
12月5日（月）までに郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。

**葛尾村 住民意向調査
報告書**

平成 29 年3月

復興庁 福島県 葛尾村

調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター

